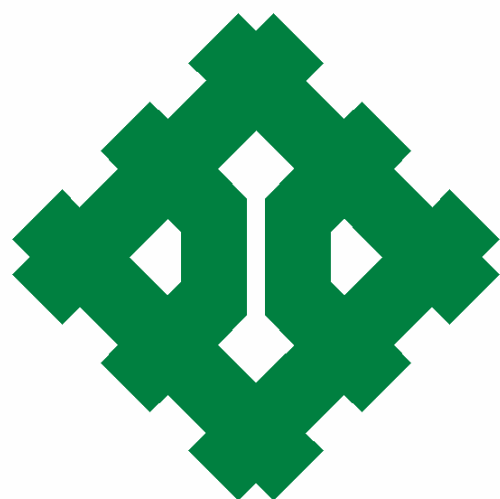


平成21年

消防年報



福井市消防局

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）



わたくしたちは 不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ 郷土の繁栄と幸福をきずくため 力をあわせ 不屈の気概をもって このねがいをつらぬきましょう。

実践目標(平成21年1月~平成23年3月)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1 すすんで 親切をつくし
愛情ゆたかなまちを つくりましょう | あいさつは まず私から 声かけよう |
| 2 すすんで 健康にこころがけ
明朗で活気あるまちを つくりましょう | 家族そろって 早ね早おき朝ごはん |
| 3 すすんで くふうをこらし
清潔で美しいまちを つくりましょう | マイはし マイカゴ マイバッグ |
| 4 すすんで きまりを守り
安全で住みよいまちを つくりましょう | 鍵かけ と 一戸に一灯防犯灯 |
| 5 すすんで 教育を重んじ
清新な文化のまちを つくりましょう | 見てふれて 知ろうふくいの 文化と歴史 |

(昭和39年6月28日制定)

は し が き

この年報は、福井市消防局の消防現勢及び平成20年中における消防諸般の実績を収録し、今後の消防行政に資するため編集したものです。

なお、調整基準日は各図表等に記入してありますが、火災、救急・救助及び情報管制に関するものは暦年で、その他のものは会計年度で集計してあります。

平成21年6月

福井市消防局

消 防 年 報 目 次

福井市消防局消防機関分布図	
福井市消防局管内地勢及び面積・人口・世帯数概要	1
福井消防のあゆみ	3
福井の大火等	14
福井市消防訓 福井消防の歌	16

(総務編)

福井市消防局組織機構図	17
消防庁舎の現況	18
平成21年度消防局マネジメント方針	19

予算

1. 一般会計予算と消防費予算	20
2. 人口と予算の推移	20
3. 予算の歳入及び歳出内訳(平成21年度当初)	21
4. 平成21年度(当初)予算の概要	21

人事・教養

1. 消防職員の現況	22
2. 職員階級別年齢状況	23
3. 職員の勤続年数状況	23
4. 福利厚生	24
5. 平成20年度消防職員教養等実施状況	24
6. 公務災害等発生状況	25
7. 消防音楽隊	25
8. 消防団の組織	27

(予防編)

1. 防火対象物の状況	32
2. 防火対象物の査察状況	33
3. 高層建築物等の実態	34
4. 地階を有する建築物実態	35
5. 建築物同意事務処理状況	36
6. 防火対象物別消防用設備等着工・設置届出状況	37
7. 消防用設備等設置状況	38
8. 消防用設備等の点検報告状況	39
9. 防火対象物定期点検報告等の実施状況調査表	40

10. 消防法・火災予防条例に基づく届出状況.....	41
11. 広聴活動.....	42
12. 防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者、 消防計画、避難訓練届出状況.....	43
13. 住民指導実施状況.....	44
14. 危険物施設の現況.....	45
15. 危険物倍数別・類別の状況.....	46
16. 危険物施設事務処理の状況.....	47
17. 火薬類、液化石油ガス関係事務処理状況.....	48

(警防編)

1. 火災防ぎょ活動状況.....	50
2. 火災以外の活動状況.....	51
3. 消防水利の現状.....	52
4. 消防用車両配備表.....	53

(情報管制編)

消防情報管制システム.....	55
1. 平成20年の災害等通報受信概要.....	58
2. 通報受信状況.....	59
3. 災害テレホンサービス(25-9999)利用状況.....	63
4. 口頭指導(プロトコール)実施状況.....	64

(火災統計)

平成20年中における火災概要.....	65
1. 火災発生状況(前年との比較).....	66
2. 過去3年間の火災比較.....	67
3. 火災原因別件数(昨年との比較).....	68
4. 初期消火状況(建物火災).....	69
5. 主な火災原因の背景.....	69
6. 時間帯別火災発生状況.....	70
7. 特異な火災 ・ 建物火災のうち焼損床面積が200㎡以上の火災.....	71
" 損害額が500万円以上の火災.....	71
8. 死者を生じた火災.....	71
9. 月別火災発生状況.....	72
10. 曜日別火災発生状況.....	74
11. 用途別火災発生状況(建物火災).....	76
12. 火災の推移(過去5年間の実数による比較).....	78
13. 火災の推移(過去10年間の指数による比較).....	79

(救急統計)

1. 救急隊別救急業務状況	80
2. 救急概要(前年との比較)	81
3. 救急件数及び搬送人員の推移	82
4. 現場到着所要時間別出場件数	83
5. 時間別出場件数	83
6. 医療機関別搬送人員	84
7. 傷病程度別搬送人員	84
8. 収容所要時間別搬送人員	85
9. 事故別搬送人員	85
10. 救急隊員が行った応急処置の状況	86
11. 管外医療機関搬送状況	86
12. 転送状況	87
13. 北陸自動車道救急出場状況	87
14. 発生場所別搬送人員	88
15. 医師の現場出場状況	88
16. 年齢・性別搬送人員	88
17. 救急隊別出場件数	89

(救助統計)

1. 救助活動状況	90
2. 救助出場件数及び救助人員状況(前年との比較)	91
3. 過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移	91
4. 事故種別活動件数(前年との比較)	92

(防火委員会)

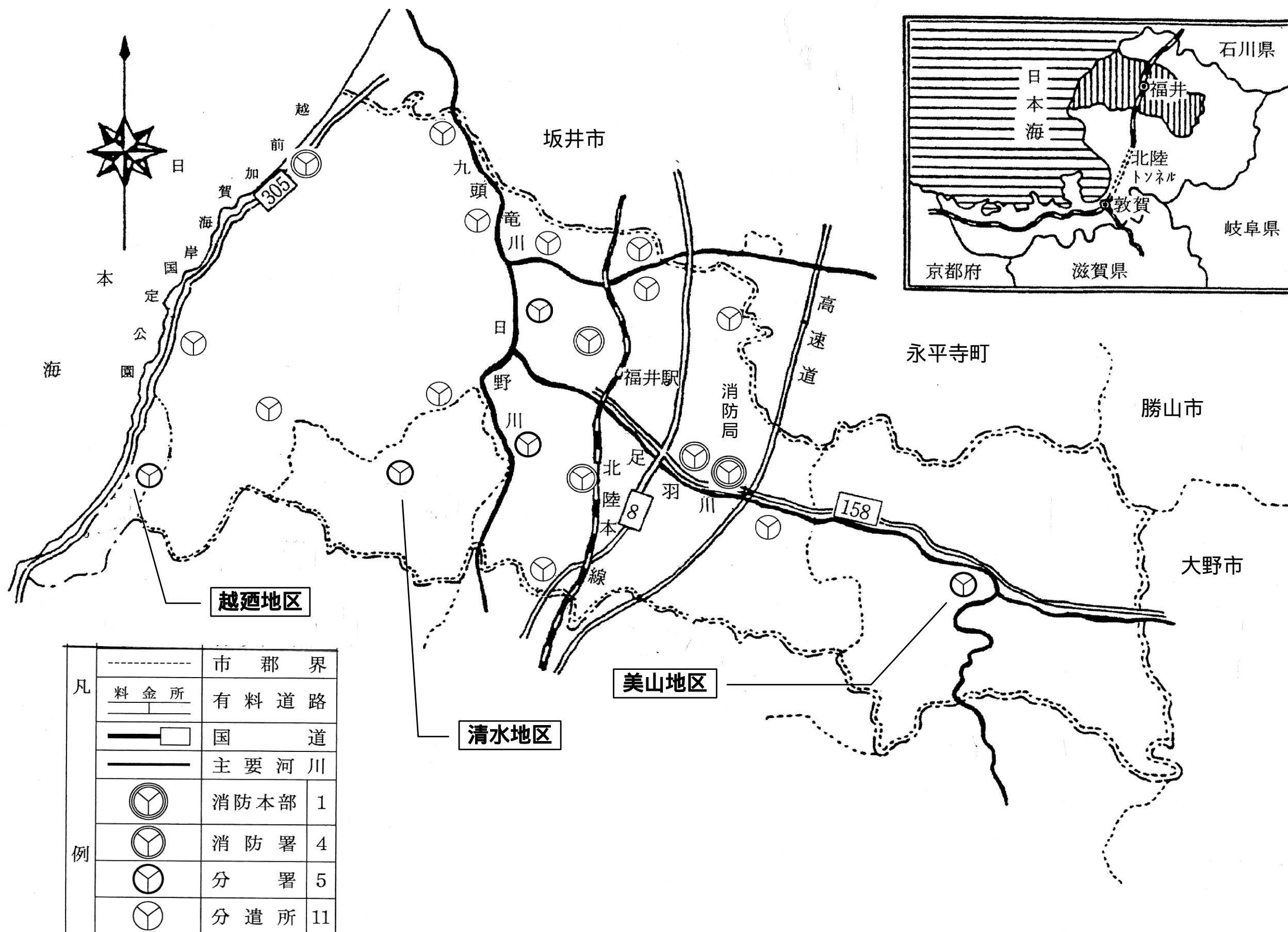
防火委貢会の組織	93
----------	----

(写真で見る福井の災害記録)

写真で見る福井の災害記録	95
--------------	----

福井市消防局管内消防機関分布図

(平成21年4月1日現在)



凡		市郡界	
		有料道路	
例		国道	
		主要河川	
		消防本部	1
		消防署	4
		分署	5
		分遣所	11

福井市消防局管内地勢及び 面積、人口、世帯数概要

(平成 21.4.1 現在)住民登録数

総面積 536.17k m² 総人口 269,806 人 総世帯 95,103 世帯

福井市は、九頭竜、足羽、日野の三大河川の扇状地である福井平野の南東部に位置しています。

福井平野は、今から 3000 年ほど前の縄文時代後期から晩期にかけて、河川活動によって形成されたといわれる沖積平野で、弥生時代中ごろには、ほとんど現在のような形状となり、農耕も可能な平野になっていたと言われていています。

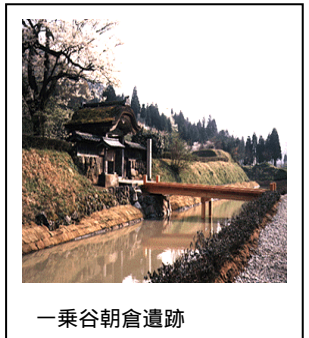


また、1500 年ほど前、この地にゆかりの深い男大迹皇子(おおとのおうじ)、後の継体(けいたい) 天皇の治山治水事業によって、一面の沼沢地が肥沃な平野に生まれ変わったとも伝えられています。

約 1200 年前の奈良時代には、この広大な平野が、穀倉地として注目され、東大寺荘園、道守荘や糞置庄などが開かれています。

その後、文化の発達に伴って北陸の要衝として栄え、中世には、市街地の南にある一乗谷に居を構えた朝倉氏が五代にわたり、越前国守護としてこの地を治め、小京都と呼ばれるほどの栄華を極めたと言われています。

一乗谷朝倉氏の居城は、天正元年に焼失したままの姿を今日まで残し、日本中世史上きわめて貴重な遺跡として昭和 46 年 7 月、国の特別史跡に指定され、また平成 3 年にはその庭園が国の特別名勝に指定されました。



現在の市の中心部は、室町時代のころには北ノ庄と呼ばれ、街づくりの始まりは柴田勝家の北ノ庄城築城が始まりといわれています。

徳川家康の天下平定後は、その二男である結城秀康が 68 万石の城主として慶長 5 年(1600)に任ぜられました。

福井の地名については、北ノ庄から福居となり、3 代藩主忠昌のとき、福井と改められました。



幕末の藩主は、名君の誉れ高い松平慶永(春嶽)で、その時代には、橋本左内、由利公正、橘曙覧、笠原白翁ら多くの人材が輩出し、活躍しています。また、慶永は産業振興事業として織物を取り入れ、これが織物王国福井の礎となりました。

明治 22 年には市制が施行され、福井市となりました。

当時の人口は、約 4 万人、面積は、4.43 平方キロメートルでしたが、その後、鉄道の開通や織物産業等の興隆によって、福井県における中心都市となりました。

しかし、昭和20年7月の空襲や昭和23年の福井大震災では壊滅的な打撃を受け、さらに水害、風害と災害に見舞われました。また、昭和56年1月の56豪雪では積雪が196cmに達し、JRをはじめとする市内の交通機関は全てがマヒし、市民生活に大きな被害を与えました。

更に記憶に新しいところでは、平成16年7月18日未明から降り続けた豪雨により、美山地区や一乗地区においてはJR越美北線の鉄橋が流失する等大きな被害を受け、増水した足羽川は更に水かさを増し、13時34分遂に木田橋上流の左岸が決壊、市内各地区に甚大な被害を与えました。

後に「7・18福井豪雨」と名付けられたこの豪雨災害に対応していた福井市（消防機関）では、市町村消防相互応援協定により、10時45分に県内各消防本部に応援出場を求めるとともに、福井県を通じて消防庁長官に緊急消防援助隊の出場を要請、近隣の各府県から176隊、610名の消防隊と10機の消防ヘリや防災ヘリが駆けつけ、652名（うち262名はヘリによる救出）の市民を救助することができました。

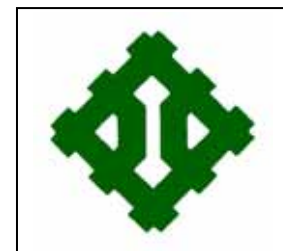
このように福井市では、これまでの幾多の激甚災害に見舞われながらも、市民の不屈の精神と郷土愛によって不死鳥のようによみがえり、今日の『不死鳥のまち福井』を築き上げて参りました。

平成12年には特例市に移行し、そして平成18年2月1日には、消防組合を構成していた隣接の美山町、越廼村、清水町の3町村と合併し、新生「福井市」が誕生し、「福井市消防局」として新たなスタートをきりました。

これからも北陸の雄都として、市民の「安心」と「安全」を守り、災害に強いまちを目指し、更に発展を続けて参ります。



足羽河原の桜並木



市の紋章は、福井城内にあった「福ノ井」の井げたに福井の旧称「北ノ庄」の北を組み合わせ、古きを生かし、新しい時代への発展と繁栄を図案化したものです。

(大正14年9月28日制定)

福 井 消 防 の あ ゆ み

明治初年頃の福井市消防は「火消」又は「火方」という町民による義務消防にゆだねられていたが、明治18年10月福井県令をもって従来の「火消」「火方」は「防火組」と改められ、組織は頭取、小頭、組員に分けられ、犠牲と仁侠をもって活躍していた。

明治27. 4	勅令第15号「消防組規則」により「福井消防組」が組織される。1組8部、組員は頭取1名、小頭16名、消防手320名、合計337名												
明治31. 9	市原製蒸気ポンプ1台を購入、初めて動力ポンプを採用する。												
大正 7. 7	福井警察署屋上(佐佳枝下町)に望楼を設置、常備消防手1名を任命する。												
大正 9. 2	常備消防手3名を増員して4名とし、甲・乙部2名配置により交代勤務とする。												
大正12. 4	常備消防手2名を増員して6名とし、フォード号自動車ポンプ1台を購入配備する。												
大正13. 8	市上水道完成により同年11月防火栓用具26組を備えつける。												
昭和 3. 4	破壊部1部を増設し9部とし、蒸気ポンプ部3部、手引きガソリンポンプ部2部、自動車ポンプ部3部、破壊部1部、総員239名となる。												
昭和10. 6	各部共消防手20名とし、総員177名に減員する。												
昭和12. 8	常備消防手総員14名となる。												
昭和13. 5	福井市御屋形町16番地(福井警察署北隣)に消防庁舎を新築し佐佳枝下町より移転する。												
昭和13年現有機械力													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 16.6%;">自動車ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">蒸気ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">手引ガソリンポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">腕用ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">水管車</th> <th style="width: 16.6%;">オートバイ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>		自動車ポンプ	蒸気ポンプ	手引ガソリンポンプ	腕用ポンプ	水管車	オートバイ	7	3	5	2	12	1
自動車ポンプ	蒸気ポンプ	手引ガソリンポンプ	腕用ポンプ	水管車	オートバイ								
7	3	5	2	12	1								
昭和14. 4	勅令第20号警防団令によって福井消防組及び防護団を福井警防団に改編12ヶ分団1,090名とする。												
昭和18.	常備消防手2名を増員し、18名となる。												
昭和20. 7	第2次世界大戦中の空襲により市街地の86.8%を焼失、消防庁舎全焼、消防自動車6台焼失、保有自動車2台となる。												
昭和22. 9	消防団令により福井警防団を福井市消防団に改組し、5ヶ分団定員800名とする。												
昭和22.12	消防組織法が公布されて警察の管理から完全に独立した市町村の自治体消防制度が確立される。												
昭和23. 5	消防組織法の施行により、従来の常備消防の人員と施設を引き継いで福井市消防本部を設置、同6月25日には福井市消防本部設置条例を制定、消防署消防訓練所を併置する。その陣容は本署1、消防職員23名、消防団員250名、消防ポンプ自動車6台、その他の車両6台である。												

昭和23. 6	福井地方大地震 市内の家屋の大部分が倒壊、各所に発生した火災は、中央部において大火となる。消防施設の被害、倉庫 1 棟倒壊、仮眠室傾斜大破、車庫床面亀裂沈下、消防吏員 1 名及び家族多数負傷する。
昭和23. 7	豪雨により各河川増水し、九頭竜川堤防が決壊、市内西北部一帯に浸水、流出家屋 4 戸、浸水家屋5,820戸の被害が発生する。
昭和23. 9	福井市消防団を改組し、11ヶ分団250名の定数とする。
昭和23.12	車庫屋上の事務室、附属建物の再築及び修理完成する。
昭和25. 4	職員の定数 消防吏員63名、その他の職員 6 名計69名となる。
昭和25. 9	ジェーン台風襲来、甚大なる被害をこうむる。 家屋全壊 186戸 死者 3名 半壊 531戸 重傷者 24名
昭和26. 3	勝見分遣所を開所する。
昭和26. 7	橋南分遣所を開所する。
昭和27. 4	大学前分遣所を開所する。
昭和27. 4	福井復興大博覧会が開催され、消防特別警備にあたる。
昭和27. 8	本署に火災報知10回線受信機 1 基を設備、火災報知機 2 ヶ所を設備する。
昭和29.11	福井市消防音楽隊を編成発足する。(隊長以下18名)
昭和29.12	地元町内民の協力自費負担等により、火災報知器総数10ヶ所となる。消防用無線電話を 2 基装備する。
昭和30. 4	志比口分遣所を開所する。
昭和31. 1	社分遣所を開所する。
昭和32. 5	消防団員の定数「351名」を「400名」に改める。
昭和32.10	下記市町村と消防相互応援協定を締結する。 武生市、鯖江市、清水町、春江町、藤岡村
昭和33. 3	福井市条例第 9 号により職員定数を消防吏員101名、その他の職員 7 名に改める。
昭和33. 4	麻生津分遣所を開所する。
昭和33. 5	河合分遣所を開所する。
昭和33.10	梯子自動車(16m) 1 台、高層ビル火災に対処するため購入する。
昭和33.11	大安寺分遣所を開所する。
昭和34. 1	化学車 1 台を初めて購入する。
昭和34.10	湊分遣所を開所する。
昭和34.12	国見分遣所を開所する。
昭和35.11	西安居分遣所を開所する。

昭和37. 4	東藤島分遣所を開所する。
昭和37.10	救急車 1 台購入、救急業務を開始する。
昭和38. 1	豪雪に見舞われ(100年来の記録)消防自動車運行不能となる。
昭和40. 8	新庁舎完成にともない本部、署を松本 4 丁目 9 - 3 6 に移転、旧本部、署の後に中央分署を開所する。
昭和41. 1	殿下分遣所を開所する。
昭和41. 7	福井県下39市町村による福井県下広域消防相互応援体勢が確立、協定を締結する。
昭和41. 9	屈折梯子車 1 台購入配備する。(最大地上高15m)
昭和42. 5	鶯分遣所を開所する。
昭和42. 7	森田分遣所を開所する。
昭和42. 8	消防職員の定数「150名」に改正する。
昭和43. 9	第23回国民体育大会夏季大会特別消防警備を行う。
昭和43.10	“ 秋季 ”
昭和43.10	全国身体障害者スポーツ大会、特別消防警備を行う。
昭和44. 6	中藤島分遣所を開所する。
昭和45. 1	栗分遣所を開所する。
昭和45. 2	32mはしご付消防自動車を購入配備する。
昭和45. 4	消防職員の定数「158名」に改正する。
昭和45. 7	ふくいまつり前夜祭とタイアップして、福井消防音楽隊15周年記念夢のドリルショーを市体育館で開催する。
昭和46. 9	足羽分遣所を開所する。
昭和46.11	広域消防体制確立のため、これまでの福井市消防本部、署を発展的に解消し、福井地区消防組合を設置する。
昭和46.11	越廼分遣所を開所する。
昭和46.11	美山町及び清水町の役場へ吏員各 1 名を派遣、消防事務を開始する。
昭和46.11	消防職員の定数「210名」に改める。
昭和46.11	消防団員の定数「900名」に改める。ただし昭和48年10月31日までは「907名」とする。
昭和46.11	日本損害保険協会より重化学車の寄贈を受け配備する。
昭和47. 4	清水分遣所を開所する。
昭和47. 4	美山分遣所を開所する。
昭和47. 4	南消防署を開署する。これに伴い、従来の消防署を中消防署と名称を改める。
昭和46.11	南条郡今庄町地係の国鉄北陸トンネル内で15両編成の急行「きたぐに」の食堂車から出火、食堂車を全焼し、死者30人、負傷者714人を出す大惨事となり、福井地区消防本部から直ちに消火・救助・救急の 3 隊を応援出場させる。

昭和47.12	福井地区消防組合紋章を制定する。
昭和47.12	国鉄北陸トンネル列車火災における消防活動の功績により消防庁長官表彰を受ける。
昭和48.3	福井地区中消防署中央出張所を廃止する。
昭和48.4	消防職員の定数「220名」に改める。
昭和48.11	福井、美山、清水各消防団を発展的に解消し、福井地区消防団に統合する。
昭和49.10	鷹巣分遣所を開所する。
昭和49.10	消防職員の定数「234名」に改める。
昭和49.10	本部警防課内に救助隊「隊長以下10名」を編成する。
昭和49.10	鶯分遣所に救急車1台を配備する。
昭和50.9	高速自動車国道北陸自動車道(福井～丸岡インターチェンジ)開通に伴い、消防相互応援協定書に基づき、救急業務を開始する。
昭和50.10	東藤島、中藤島、河合各分遣所の駐在勤務を解除する。
昭和50.12	西安居、麻生津各分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造に改築する。
昭和51.1	栗、国見、殿下各分遣所の駐在勤務を解除する。
昭和51.2	救助工作車1台を購入配備する。
昭和51.3	日本消防協会長から優良消防団として、福井地区消防団が表彰旗を授与される。
昭和51.4	消防職員の定数「241名」に改める。
昭和51.10	美山、足羽、清水、鶯各分遣所へ所長を配置する。
昭和51.11	高速自動車国道北陸自動車道(福井～武生インターチェンジ)開通に伴い、消防相互応援協定書に基づき、救急業務を開始する。
昭和52.4	消防団員の定数「913名」に改める。
昭和52.4	消防職員の定数「247名」に改める。
昭和52.10	森田分遣所へ所長を配置する。
昭和53.4	消防職員の定数「257名」に改める。
昭和53.7	福井地区消防組合消防団員貸与品規則の一部を改正し、全団員に作業服を支給し、灰色略帽を廃止する。
昭和53.10	中藤島、麻生津両分遣所の勤務者2名を4名に増員し、消防士長を配置する。
昭和53.10	越廼分遣所の勤務者6名を7名に増員する。
昭和53.12	社分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造に改築する。
昭和54.1	福井地区消防本部訓練場(鉄筋コンクリート造2階建400平方メートル)を建設し開場する。
昭和54.4	消防職員の定数「266名」に改める。
昭和54.4	社分遣所の勤務者2名を3名に増員し、消防士長を配置する。
昭和54.10	社分遣所の勤務者3名を4名に増員する。

昭和54.10	西安居、鷹巣、大学前、河合各分遣所の勤務者2名を4名に増員し、消防士長を配置する。
昭和54.10	(財)日本防火協会及び(財)日本宝くじ協会から、防火広報車(拡声装置、録音再生装置、映写装置及びスクリーン式積載)の寄贈を受ける。
昭和54.10	(財)日本消防協会及び(財)日本船舶振興会から、防災自動車(非常ろ水器、防災テント、可搬式投光器一式積載)の寄贈を受ける。
昭和54.12	大学前分遣所の庁舎老朽化に伴い、福井市大宮3丁目30-22へ移転するとともに鉄筋コンクリート造2階建てを新築し、名称を大宮分遣所に改め、4名を1名増員し5名配置とする。
昭和54.12	福井市国見岳に管内の無線不感地帯を解消するため、消防専用超短波無線電話無人中継所を建設する。
昭和54.12	橋南分遣所の庁舎老朽化に伴い、木造2階建に改築する。 (開所式昭和55年1月6日挙行)
昭和55.3	福井地区消防本部を隣接旧福井社会保険事務所に移転する。
昭和55.4	消防職員の定数「285名」に改める。
昭和55.8	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し、4名とする。
昭和55.10	(財)日本宝くじ協会から、福井地区消防音楽隊用バス1台(42名乗り)及び楽器一式(約50点)の贈呈を受ける。
昭和55.12	志比口分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和55年12月13日挙行)
昭和56.1	豪雪に見舞われ、消防自動車運行不能となる。
昭和56.4	消防職員の定数「292名」に改める。
昭和56.4	福井市東部地区の警防体制強化のため、東消防署を設置し、勝見分遣所を発展的に解消する。(開署式昭和56年4月10日)
昭和56.4	消防団員の定数「914名」に改める。
昭和56.4	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し5名とする。
昭和56.10	東藤島分遣所勤務者2名を4名に増員する。
昭和56.10	日本損害保険協会から16m級屈折梯子付消防ポンプ自動車の贈呈を受ける。
昭和56.12	殿下分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和56年12月1日挙行)
昭和56.12	湊分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和56年12月20日挙行)
昭和57.2	(財)日本消防協会より福井地区消防団に対し、特別表彰「まとい」が授与される。
昭和57.4	消防職員の定数「298名」に改める。

昭和57.10	国見、殿下分遣所の勤務者2名を4名に、清水分遣所8名を9名に増員する。
昭和57.12	南消防署に訓練塔付(救助)講堂(鉄骨2階建)を増築する。
昭和58.4	消防職員の定数「314名」に改める。
昭和58.4	消防業務の多様化と警防指揮体制の強化を図るため一部機構改革を行う。 本部救助隊を発展的に解消し、各署に救助隊を編成。 本部警防課を廃し、警防管理課、司令課を設ける。
昭和58.9	人事、事務、組織及び財務の見直し改善を図るため「福井地区消防組合行政制度改善委員会」を設置。
昭和59.11	福井県共済農業協同組合連合会からBS-2型救急車(1台)の寄贈を受ける。
昭和59.12	東藤島分遣所及び鶉分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。
昭和60.4	消防職員の定数「323名」に改める。
昭和60.4	行政制度改善に伴う組織の見直しを行い、消防本部の「警防管理課」と「司令課」を統合し、「司令課」とする。
昭和61.3	27m級大型高所放水車1台、福井石油備蓄基地火災等災害に対処するため購入する。
昭和61.4	福井市西部地域一帯の警防体制強化及び福井石油備蓄基地の防災拠点として臨海消防署を設置し、棗及び鷹巣の両分遣所を発展的に解消する。(開署式昭和61年4月10日)
昭和61.4	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し6名とする。
昭和61.8	福井石油備蓄基地火災等災害対処のため、大型化学消防ポンプ自動車、泡原液搬送車を購入し、臨海消防署へ配置する。
昭和61.9	石油備蓄基地タンク群のオイルイン完了。
昭和63.3	福井県市町村消防相互応援協定書が調印され、昭和63年4月1日から施行となる。
昭和63.4	消防職員の定数「331名」に改める。
昭和63.10	中消防署に「特別救助隊」を、南消防署に「普通救助隊」を、各1隊配置する。
平成元.4	消防職員の定数「339名」に改める。
平成元.10	東消防署に「特別救助隊」を1隊配置する。
平成元.12	消防団活性化対策の一環として、福井地区消防団に女性団員を6名任用する。
平成2.4	(仮称)福井市防災センター及び福井地区消防本部合同庁舎建設に係る消防情報管制システム導入に伴い「システム開発室」を設置する。
平成2.4	臨海消防署に「普通救助隊」を1隊配置する。
平成2.10	「新庁舎開設準備室」を設置する。
平成2.10	中藤島分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造2階建に改築する。
平成3.4	「システム開発室」を「情報管制課」に名称変更する。
平成3.4	司令課の通信司令室を情報管制課に移設したのに伴い、同課を「警防課」に改める。

平成 3. 4	本部予防課内に「研究検査室」を設置する。
平成 3. 4	警防課内に「救急救助担当司令」を配置する。
平成 3. 4	消防職員の定数「343名」に改める。
平成 3. 6	消防本部庁舎の老朽化に伴い、福井市和田中町清水川 2 番地へ移転するとともに、福井市防災センターとの合同庁舎「総合防災センター」として鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建を新築し、落成式を挙げる。
平成 3. 6	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、中消防署へ配備する。
平成 3.11	組合設立20周年記念式典を挙げる。
平成 4. 3	50m級梯子車を導入し、中消防署へ配備する。
平成 4. 3	東消防署訓練塔及び車庫(鉄筋コンクリート造 2 階建947平方メートル)を新築する。
平成 4. 4	救急業務の高度化に伴い、消防本部救急救助教育訓練センターを設置し、同センター所長を配置する。
平成 4. 5	県内の消防機関で第 1 号の「救急救命士」が誕生する。
平成 4.11	河合分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造 2 階建に改築する。
平成 5. 3	(財)日本損害保険協会から高規格救急自動車 1 台の寄贈を受け、中消防署へ配備する。
平成 5. 4	消防職員の定数「353名」に改める。
平成 5.11	中消防署に「特別救急隊」を配置する。
平成 6. 3	(財)救急振興財団から救急普及啓発広報車 1 台の寄贈を受ける。
平成 6. 4	消防職員の定数「363名」に改める。
平成 6.11	市内 4 分遣所(湊、大宮、橋南、志比口)を分団本部に移行する。
平成 6.11	消防本部内に「消防署所適正配置対策室」を設置する。
平成 6.11	地域住民の防災知識等の向上を図るため、本部に防災安全統括指導官(予防課長事務取扱)、各消防署に防災安全指導官(署予防課長事務取扱)を配置する。
平成 7. 3	足羽分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造 2 階建に移転新築する。
平成 7.10	消防署所適正配置対策室を職員課の課内室とする。
平成 7.10	消防団の組織改正により、地区団長制度を新設する。
平成 8. 2	災害対応特殊救急自動車(4WD高規格救急自動車)を導入し、南消防署に配置する。
平成 8. 3	高度救助資機材を中消防署及び東消防署の特別救助隊に配備する。
平成 8. 3	コミュニティ防災資機材を管内の自主防災会(10ヶ所)に配備する。
平成 8. 3	(財)日本宝くじ協会から助成を受け、福井地区消防音楽隊用バス 1 台(51名乗り)を購入する。
平成 8. 4	消防職員の定数「365名」に改める。
平成 8. 4	「火薬取締法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の事

	務の一部が構成市町村長より再移譲され、業務を開始する。
平成 8.10	福井県防災航空隊へ隊長及び隊員の2名を派遣する。
平成 8.10	消防職員委員会を設置する。
平成 9. 1	ロシアタンカー「ナホトカ号」が沈没し、流出した大量の重油が越前海岸に漂着する。
平成 9. 3	災害対策支援車を導入し、消防本部に配備する。
平成 9. 3	コミュニティ防災資機材を管内の自主防災会(10ヶ所)に配備する。
平成 9. 4	消防職員の定数「367名」に改める。
平成 9. 4	女子消防吏員2名を採用する。
平成10. 1	福井地区消防訓を定める。
平成10. 3	福井消防の歌を定める。
平成10. 4	消防行政改革に伴い、組織機構を次のとおり見直しする。 (1)消防本部の情報管制課を「情報管制室」に改め、警防課の課内室とする。 (2)消防本部の職員課課内室にあった消防署所適正配置対策室を、職員課に吸収統合する。 (3)消防署の消防第1課及び消防第2課を統合し、「警備課」に改める。 (4)消防署の予防課を「予防指導課」に改める。 (5)消防署所適正配置基本計画に基づき、美山、越廼及び清水の各分遣所を「分署」に格上げする。
平成10. 4	消防行政改革に伴い、職制を次のとおり見直しする。 (1)消防本部・署の主幹制、課長補佐制及び副主幹制等を廃止する。 (2)消防本部の総務課に「調整参事」、警防課に「副課長」及び「室長」並びに本部各課に「主任」を配置する。
平成10. 4	女子消防吏員2名を採用し、4名とする。
平成10. 5	福井地区消防支援ボランティア制度を発足する。
平成10. 6	自治体消防50周年及び福井震災50周年を記念して「第3回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル」を開催する。
平成10. 7	携帯電話からの119番通報接続を開始する。
平成10.10	消防署所適正配置計画に基づき「西分署」を開署する。
平成10.10	コミュニティ防災資機材を自主防災会(43ヶ所)に配備完了する。
平成10.10	緊急消防援助隊近畿・中部ブロック合同訓練を開催する。
平成11. 8	全消会東近畿支部消防研究会で「ワンタッチ式自在吸引器」が最優秀賞を受賞する。
平成11.11	第1回「県民の消防上」表彰式が福井テレビにおいて行なわれ、福井地区消防音楽隊が栄えある表彰を受ける。
平成12. 3	消防史誌「福井消防50周年の歩み」を発刊する。

平成12.11	「第2回県民の消防士」の表彰式で県下1,200名の消防職員の中から消防本部警防課員が栄えある表彰を受ける。																									
平成12.12	年間の救急出場件数が、昭和37年に救急業務を開始して以来、初めて5,000件を突破する。																									
平成13.4	消防本部の警防課内にあった救急救助室を「救急救助課」とする。																									
平成13.10	消防署の警備課を警備第一課、警備第二課とし、各課に課長及び警備司令を配する。																									
平成13.10	組合設立30周年記念式典を挙げる。																									
平成14.4	交代制職員の勤務体制を2部制から3部制に改め、警備第一課、警備第二課、警備第三課とする。消防本部警防課を警防管理課に改称し、警防課内室の情報管制室を救急救助課内に移し、同課内に指揮隊及び新消防情報管制システム準備室を設置する。																									
平成15.4	消防情報管制システムを更新する。																									
平成15.4	麻生津分遣所を今市町地係に移転新築する。																									
平成15.4	消防本部の職員課内にあった「市町村合併推進準備室」を単独室とする。																									
平成15.12	美山分署を美山町朝谷島地係に移転新築する。																									
平成16.4	消防組織体制の充実強化を図るため、組織機構及び職制を次のとおりとする。 (1)消防本部の警防管理課と救急救助課を統廃合し「救急救助課」とする。 (2)消防本部救急救助課内室であった情報管制室を「管制課」とする。 (3)消防本部職員課に副課長、各署に専任の庶務課長を配置する。 (4)西分署に管理職の分署長を配置する。																									
平成16.4	福井地区消防音楽隊創立50周年を記念し、福井市営体育館において"華麗なファイヤーマーチングの世界"を開催する。																									
平成16.7	「7.18福井豪雨」が発生、13時34分足羽川堤防決壊。福井市、美山町で甚大な被害をこうむる。 10時42分：福井県市町村消防相互応援協定により県内各消防本部に応援要請 10時45分：福井県を通じて緊急消防援助隊の出場要請																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>出場隊数</th> <th>出場人員</th> <th>救助人員</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内隊</td> <td>8隊</td> <td>105名</td> <td>24名</td> <td>県下8消防本部</td> </tr> <tr> <td>緊援隊</td> <td>176隊</td> <td>610名</td> <td>189名</td> <td>2府7県緊急消防援助隊</td> </tr> <tr> <td>航空隊 防ヘリ含む (機)</td> <td>10隊</td> <td>89名</td> <td>262名</td> <td>福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>194隊</td> <td>804名</td> <td>652名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	出場隊数	出場人員	救助人員		県内隊	8隊	105名	24名	県下8消防本部	緊援隊	176隊	610名	189名	2府7県緊急消防援助隊	航空隊 防ヘリ含む (機)	10隊	89名	262名	福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市	合計	194隊	804名	652名	
区分	出場隊数	出場人員	救助人員																							
県内隊	8隊	105名	24名	県下8消防本部																						
緊援隊	176隊	610名	189名	2府7県緊急消防援助隊																						
航空隊 防ヘリ含む (機)	10隊	89名	262名	福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市																						
合計	194隊	804名	652名																							
平成16.10	福井市の防災監として管理職1名を派遣する。																									
平成17.1	林省吾消防庁長官が「7.18福井豪雨」に対する職員激励に来訪する。																									

平成17. 3	消防署所適正配置計画に基づき社分遣所を若杉3丁目地係に移転新築し、分署に格上げする。
平成17. 4	消防本部に市町村合併に伴い総務・合併担当として理事職を配置する。
平成17. 4	消防団の組織を7地区制から4地区制に改め、分団名称を第1分団から第43分団に改める。
平成17. 4	消防本部総務課及び管制課に副課長を配置する。
平成17.10.20	清水婦人防火クラブが第17回全国女性消防操法大会に出場する。
平成18. 1.26	越廼分署を越廼村蒲生1-89-1に移転新築する。
平成18. 1.27	清水分署を、清水町小羽の旧分署庁舎横に移転新築する。
平成18. 1.31	消防組合解散式を防災センター多目的ホールにおいて行う。
平成18. 2. 1	市町村合併に伴い、これまでの消防組合を解散し、福井市消防局となる。 (1)消防局の定員「367名」とする。 (2)消防組合時の消防本部に設置していた総務課、職員課、市町村合併推進準備室、予防課、救急救助課及び管制課の5課1室を、消防総務課、予防課、救急救助課及び管制課の4課とする。 (3)消防署の課制を廃止し、あわせて課長を主任に改める。 (4)福井市防災監として、管理職(部長級)1名を出向させるとともに、自主防災組織結成率向上のため、新たに総務部(防災センター)に職員6名を出向させる。
平成18. 4. 1	消防署に、警備事務を統括し、自主防災組織の事務を掌理するため、防災指導官(消防司令長)を配置する。
平成18. 6	「みんなで防災を考える21日間」を実施し、ポスター、のぼり旗を作成し、防火意識の高揚を図る。
平成18. 7	7月豪雨により、中野1丁目、志津ヶ丘2丁目等でがけ崩れが発生、中野1丁目では生埋めとなった2名が死亡する。
平成18.10	14年ぶりに新防火衣が配備される。
平成18.11	女性消防吏員の消防自動車機関員が誕生する。
平成19. 1	福井市改善王選手権2006において改善王グランプリ及び準グランプリを受賞する。
平成19. 1	東消防署耐震補強工事が完了。
平成19. 3	3月25日発生の「能登半島地震」に緊急消防援助隊として、指揮隊、後方支援隊、救助隊及び救急隊が出場する。
平成19. 4	消防組織の充実強化を図るため、組織機構及び職制を次のとおりとする。 (1)中、東署長に消防監を配置する。 (2)消防局予防課に副課長を配置する。 (3)防災センターの施設管理を消防局が行い、技術吏員を消防総務課に配置する。

	(4)自主防災組織結成率が高くなったため、防災センターへの派遣職員3名の派遣を解く。
平成19. 4	団塊の世代の大量退職に伴う消防団員の大量退職を回避するため、消防団員の定年を各々5歳ずつ延長し、副分団長以上を70歳、部長以下を65歳とする。
平成19. 4	消防団総合戦略検討委員会を設置し、消防団の分団区域の見直し等の検討を開始する。
平成19. 5	中消防署救急隊に女性救急救命士が誕生する。
平成19. 7	消防団員の活動服を更新する。
平成20. 3	自治体消防発足65周年記念式典において、(財)日本消防協会から福井市消防団に対し「表彰旗」が、また中谷輝雄消防団長に対し「特別功労賞」が授与される。
平成20. 4	中谷輝雄消防団長が勇退し、藤田貞武中地区団長が新消防団長に就任する。
平成20. 4	総務省消防庁へ職員1名を研修派遣する。
平成20. 4	救急救助課に再任用職員1名(消防OB)を配置する。
平成20. 7	多様化・複雑化する大規模災害や特殊な災害に対して、迅速かつ効果的に対応するため、東消防署に高度救助隊を設置する。
平成20.10	住宅火災による死者の軽減を図るため、福井市において「住宅防火対策推進シンポジウム」(総務省消防庁主催)を開催する。
平成21. 3	世界的な新型インフルエンザの発症に伴い、福井市消防局新型インフルエンザ業務継続計画を制定し、非常時に備えた体制の整備を図る。
平成21. 3	消防職員についても、団塊の世代に伴う大量退職がはじまる。
平成21. 4	地域防災力の向上を目指し、消防団の分団管轄区域や名称を小学校区と同じに変更し、53ヶ分団(本部分団も含む)定数1,011名の新体制とする。(実員900名)
平成21. 4	管制課に3名(消防OB、交替制勤務)、救急救助課に1名(市OB)の再任用職員を配置する。

福 井 の 大 火 等

明歴(3年)の大火	1月市内堀平太夫組町から出火、詳細不明。
寛文(9年)の大火	4月15日勝見村永雲寺前から出火、福井城をはじめ59町にわたり3,579戸を焼失する。以後天守閣が見られなくなる。
文政(元年)の大火	7月11日木田横町から出火、橋南地区を全焼し、対岸八幡町に飛火し、1,425戸を焼失する。
嘉永(6年)の大火	6月12日京町から出火、本町、浜町を焼失し、対岸木田から今坂に類焼、971戸を焼失する。
嘉永(7年)の大火	6月13日塩町から出火し、福井城内、外2,242戸を焼失する。
明治(33年)の大火	4月19日木田地方から出火、橋南、明里、三ツ橋地方、22町2村に延焼し、家屋1,891戸、神社学校等262棟を焼失、死者7名、負傷者281名を生じる。
明治(35年)の大火	3月30日佐佳枝中町から出火、主要部31町焼失し、隣接の西藤島村、河合村、東安居村に延焼。3,182戸、神社土蔵等644棟を焼失、死者8名、重傷者36名を生じる。
大正(7年)の大火	5月16日佐佳枝上町から出火、柴田神社、福井地方裁判所等450戸を焼失する。
大正(8年)の大火	5月7日宝永下町から出火、589戸を焼失、死傷者10数名を生じる。
大正(12年)火災 (鮎川大火)	3月31日鮎川東北部から出火、全戸(300戸)を焼失する。
昭和(20年)の空襲	7月19日午後10時15分、空襲により市街地の86.8%を焼失、死者約1,600人を生じる。
昭和(23年) (福井地震)	6月28日午後4時14分(夏時間午後5時14分)、マグニチュード7.3の烈震により、市内建物はほとんど全壊、市内29ヶ所から火災が発生し、2,069戸を焼失、全半壊21,075戸(旧足羽町を含む)、死者1,062名の被害を生じる。
昭和(29年) (大名町大火)	8月4日午前3時50分頃、大名町四ツ辻商店街から出火し、15棟を全焼する。震災後6年間で最大の火災となった。
昭和(32年) (学校火災)	2月6日午後2時40分頃、東明里町湊小学校教室から出火、校舎1棟、渡り廊下を全焼、講堂の一部を部分焼する。
昭和(43年) (駅前大火)	5月18日中央1丁目キャバレー「ささ」から出火、付近商店街等22棟を全半焼、2,465㎡を焼失する。
昭和(43年～46年) (連続放火)	昭和43年10月から昭和46年4月まで、福井市内のほか武生市や春江町、宮崎村など2市7町1村において計64件の「時限発火装置による連続放火」(3・8放火)が発生し、官民が一体となって長期にわたる警戒体制を敷いた。
昭和(46年) (学校火災)	7月15日20時33分、城東3成和中学校体育館から出火し、体育館1棟と渡り廊下を全焼する。
昭和(49年) (駅前大火)	3月30日中央1丁目精肉ビルから出火、付近商店街等13棟を全半焼、1,205㎡を焼失する。
昭和(51年) (ガス局火災)	1月16日福井駅東側に位置する福井市企業局ガス部構内でタンクローリーが、給油作業ミスにより炎上、ナフサ貯蔵タンク2基の誘爆危険もあり、化学車を含む消防

	<p>車両 16 台、消防職・団員 239 名を出場させ防ぎょ活動を展開した結果、タンクローリー 1 台、ナフサ 8,900 のみの焼損で食い止めた。</p>
<p>昭和(53 年) (林野火災)</p>	<p>美山町野波の通称「平岩」の山麓から出火し、標高 500m の山頂まで幅約 1 km に渡って燃え広がり、民有林約 50 ヘクタールを焼失する。</p>
<p>平成(5 年) (密集地火災)</p>	<p>豊島 1 丁目の住宅から出火し、近隣の住宅や旅館等全焼 2 棟、部分焼 9 棟を焼損する。</p>
<p>平成(11 年) (密集地火災)</p>	<p>豊島 2 丁目の倉庫から出火し、近隣の住宅等全焼 7 棟、半焼 1 棟、部分焼 3 棟を焼損する。</p>
<p>平成(15 年) (密集地火災)</p>	<p>中央 1 丁目新栄商店街の中央に位置する商店から出火し、近隣の商店等全焼 7 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟、ボヤ 3 棟を焼損する。</p>
<p>平成(20 年) (密集地火災)</p>	<p>勝見 3 丁目の一般建物から出火し、全焼 4 棟、部分焼 3 棟を焼損する。</p>

福井市消防訓

総説

消防は、住民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、社会公共の安寧秩序の保持と福祉の増進に寄与すること甚大なものがあり、職員は、消防人として奉仕の精神の下、義侠と献身の美德を体する高い誇りと責任を持つ。

1. 団 結

我々は、消防使命の達成に友愛をもって団結し、あらゆる消防事象に勇気と忍耐をもって迅速的確に対処する。

1. 規 律

我々は、規律を重んじ、指揮命令に従い、誠実、かつ、公正に職務を遂行する。

1. 修 養

我々は、消防に関する卓越した知識、技術を修め、訓練に励み、美しい徳性を養い、住民の信頼に応える。

福井消防の歌

われら！
消防福井

作詞 北斗 さやか
作曲 睦 筆文

<p>3 ここに輝く 消防 福井 めさせ！ われら 緑土の平和 誇り 高らかに 使命に燃えて 明日にははたく 不死鳥の 築く未来に 夢も咲く ここに伸びゆく 消防 福井</p>	<p>2 鍛え！ われら 魂と身体 備え 弛まず 鎮めよ 火災 生命 尊ぶ 活動の 誠 尽くして 人情あり ここに輝く 消防 福井</p>	<p>1 進め！ われら 福井の志士よ 守れ 郷土 仲間よ集え 胸に 刻みし 防災の 誓い新たに 士気満ちて ここに団結 消防 福井</p>
--	---	--

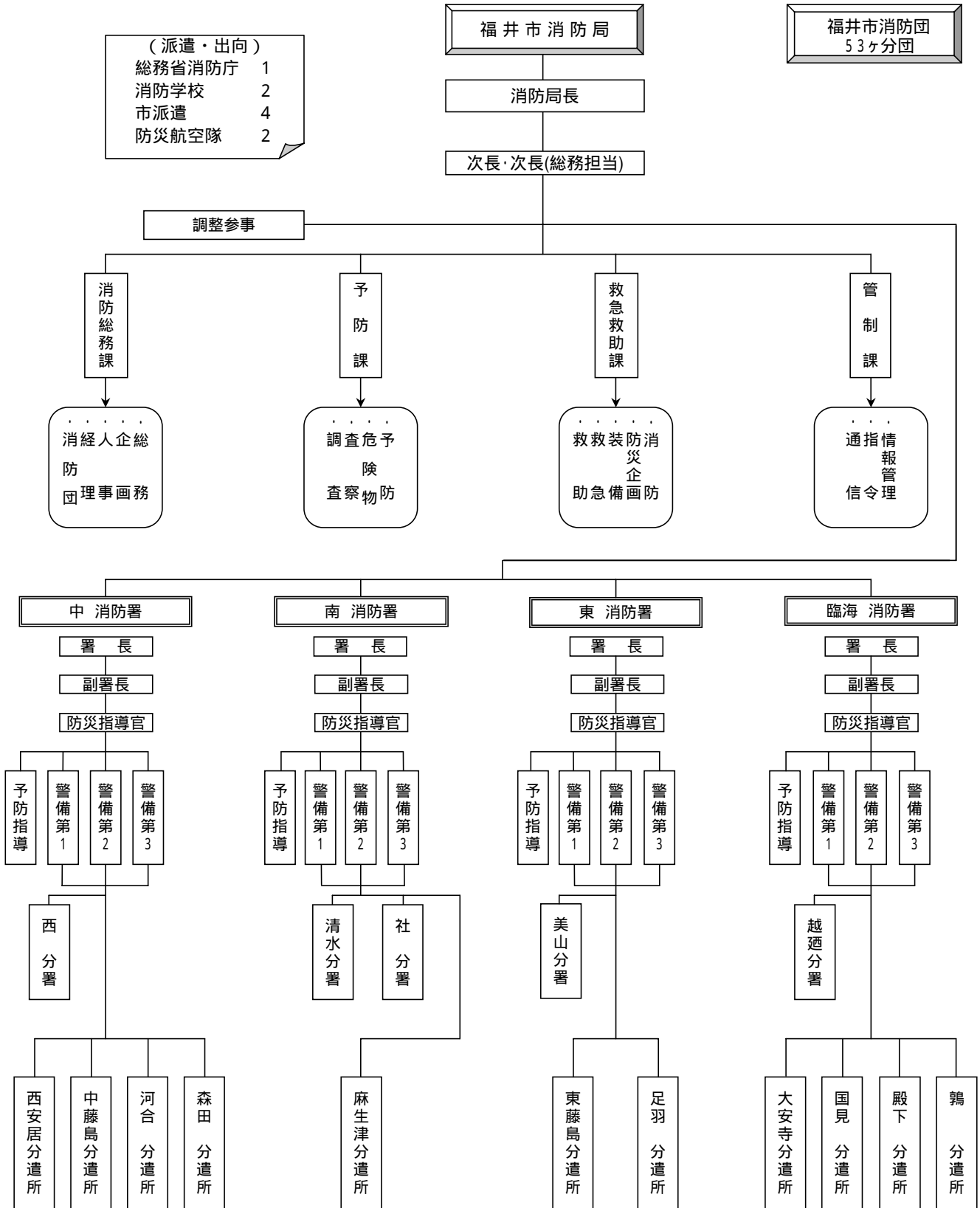


総務編



福井市消防局組織機構図

平成21年4月1日



消 防 庁 舎 の 現 況

署 所 別	所 在 地	建築年月日	敷地面積(m ²)	建築面積(m ²)	延面積(m ²)	備 考
	構 造					
消防局	福井市和田東2丁目2207番地	H 3. 7. 1	5,468.17	1,487.09	4,351.27	
	鉄筋コンクリート4階建					
中消防署	福井市松本4丁目9-36	S40. 8.27	1,004.89	682.06	1,840.66	
	鉄筋コンクリート3階建					
訓練塔・車庫	福井市松本4丁目10-1	S53.12.27	480.00	400.00	599.45	2階屋上訓練塔
	鉄筋コンクリート2階建					
西分署	福井市堀ノ宮町1-12-1	H10. 9.21	1,029.56	284.95	454.19	
	鉄骨造2階建					
森田分遣所	福井市下森田藤巻町2	S42.7.30	149.81	149.81		
	鉄骨瓦棒葺平屋建					
河合分遣所	福井市山室町21-1	H 4.12. 2	200.00	94.36	144.86	
	鉄骨造2階建					
中藤島分遣所	福井市高木北2丁目901-1	H 2.10.18	386.00	92.17	144.25	
	鉄骨造2階建					
西安居分遣所	福井市羽坂町34-31-1	S50.12.11	196.76	81.00	134.96	
	鉄筋コンクリート2階建					
南消防署	福井市花堂中1丁目14-25	S47. 3.15	1,538.04	544.31	1,218.33	
	鉄筋コンクリート2階建					
社分署	福井市若杉3丁目906	H17. 3.10	692.87	255.25	429.05	
	鉄骨造2階建					
麻生津分遣所	福井市今市町12字7-1	H15. 3.25	737.00	193.50	301.19	
	鉄骨造2階建					
清水分署	福井市小羽町27-1	H18. 1.25	915.16	311.52	477.18	
	鉄骨造2階建					
東消防署	福井市和田東2丁目2205番地	S56. 3.30	2,200.04	406.76	1,370.52	
	鉄筋コンクリート3階建					
訓練塔・車庫	福井市和田東2丁目1810番地	H 4. 3.30	1,046.01	467.01	947.91	2階屋上訓練塔
	鉄筋コンクリート2階建					
東藤島分遣所	福井市上中町31-7-3	S59.12. 1	316.44	89.60	143.00	
	鉄筋コンクリート2階建					
足羽分遣所	福井市東郷二ヶ町37字堂田31番3	H 7. 3.15	600.00	141.09	195.87	
	鉄骨造2階建					
美山分署	福井市美山町6字9-1	H15.12.12	458.54	259.69	387.36	
	鉄骨造2階建					
臨海消防署	福井市西畑町15-1-1	S61. 3.10	2,100.00	434.59	996.15	
	鉄筋コンクリート2階建					
車庫・倉庫	福井市西畑町15-1-1	H 2. 3.30	300.00	200.00	200.00	
	鉄骨造平屋建					
大安寺分遣所	福井市田ノ谷町13-104	S45, 9.17	52.00	67.47	67.47	
	木造瓦葺平屋建					
鶉分遣所	福井市砂子坂町5-58	S59.12.9	120.00	120.00		
	鉄骨平屋建					
国見分遣所	福井市鮎川町108-6-1	S42. 8.24	656.70	184.13	184.13	
	鉄筋コンクリート平屋建					
殿下分遣所	福井市畠中町27-13-1	S56.11.15	317.42	87.20	138.40	
	鉄筋コンクリート2階建					
越廼分署	福井市蒲生町1-89-1	H18.1.26	580.40	289.77	428.64	
	鉄骨造2階建					

平成21年度 消防局マネジメント方針

【基本方針】

市民一人ひとりが「安心」と「安全」を実感しながら生活できるよう、消防団や市民の方々と協働しながら「災害に強い、安心・安全なまちづくり」を進めます。

【目標】

- ・ 火災から人命と財産を守るため、防火安全対策の推進に努めます
- ・ 地域の防災力を強化するため、消防団の充実・強化や自主防災組織の育成・指導に努めます
- ・ 助かる命を助けるため「救急知識」の普及に努めます
- ・ 災害現場での対応力を向上させるため、高度な知識や技術を持つ人材の育成や職員の資質向上を図ります
- ・ 消防施設の充実を図ります
- ・ 消防組織のあり方について検討します



1. 一般会計予算と消防費予算

区 分	21年度当初		20年度当初	
	予 算 額	一世帯当たり負担額	予 算 額	一世帯当たり負担額
一般会計予算	95,722,000 千円	1,006,509 円	93,694,000 千円	993,669 円
うち消防費予算	4,688,965 千円	49,304 円	3,770,632 千円	39,989 円

2. 人口と予算の推移

年度別	人 口	総予算額	人口一人当りの負担額	うち消防費 予 算 額	人口一人当りの負担額
7.4	272,380 人	3,837,961 千円	14,090 円	3,388,877 千円	12,441 円
8.4	268,975	3,894,224	14,478	3,452,303	12,835
9.4	271,676	3,741,336	13,771	3,521,922	12,963
10.4	271,314	3,867,675	14,255	3,672,432	13,535
11.4	271,280	3,809,099	14,041	3,622,695	13,354
12.4	271,111	3,952,059	14,577	3,802,135	14,024
13.4	271,243	3,696,450	13,628	3,557,783	13,117
14.4	271,465	3,806,832	14,023	3,676,557	13,543
15.4	271,609	3,964,875	14,597	3,836,801	14,126
16.4	271,235	3,834,512	14,137	3,704,994	13,660
17.4	270,850	3,801,716	14,036	3,667,080	13,539
18.4	270,709	87,283,000	322,428	3,735,327	13,798
19.4	270,562	98,726,000	364,892	3,798,127	14,037
20.4	270,204	93,694,000	346,753	3,770,632	13,955
21.4	269,806	95,722,000	354,781	4,688,965	17,379

平成18年度以降の総予算額については、市町村合併に伴い組合が解散したことから、福井市一般会計予算額を記してあります。

3. 予算の歳入及び歳出内訳（平成 21 年度当初）

	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
歳 入	一 般 財 源	3,686,830	78.62
	使用料及び手数料	8,933	0.19
	国 庫 支 出 金	28,014	0.60
	県 支 出 金	84,000	1.79
	諸 収 入	4,288	0.10
	市 債	876,900	18.70
	合 計	4,688,965	100.00
歳 出	常 備 消 防 費	3,236,325	69.02
	非 常 備 消 防 費	92,784	1.98
	消 防 施 設 整 備 費	1,359,856	29.00
	合 計	4,688,965	100.00

4. 平成 21 年度（当初）予算の概要

（単位 千円）

節	目	常備消防費	非常備消防費	消防施設整備費	合 計
報 酬			55,867		55,867
給 与		1,557,345			1,557,345
職 員 手 当		1,106,318			1,106,318
共 済 費		429,601			429,601
報 償 費		368	432		800
旅 費		3,162	45		3,207
需 用 費		26,070	8,743	65,186	99,999
役 務 費		46,699		1,993	48,692
委 託 料		6,147		909,946	916,093
使用料及び賃借料		14,255		119,910	134,165
工 事 請 負 費				28,693	28,693
原 材 料 費		50			50
備 品 購 入 費		35,904	2,500	158,954	197,358
負担金補助及び交付金		10,406	25,197	70,498	106,101
補償、補填及び賠償金				200	200
公 課 費				4,476	4,476
合 計		3,236,325	92,784	1,359,856	4,688,965

(人事・教養)

1. 消防職員の現況

(平成21年4月1日現在)

所 属 別	合 計	消 防 史 員									その他職員		
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計	そ の 他 職 員	計	
実 員 合 計	357	1	3	18	70	91	87	47	32	349	8	8	
消 防 局	消 防 局 長	1	1							1			
	次 長	2		1						1	1	1	
	調 整 参 事	1			1					1			
	消 防 総 務 課	25			2	4	2	1		13	22	3	
	総務省消防庁派遣	1				1				1			
	新 採 用	12								12	12		
	福井県防災航空隊派遣	2				1	1			2			
	予 防 課	6			2	2	2			6			
	救 急 救 助 課	8			2	2	2	1		7	1	1	
管 制 課	19			1	6	8	1		16	3	3		
計	62	1	1	8	14	14	3		13	54	8	8	
中 消 防 署	本 署	51		1	2	11	11	11	8	7	51		
	西 分 署	18				3	4	3	5	3	18		
	西 安 居 分 遣 所	6				1	2	3			6		
	中 藤 島 "	6				1	3	2			6		
	河 合 "	6				1	3	2			6		
	森 田 "	6				1	4	1			6		
	計	93		1	2	18	27	22	13	10	93	0	0
南 消 防 署	本 署	37			3	9	7	7	9	2	37		
	社 分 署	6				1	3	1	1		6		
	清 水 "	12				1	4	7			12		
	麻 生 津 分 遣 所	6				1	3	1	1		6		
	計	61			3	12	17	16	11	2	61	0	0
東 消 防 署	本 署	49		1	2	12	6	10	11	7	49		
	美 山 分 署	12				1	4	5	2		12		
	東 藤 島 分 遣 所	6				1	2	2	1		6		
	足 羽 "	6				1	5				6		
	計	73		1	2	15	17	17	14	7	73	0	0
臨 海 消 防 署	本 署	35			3	7	5	16	4		35		
	越 迺 分 署	9				1	3	2	3		9		
	大 安 寺 分 遣 所	6						2	3	1	6		
	国 見 "	6				1	2	3			6		
	殿 下 "	6				1	2	3			6		
	鶺 鴒 "	6				1	2	2	1		6		
	計	68			3	11	16	29	9		68	0	0

* 条例定数 367人

2 職員階級別年齢状況

(平成21年4月1日現在)

職名別 階級別 年齢別	総計	消 防 吏 員								その他職員	年齢別構成率
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
平均年齢	42.82	59.00	58.00	55.50	50.91	47.96	39.61	31.68	23.78	54.00	
計	357	1	3	18	70	91	87	47	32	8	100.0
18才～19才	2								2		0.6
20才～21才	3								3		0.8
22才～23才	8								8		2.2
24才～25才	14							2	12		3.9
26才～27才	9							3	6		2.5
28才～29才	9						1	8			2.5
30才～31才	13						2	10	1		3.6
32才～33才	21						10	11			5.9
34才～35才	27					2	14	11			7.6
36才～37才	25					7	16	1		1	7.0
38才～39才	14					5	9				3.9
40才～41才	9				1	1	7				2.5
42才～43才	22				3	8	10			1	6.2
44才～45才	19				5	13	1				5.3
46才～47才	18				8	6	4				5.1
48才～49才	22				11	9	2				6.2
50才～51才	25				11	10	3	1			7.0
52才～53才	25			5	7	11	2				7.0
54才～55才	22			4	11	3	3			1	6.2
56才以上	50	1	3	9	13	16	3			5	14.0

3 職員の勤続年数状況

(平成21年4月1日現在)

職名別 階級別 年齢別	総計	消 防 吏 員								その他職員	年齢別構成率
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
計	357	1	3	18	70	91	87	47	32	8	100.0
1年未満	17								12	5	4.7
1年以上～5年未満	19							2	14	3	5.3
5年以上～10年未満	32						3	23	6		9.0
10年以上～15年未満	27					1	16	10			7.6
15年以上～20年未満	59				1	11	36	11			16.5
20年以上～25年未満	32				7	11	14				9.0
25年以上～30年未満	60				24	28	7	1			16.8
30年以上	111	1	3	18	38	40	11				31.1

4. 福利厚生

職員の福利厚生については、福井県市町村職員共済組合の組合員としての各種保健衛生などの恩恵を受けているほか、福井市職員共済会において、会員の福利の増進を図る一方、体育・文化両面のクラブ活動及び慶弔互助事業などを行っている。又、特殊な勤務体制下で職員の健康保持を図るため、特定業務従事者健康診断等を実施している。

保健衛生事業

種 別	利 用 者 数	種 別	利 用 者 数
脳 ド ッ ク	24人	二 日 人 間 ド ッ ク	46人
B 型 肝 炎 抗 原 抗 体 検 査	95人	一 日 人 間 ド ッ ク	31人
特定業務従事者健康診断	257人	定 期 健 康 診 断	275人

5. 平成20年度消防職員教養等実施状況

複雑化した消防業務を適正かつ能率的に処理し得る資質能力を養成するため、委託教養及び所属における執行務教養を重点にした、効率的な教養を実施してきた。

教育区分		職名	実施回数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
委託教育	幹部教育		3		5	5	2			12	
	専科教育	警防科	1					4			4
		予防査察科	1				1	1	2		4
		救助科	1				1	2	1		4
		救急科	1				1	4	3		8
		特殊災害科	1				4				4
		危険物科	1					3	1		4
		火災調査科	1			1	1	2			4
	特別教育	水難救助科	1				2	1			3
		操法指導員教育	1		2	3					5
		救急救命士教育	1		2		1	1			4
		起震車操作員教育	1				1	3			4
		各種講座	5	1	21	9	5	9			45
	小計			19	1	30	18	19	30	7	105
本部教養	消防大学校入校		2		2					2	
	救急救命研修所入所		5				4	1		5	
	小計		7		2		4	1		7	
講習会等	小型移動式クレーン運転技能講習		1				1			1	
	ガス溶接技能資格者		1				2			2	
	第2種酸素欠乏危険作業主任者技術講習		1				1			1	
	足場組立等作業主任者技能講習		1			2	1			3	
	玉掛技能研修		1		1			2	1	4	
	衛生管理者試験準備講習		1				1	1		2	
	救急救命士研修		10		1	4	4	1		10	
	2級小型船舶操縦士		1				2			2	
	潜水士		1				1			1	
	小計		18		2	6	13	4	1	26	
合計			44	1	34	24	36	35	8	138	

6. 公務災害等発生状況

区 分	合 計	発 生 原 因										治 療 1ヶ 月 未 満	以 上 治 療 1ヶ 月		
		火 災	救 急	救 助	風 水 害	査 察	調 査	勤 務	訓 練	作 業	通 勤			そ の 他	
平成 10 年度	1								1						1
平成 11 年度	4			1					2	1					4
平成 12 年度	3								3				1		2
平成 13 年度	3	1							2						3
平成 14 年度	0														
平成 15 年度	3	2		1											3
平成 16 年度	3	2		1											3
平成 17 年度	4	2							2				2		2
平成 18 年度	2								1	1					2
平成 19 年度	5	1						1	1	2			2		3
平成 20 年度	8			2					4	1		1	5		3

7. 消 防 音 楽 隊

福井市消防音楽隊は、昭和 29 年火災予防広報を推進する目的で結成して以来、消防の各種行事をはじめ、各地区の体育祭、諸行事等に参加し、演奏活動を通じて広く住民と接し、消防に対する理解と認識を深め住民の防火思想の啓発普及に努めている。



(1) 階級別構成

(平成21年4月1日現在)

階 級	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
構成人員	3	4	10	5	8	30

(* 日勤者 4名、 3部勤務者 26名)

(2) 編成状況 (* 隊長 1名、副隊長 1名、楽長 2名、隊員 26名)

マ ー チ ン グ 編 成		コ ン サ ー ト 編 成	
トランペット	5	トランペット	5
コルネット	1	コルネット	1
ホルン	4	ホルン	4
ユーホニウム	2	ユーホニウム	2
トロンボーン	4	トロンボーン	4
バス	4	バス	4
サクソフーン	4	サクソフーン	4
パーカッション	5	パーカッション	5

(3) 活動状況

(平成20年中)

活動内容	消防関係	県市関係	慰問関係	その他	計
活動数	12	5	0	16	33

8. 消防団員の組織

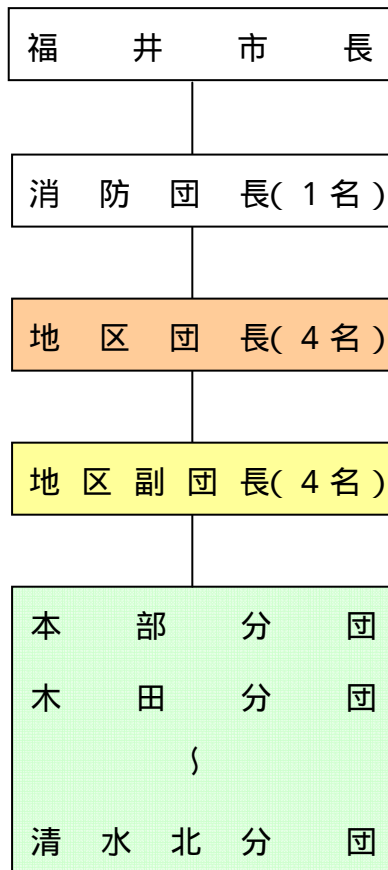
昭和46年11月1日、福井市、美山町、越廼村、清水町の一市二町一村で組合消防を設立以来、幾多の難問題を克服して消防団の大同団結を図り、昭和48年11月1日、福井地区消防団として全国初の消防団の統合を達成し、常備、非常備一体の理想的な自治消防を作りあげ、警防体制を確立するとともに、地域住民への防火思想の普及など多彩な消防活動を続けている。

平成18年2月1日には、組合を構成する一市二町一村が合併したことに伴い、新たに福井市消防団として組織を再編した。

平成19年4月には、団塊の世代の退職による消防団員の大量退職を回避するため、各々の定年を5歳ずつ延長し、副分団長以上の幹部を70歳、部長以下の団員を65歳とした。また、地域の消防防災力の向上と福井市国民保護計画との整合性や減少化の傾向にある消防団員の確保を目的として、消防団の中に「福井市消防団総合戦略検討委員会」を設置して種々検討を行った。その結果、市長や市議会議員、市民の理解を得て、平成21年4月から各分団の管轄区域や名称を小学校区と同じに変更し、53個分団、定数1,011名の新体制により、更なる市民の安心、安全の確保を目指し消防団活動を展開している。

福井市消防団組織図

平成21年4月1日



消防団員の階級別人員、平均年齢

(平成21年4月1日)

階級	団長	地区団長	地区副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定数	1	4	4	52	52	98	99	701	1,011
実員	1	4	4	52	52	86	90	611	900
平均年齢	68.0	63.5	57.3	59.4	54.9	53.7	50.2	41.5	45.6

消防団員現況一覧表

分団別人員

(平成21年4月1日)

分団	消防団長	地区団長	地区副団長	女性分団	木田	豊	足羽	東安	湊	春山	順化	宝永	松本	日之出	旭	和田
定員	1	4	4	16	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
実員	1	4	4	14	13	23	18	10	20	17	23	10	10	10	14	13
分団	円山	啓蒙	西藤島	社北	社南	安居	中藤	大安寺	河合	麻生津	国見	岡保	東藤島	殿下	鶉	本郷
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
実員	12	10	20	11	16	25	17	20	24	24	23	22	26	23	21	18
分団	棗	鷹巣	森田	明新	酒生	一乗	上文殊	六条	文殊	東郷	日新	清明	社西	下宇坂	芦見	羽生
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	11	11	11
実員	18	18	23	10	20	20	20	20	20	19	11	16	11	10	11	11
分団	上味見	下味見	上宇坂	越廼	清水西	清水東	清水南	清水北								
定員	11	11	11	20	20	20	20	20								
実員	11	10	11	30	18	18	18	10								

年齢別消防団員数

(平成21年4月1日)

年齢別	18～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	計
人員	4	45	210	301	261	79	900

在職年数別消防団員数

(平成21年4月1日)

年齢別	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	計
人員	243	164	142	120	98	133	900

消防団員の職務報酬

(平成21年4月1日)

区分	報酬額	区分	報酬額
消防団長	73,000円	副分団長	35,000円
地区団長	70,000円	部長	24,000円
地区副団長	59,000円	班長	19,000円
分団長	46,000円	団員	17,000円

消防団員の勤務報酬

(平成21年4月1日)

区分	基礎	支給額	摘要
出場勤務報酬	1回	2,200円	1日を単位とする
機関勤務報酬	正機関員	月額	5,500円
	副機関員	月額	2,200円
技術勤務報酬	年額	2,200円	

(備考) 1. 出場勤務とは、水火災にかぎらず、訓練警戒等すべて含む。

2. 出場時間4時間以上となる時は、4時間毎に出場勤務追加料(700円)を支給する。

消防団の活動状況

(平成21年4月1日)

区分	計	火災等	災害等	消防訓練	警戒警備	火災予防	教養	その他
延出場回数	627	140	29	235	35	27	14	147
延出場人員	11,247	1,737	262	6,439	1,010	831	220	748

消 防 団 員 の 教 養

（平成21年4月1日）

分団単位による消防活動の効率化を図るため、定例的（毎月）に規律訓練及び消防操法を重点的に実施するとともに、中堅幹部については指揮能力の向上を図る教養訓練を実施した。

教 養 区 分	受講対象者数	受 講 者 数	受 講 率	受 講 場 所
中級幹部教養	43人	26人	60.4%	県消防学校
初級幹部教養	77人	52人	67.0%	県消防学校
各地区巡回教養	896人	641人	71.6%	各地区5ヶ所

活動訓練（福井市防災訓練）



ポンプ車操法訓練



水防活動（福井豪雨 中央1丁目）



予 防 編



(福井地震 昭和23年6月28日)



福井地震により倒壊寸前の被害を受けた大和デパート



福井地震後、一面焼け野原となった福井市内



した森田町の様子
地震により住宅が倒壊

(第1表)

防火対象物の状況

(平成21年3月31日現在)

区分 別表第一	総 数	政令対象物																危険物施設等																	
		小 計	1種				2種				3種				4種				小 計	1種				2種				3種				4種			
			中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署		中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署				
合計	12,085	9,026	274	161	195	31	353	321	339	64	1,168	603	615	86	1,944	1,363	1,341	168	3,059	2	2	1	74	231	196	157	199		1	6		786	708	556	140
1 イ劇場等	30	7	2	3	2														23					6								16	1		
□集会場等	115	98	10	4	15	1					15	22	7	7	8	4	3	2	17					1	2		1		1		1	7	4		
2 イキャバレー等																																			
□遊技場等	42	33	5	4	7						5	6	2		3	1			9					4	1							1	2	1	
ハ性風俗関連施設	2	1									1								1														1		
ニカラオケボックス等店舗	13	13									4	5	4																						
3 イ料理店等	51	47	3		1						12	13	9		7	2			4													2	2		
□飲食店	446	345	10	1	3						117	24	35	4	54	44	49	4	101													38	21	41	1
4 店舗百貨店等	594	495	49	47	35	1					94	62	54	3	58	53	38	1	99				4	6	3	1						30	32	20	3
5 イ旅館ホテル等	206	113	19	4	18	14					13	7	11	16	3	1	2	5	93				9	4	8	4						19	10	15	24
□共同住宅等	3,055	2,475									382	146	196	5	850	509	383	4	580													264	172	139	5
6 イ病院等	302	187	31	23	17	3					32	18	18	3	19	16	6	1	115			1	10	10	8	6					36	29	9	6	
□福祉施設等	298	187	12	17	20	7					36	37	24	6	9	14	4	1	111				15	8	10	6					20	31	15	6	
ハ特殊学校・幼稚園	39	24	8	6	1						5	1	2	1					15				4	2	1						6	2			
7 学校等	204	107					33	26	25	13	6		1		2		1		97				13	1	15	2					13	22	19	12	
8 図書館等	25	17					4	4	2	1		2	1	1		2			8				2		1						2	3			
9 イサウナ等	10	5	1	1	1						1	1							5				1	1							1	1	1		
□公衆浴場等	44	22					1	1	1	1	1	1	1		7	5	3		22				2	4	2	1					6	4	3		
10 車輛停車場																																			
11 神社寺院等	225	212					13	11	5	1	1				41	51	48	41	13												5	4	4		
12 イ工場等	2,174	1,329					102	120	111	39	62	93	76	13	213	234	204	62	845	2	1		48	84	72	29	173			2		134	160	89	51
□スタジオ等																																			
13 イ車庫等	49	46					11	1	9		7	1	2		6	3	5	1	3				1	1							1				
□特殊格納庫等																																			
14 倉庫	922	789					46	74	76	1	48	55	80	8	126	101	153	21	133		1		8	14	8				3		14	50	33	2	
15 前項以外	1,360	1,018				1	124	63	88	6	12	11	1	2	267	171	256	16	342				26	47	40	42	4				45	66	55	17	
16 イ特定用途の存する複合	1,308	968	124	51	75	4					286	82	72	16	93	71	90	4	340				27	18	29	1		1			120	49	83	12	
□イ以外の複合用途	564	481					19	21	22	1	27	15	16	1	178	80	96	5	83				3	3							27	25	24	1	
17 文化財	7	7									1	1	1	3																					
18 アーケード																																			
単独施設	675																		675	32	34	35	19	73	93	139	11					49	82	83	25

【政令査察対象物区分】

- ・第1種査察対象物 ... 特定防火対象物で延面積1000㎡以上のもの。石災法第2条第6号の特定事業所。
- ・第2種査察対象物 ... 非特定防火対象物（共同住宅を除く）で延面積1000㎡以上で、かつ、自動火災報知設備の設置義務を有するもの。
- ・第3種査察対象物 ... 第1種及び第2種査察対象物以外の防火対象物で自動火災報知設備の設置義務を有するもの。
- ・第4種査察対象物 ... 政令別表第1に掲げる防火対象物（第1種、第2種、及び第3種査察対象物を除く）のうち、政令第10条の規定に基づき消火器の設置義務を有するもの。

【危険物施設等】

- ・第1種査察対象物 ... 予防規程の制定義務を有する危険物製造所等。
- ・第2種査察対象物 ... 第1種査察対象物以外の危険物製造所等。
- ・第3種査察対象物 ... 自動火災報知設備又は固定式消火設備の設置義務を有する指定可燃物貯蔵取扱所等。
- ・第4種査察対象物 ... 第1種、第2種、及び第3種査察対象物以外の危険物施設等。

(第2表)

防火対象物の査察状況

(平成21年3月31日現在)

区分 別表第一	総 数	政令対象物																危険物施設等																	
		小 計	1種				2種				3種				4種				小 計	1種				2種				3種				4種			
			中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署		中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署				
合計	4,151	2,982	246	172	173	72	151	122	226	115	434	248	178	106	226	225	112	176	1,169	3	3	1	100	175	99	61	196					144	152	107	128
1	イ劇場等 □集会場等	26 90	15 78	1 11	8 3	3 14						3 11							11 12						8 2								3 2		6 2
2	イキャバレー等 □遊技場等	22	18	2	4	4					3	5							4					2	1							1			
	ハ性風俗関連施設 二カラオケボックス等店舗	1 13	1 13								1 4																								
3	イ料理店等 □飲食店	16 275	16 246			2				139	15	14	3	14	26	9	4		29													14	3	11	1
4	店舗百貨店等	349	282	37	41	24	7			31	40	31	5	24	29	11	2		67				5	6	2	5					8	25	13	3	
5	イ旅館ホテル等 □共同住宅等	146 239	83 192	15	4	18	15			2	1	3	19	1			5		63			2	2	3	10					4	7	10	25		
6	イ病院等 □福祉施設等 ハ特殊学校・幼稚園	138 313 23	93 224 20	17 25	30 25	7 24	9 27			5 29	4 34	8 24	6 15	3 1		2 7	2 2		45 89			1		2	7	5	10			5	8	1	6		
7	学校等	128	103					42	23	19	16	2			1				25				4		4	2				2	3		10		
8	図書館等	24	19					4	5	2	3		3	1					5				2							2	1				
9	イサウナ等 □公衆浴場等	7 9	4 3	1		1					1	1							3 6				1	1									1 1		
10	車輛停車場																																		
11	神社寺院等	98	91							7	4	3	1		1			11	18	5	41			2							1	2	2		
12	イ工場等 □スタジオ等	940 3	489 3					50	44	49	76	30	34	18	13	56	34	15	70	451	3	1		72	109	32	9	133			26	24	12	30	
13	イ車庫等 □特殊格納庫等	13	11					1		5			1			2			2					2											
14	倉庫	207	180					5	14	61	1	10	23	12	7	9	10	8	20	27		1		3	3	5					4	10	1		
15	前項以外	391	264				1	46	19	74	13	4	1		2	27	32	29	16	127		1		28	18	9	14	5			11	14	13	14	
16	イ特定用途の存する複合 □イ以外の複合用途	587 76	452 65	112	44	73	9		5			98	27	18	17	12	22	10	5	135				14	16	16	4			29	22	21	13		
17	文化財	17	17		6					1	1		6	2			1																		
18	アーケード																																		
単独施設		526																	526	41	74	75	20	65	92	111	12			3	7	2	24		

(第3表)

高層建築物等の実態

(平成21年3月31日現在)

階別 用途別	総 数	地 上 階 数																																																						
		4 階					5 階					6 階					7 階					8 階					9 階					10 階					11 階					12 階					13 階以上									
		小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署										
合計	1,511	785	448	156	171	10	354	229	54	67	4	170	105	24	39	2	73	45	7	21		63	37	9	17		25	16	3	6		19	5	5	9		7	5	1	1		3	1		2		12	9		3						
1												1	1																																											
2																																																								
3																																																								
																						1	1																																	
4																						2	2																																	
5																						8	6		2	3			3	1	1						2	2									1	1								
																						29	11	7	11	8	4	2	2	12	2	4	6	3	1	1	1	1					1			1		4	3		1					
6																						1			1	1																														
7																						1	1																																	
8																																																								
9												1	1																																											
10																																																								
11																																																								
12																																																								
13																																																								
14																																																								
15																						11	10		1	8	8			1	2	2					1										1			1		1	1			
16																						10	6	2	2	4	3		1	3	1	1	1	1								1	1									3	2		1	
																											1	1				2	1	1																						
17																																																								
18																																																								

(第4表)

地階を有する建築物実態

(平成21年3月31日現在)

階別 用途別	総 数	地 下 階 数														
		地下1階					地下2階					地下3階				
		小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署
合 計	303	278	197	33	34	14	22	17		4	1	3	3			
1	イ	1	1		1											
	ロ	4	4	3		1										
2	イ															
	ロ	1	1			1										
	ハニ		1	1												
3	イ	4	4	3	1											
	ロ	24	24	23		1										
4	7	7	6		1											
5	イ	11	10	5		1	4	1			1					
	ロ	11	10	8		2		1	1							
6	イ	15	14	6	3	5		1			1					
	ロ	6	6	2		2	2									
	ハ															
7	4	4	4													
8	5	5	3		1	1										
9	イ	3	3		3											
	ロ	1	1			1										
10																
11	5	5	2	2	1											
12	イ	4	4		2	1	1									
	ロ															
13	イ	5	2	1		1		3	3							
	ロ															
14																
15	82	68	44	12	9	3	12	11		1		2	2			
16	イ	100	95	80	7	7	1	4	2		2		1	1		
	ロ	9	9	6	2	1										
17																
18																

(第5表)

建築物同意事務処理状況

(平成20年度中)

処理件数	同意										
	同意件数	消防長同意					署長同意				
		小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
537	514	3		1	1	1	511	225	138	133	15

処理件数に仮使用は含まず。

同意									
指導無し					指導有り				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
220	116	42	60	2	294	109	97	74	14

不同意(返却)					不同意の理由														
					消防法					建築基準法					その他				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署

計画通知					許可申請				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
23	10	3	10		23	9	5	8	1

仮使用				
小計	中署	南署	東署	臨海署
6	2	1	3	

建築基準法第6条第1～3号					建築基準法第6条第4号					建築通知				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
276	109	84	69	14	238	116	55	65	2	843	371	295	158	19

防火対象物別消防用設備着工・設置届出状況

(平成20年度中)

用途別	区分	消	屋	設	ス	水	泡	火	不	消	ハ	粉	屋	動	自	ガ	放	漏	火	避	誘	消	排	連	連	非	無	関	合			
		器	内	ス	プリン	噴霧	消	不	活	ハ	末	外	力	動	自	ガ	放	漏	火	避	誘	消	排	連	連	非	無	関	計			
		設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
合計		90	33	24	28	46	1	1	2	1	2	6	2	4	1	200	162	50	18	13	43	27	120	1	2	5	1	1	1	335	548	
1	イ劇場等	1														1						1									3	
	ロ集会場等	2	1													3	4	2				2									4	10
2	イキャバレー等																															
	ロ遊技場等																1	1				1										3
3	イ料理店等	1																				1										3
	ロ飲食店	10														7	4					11									7	25
4	店舗百貨店等	12	2	3	2	3										16	20	6				19	1								20	64
5	イ旅館ホテル等	1														3	4	3			1	1	2								4	11
	ロ共同住宅等	5	2	2	1	1										29	7	1			19	3	6		1	2	1				51	29
6	イ病院等	4	3	1	5	9						1	1			10	14	6	3	1	2	1	11								24	49
	ロ福祉施設等	9	1	1	8	10										12	17	8	8	6	1	1	10								30	62
7	イ学校等	8	8	9		1										15	15	7			6	8	8					1	1		29	57
8	図書館等		1	1							1					2	1					2									3	5
9	イサウナ等																															
	ロ公衆浴場等																															
10	車輛停車場																															
11	神社寺院等	1														1	1														1	2
12	イ工場等	1	8	2						1			5	4		35	7					2									53	12
	ロスタジオ等																															
13	イ車庫等	1			1	1										1	2														3	6
	ロ特殊格納庫等																															
14	倉庫	2	4	2										1		12	3					2									16	10
15	前項以外	11	2	2					1	1		1				22	12	1			6	4	5								31	37
16	イ特定用途の存する複合	18	1	1	10	19										26	44	13	6	4	6	6	37			1	1				49	145
	ロイ以外の複合用途	1														2	1				2	1									4	3
17	文化財															1															1	
18	アーケード																															
署別	中消防署	29	17	15	13	18			2	1				1		84	70	21	4	1	26	13	51	1						147	223	
	南消防署	32	7	4	6	8						1	1	1	1	49	48	13	4	5	6	2	33		2			1	1	74	149	
	東消防署	27	9	5	7	18		1	1							53	42	14	8	5	8	10	34							86	160	
	臨海消防署	2			2	2							5	1	2		14	2	2	2	3	2	2								28	16

(第7表)

消防用設備等設置状況

(平成21年3月31日現在)

区分 用途別	消 火 設 備									警 報 設 備						避 難 設 備					消火活動上必要な施設						令二十九条の四関係		
	屋内消火栓	設置プリンクラー	水噴霧消火設備	泡消火設備	消火活性剤ガ	消火口ゲン化	粉末消火設備	屋外消火栓	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	ガス漏警報設備	漏電火災警報器	火災通報装置	非常ベル	自動式サイレン	放送設備	救助袋	緩降機	避難橋	その他の	誘導灯	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント		無線通信補助設備	
合計	902	140	1	36	35	72	138	56	51	4,314	14	97	146	427	6	359	231	358	7	1,080	3,482	68	24	14	250	36	1	11	
1	イ劇場等	5	1					2	1	6					6		1		1	7	2					1			
	ロ集会場等	14	1							85		2		9	46	4	3		5	95									
2	イキャバレー等																												
	ロ遊技場等	8	3		2		1	6		29		5		2	20		1		5	33				1					
	ハ性風俗関連施設									1										1	1								
3	イ料理店等	2								34		1		1		1	5		16	45									
	ロ飲食店	3					1	2		195		5		91	2	3	25	4	96	341				1					
4	店舗百貨店等	51	15		2		1	12	1	345		1	1	49	1	49	2	20		18	488	2	4		3	1		1	
5	イ旅館ホテル等	31	2		1	2	2	14		104		3	27	6		16	3	12	1	43	108	1	2		17	4			
	ロ共同住宅等	87	2		1		1	11		771		2	6	47	2	2	1	21		501	133				99	8			
6	イ病院等	19	22		2	2	2	4		146		1	3	34	7	23	35	26		14	183	4			12	2		1	
	ロ福祉施設等	10	40					2	1	165		4	55	5	1	22	10	4		41	185	6			2				
	ハ特殊学校・幼稚園	5	1							24		1	3			1	1	1		11	23								
7	学校等	90	2					1	1	104		3	18		1	51	80	13		13	47	9	4	1	5	2			
8	図書館等	8	2			2	4	1		17		1				10	1			1	14	1	1	2	1	1			
9	イサウナ等	2						1		5					2		1			1	5							1	
	ロ公衆浴場等	1						1		8		6		5						1	13								
10	車輛停車場																												
11	神社寺院等	12			2			1	3	42		2		57	1	4	5	5		7	25	2						2	
12	イ工場等	216			2	6	3	26	32	31	614		22	1	1		3	6	10		14	298	22		1	5		4	
	ロスタジオ等																												
13	イ車庫等				3	4	6	17		30						1					12		3	1					
	ロ特殊格納庫等																												
14	倉庫	119	1					1	6	7	380		7			1		6		10	144	3							
15	前項以外	106	4		7	11	36	6	9	7	354		4	1	76		17	37	85		58	251	8		7	45	8		
16	イ特定用途の存する複合	88	44	1	14	7	13	29		2	698	8	4	22	50		78	39	103	2	153	927	8	10	1	53	9	1	2
	ロイ以外の複合用途	24				1	2	3		1	138		2	1	20	1	1	3	16		66	89		1	6				
17	文化財	1							1		6											2							
18	アーケード																												
署別	中消防署	356	46	1	17	25	57	42	12	3	1,797	4	19	52	134	4	127	107	204	6	502	1,298	11	9	11	140	17		1
	南消防署	242	38		6	4	5	44	20	33	1,182	3	50	44	160	1	133	61	77		312	1,256	31	1	3	34	7	1	7
	東消防署	244	48		13	4	9	49	9	11	1,150	5	13	32	113	1	76	48	70		230	745	5	8		73	12		1
	臨海消防署	60	8			2	1	3	15	4	185	2	15	18	20		23	15	7	1	36	183	21	6		3			2

(第8表)

消防用設備等の点検報告状況

(平成20年度中)

	点検報告の必要な防火対象物					点検報告された防火対象物				
	計	1,000㎡未満		1,000㎡以上		計	1,000㎡未満		1,000㎡以上	
			特定一 階段等		特定一 階段等			特定一 階段等		特定一 階段等
合計	9,026	6,980	130	2,046	39	2,804	1,606	41	1,198	24
小計	2,523	1,862	130	661	39	1,249	716	41	533	24
1	イ	7		7		7			7	
	ロ	98	75	1	23	94	74	1	20	
2	イ									
	ロ	33	18		15	29	15		14	
	ハ	1	1	1		1	1	1		
	ニ	13	13	1		3	3	1		
3	イ	47	44	11	3	12	11	1	1	
	ロ	345	329	42	16	2	113	105	14	8
4		495	360	30	135	7	253	140	5	113
5	イ	113	56	10	57	12	82	31	3	51
6	イ	187	114	5	73	5	118	50	2	68
	ロ	187	129	1	58		169	118	1	51
	ハ	24	9		15	1	24	9		15
9	イ	5	2	1	3		4	2	1	2
16	イ	968	712	27	256	12	340	157	11	183
16の2										
16の3										

小計		6,503	5,118		1,385		1,555	890		665
5	ロ	2,475	2,193		282		550	453		97
7		107	10		97		32	5		27
8		17	6		11		16	6		10
9	ロ	22	14		8		2			2
10										
11		212	182		30		42	29		13
12	イ	1,329	951		378		291	84		207
	ロ									
13	イ	46	24		22		22	4		18
14		789	589		200		113	55		58
15		1,018	726		292		422	226		196
16	ロ	481	418		63		61	27		34
17		7	5		2		4	1		3
18										

(第9表)

防火対象物定期点検報告等の実施状況調査表

(平成20年度中)

防火対象物の区分	中 消 防 署								南 消 防 署								東 消 防 署								臨 海 消 防 署							
	該当防火対象物数				点検報告件数		認定件数		該当防火対象物数				点検報告件数		認定件数		該当防火対象物数				点検報告件数		認定件数		該当防火対象物数				点検報告件数		認定件数	
	第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当		
	対象物数	管理権原数	対象物数	管理権原数					対象物数	管理権原数	対象物数	管理権原数					対象物数	管理権原数	対象物数	管理権原数					対象物数	管理権原数	対象物数	管理権原数			対象物数	管理権原数
1	イ	2	2			2			3	3			1			2	2			2												
	ロ	25	25	1	1	7	1		15	15			1			17	17			3				3	3			1	1			
2	イ																															
	ロ	7	7			5			6	6			5			7	7			4												
	ハ			1	1		1																									
	ニ			1	1		1																									
3	イ			10	10		1											1	1													
	ロ	3	19	39	82	1	34		1	1	2	2						3	3	1												
4		20	20	29	29	10	10		17	17	2	2	10		1	11	11	6	6	9												
5	イ	2	2	12	12	2	6		1	1	2	2	1			2	2	2	2	2	1			1	1	6	6	1	3			
6	イ	4	4	4	4	3			1	1	2	2	1	1		5	6	4	4	4	2			2	2			1	1			
	ロ			1	1				1	1				1																		
	ハ										1	1																				
9	イ			1	1				1	1						1	1															
16	イ	32	140	37	64	29	38	1	19	19			3			27	33	2	2	15	1			4	4			1				
16の2																																
合計		95	219	136	206	59	92	1	65	65	9	9	22	1	2	72	79	18	18	39	5			10	10	6	6	4	3	2		

防火対象物の区分	合 計							
	該当防火対象物数				点検報告件数		認定件数	
	第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
	対象物数	管理権原数	対象物数	管理権原数				
1	イ	7	7			5		
	ロ	60	60	1	1	12	1	1
2	イ							
	ロ	20	20			14		
	ハ			1	1		1	
	ニ			1	1		1	
3	イ			11	11		1	
	ロ	4	20	44	87	1	35	
4		48	48	37	37	29	10	1
5	イ	6	6	22	22	6	10	
6	イ	12	13	10	10	9	3	1
	ロ	1	1	1	1			1
	ハ			1	1			
9	イ	2	2	1	1			
16	イ	82	196	39	66	48	39	1
16の2								
合計		242	373	169	239	124	101	5

(第10表)

消防法・火災予防条例に基づく届出状況

(平成20年度中)

届出種別		区 分	合 計	局 署 別					
				局	中 署	南 署	東 署	臨海署	
合 計			4,944	3	2,443	1,233	1,102	163	
法	液化石油ガス届出		37		22	5	9	1	
	圧縮アセチレンガス届出		20			16	1	3	
火災予防条例関係	裸火等禁止行為解除申請		105		83	16	6		
	防火対象物使用開始届		307		122	68	94	23	
	火を使用する設備 電気設備の設置届	熱風炉							
		炉		3		1			2
		厨房設備		1		1			
		温風暖房機							
		ボイラー		11		5	1	3	2
		給湯湯沸設備		5			3		2
		乾燥、サウナ設備		9		7			2
		ヒートポンプ冷暖房機		1			1		
		火花を生ずる設備		1		1			
		放電加工機							
		変電設備		65		27	15	17	6
		発電設備		11		6	2	1	2
		蓄電池設備		19		9	5	4	1
	ネオン管灯設備		4		3		1		
	水素ガス気球		18		4	14			
	少量危険物貯蔵取扱届		53		14	14	18	7	
	指定可燃物貯蔵取扱届		12		2	4	5	1	
	火災とまぎらわしい 行為の届い	火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為届		268		135	6	116	11
煙火打上げ仕掛け届			62		20	28	13	1	
催物開催届			111		11	97	3		
水道又は用排水路断減水届			206		30	160	14	2	
道路工事届			3,601		1,936	774	795	96	
露店開催届			6		4		2		
消防設備業届		3	3						
タンク検査申請		5			4		1		

火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある届出には、焚火届出も含む。

(第11表)

広聴活動

(平成20年度中)

(1)投書・電話等による陳情

区分		所属別					
		合計	消防局	中署	南署	東署	臨海署
合計		23	1	1	20	1	
内 訳	防火	4			4		
	危険物	1			1		
	消防施設	12			12		
	その他	6	1	1	3	1	

(2)施設見学

対象			所属別					
			合計	消防局	中署	南署	東署	臨海署
合計	団体数	133		30	13	77	13	
	人数	6,064		814	779	3,935	536	
内 訳	保育園	団体数	7		5	1	1	
		人数	299		212	42	45	
	小学生	団体数	57		9	6	37	5
		人数	2,479		234	308	1,851	86
	一般人	団体数	69		16	6	39	8
		人数	3,286		368	429	2,039	450

(第12表)

防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者、消防計画、避難訓練届出状況

(平成20年度中)

署別区分 用途別		合 計					中消防署					南消防署					東消防署					臨海消防署				
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
					1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上
合 計		2,848	2,737	2,792	795	565	1,213	1,178	1,199	301	124	712	694	707	288	254	776	720	739	142	111	147	145	147	64	76
1	イ 劇場等	7	7	7	2	4	2	2	2	2	1	3	3	3		3	2	2	2							
	ロ 集会場等	85	85	85	29	46	27	27	27	21	10	23	23	23	4	18	26	26	26	3	10	9	9	9	1	8
2	イ キャバレー等																									
	ロ 遊技場等	30	30	30	9	16	11	11	11	5	3	11	11	11		11	8	8	8	4	2					
	ハ 性風俗関連施設 ニ カラオケボックス等店舗	1	1	1	1		1	1	1	1																
3	イ 料理店等	37	36	37	9	6	18	17	18			10	10	10	4	6	9	9	9	5						
	ロ 飲食店	282	259	270	79	71	124	114	120	20	41	67	61	64	36	21	83	76	78	20	4	8	8	8	3	5
4	店舗百貨店等	362	338	353	102	62	140	133	140	43	17	121	116	121	42	31	97	85	88	16	11	4	4	4	1	3
5	イ 旅館ホテル等	81	81	81	16	42	25	25	25	11	5	9	9	9	2	6	19	19	19	1	6	28	28	28	2	25
	ロ 共同住宅等	274	265	264	48	5	135	132	132	17		64	64	64	31	5	74	68	67			1	1	1		
6	イ 病院等	99	98	99	25	41	41	41	41	14	5	30	30	30	5	24	25	24	25	6	8	3	3	3		4
	ロ 福祉施設等	156	155	156	73	77	50	50	50	31	11	53	53	53	10	43	40	40	40	32	11	13	12	13		12
	ハ 特殊学校・幼稚園	24	23	24	9	13	13	13	13	8	3	7	7	7		7	4	3	4	1	3					
7	学 校 等	99	99	99	52	39	39	39	39	34	5	20	20	20	3	16	27	27	27	2	18	13	13	13	13	
8	図 書 館 等	17	17	17	8	5	4	4	4	2	1	8	8	8	5	3	3	3	3		1	2	2	2	1	
9	イ サウナ等	6	6	6	3	1	3	3	3	1		2	2	2	2		1	1	1		1					
	ロ 公衆浴場等	18	18	18	3		7	7	7			5	5	5	2		5	5	5			1	1	1	1	
10	車 輛 停 車 場																									
11	イ 神社寺院等	124	122	122	44		39	39	39	3		38	38	38	16		23	21	21	3		24	24	24	22	
	ロ スタジオ等																									
12	イ 工場等	95	94	95	40	12	29	28	29	13	1	27	27	27	16	4	28	28	28	4	3	11	11	11	7	4
	ロ 特殊格納庫等																									
13	イ 車 庫 等	2	1	1													2	1	1							
	ロ 倉 庫	22	20	21	5		1	1	1			7	7	7	2		14	12	13	3						
14	前 項 以 外	309	294	302	91	13	136	133	136	23	3	64	59	63	39	6	101	94	95	21	4	8	8	8	8	
15	イ 特定用途の存する複合	651	622	638	117	105	343	334	337	45	18	122	120	121	61	46	166	149	160	8	26	20	19	20	3	15
	ロ イ以外の複合用途	51	51	51	22	3	20	20	20	5		16	16	16	7		14	14	14	9	3	1	1	1	1	
16	文 化 財	4	4	4	3		1	1	1			1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	
17	ア ー ケ ー ド																									

区分欄のA...防火管理者を定めなければならない防火対象物数

B...防火管理者選任数

C...消防計画届出数

D...避難訓練回数

(第13表)

住 民 指 導 実 施 状 況

(平成20年度中)

対象別 指導区分		総 数		自治(区)会		自主防災組織		自 主 防 火 組 織						その他の団体		事 業 所							
		回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	女性防火クラブ		少年消防クラブ		幼年消防クラブ		回 数	参加人員	特定防火対象物		非特定防火対象物		学 校 等		幼稚園等	
								回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員			回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員
訓 練	消火訓練等	906	60,358	83	9,136	96	4,090	19	90	1	151	5	301	59	2,040	374	12,134	159	7,769	72	20,829	38	3,818
	避難通報訓練	922	95,398	28	14,345	13	5,850			18	1,565	5	301	49	3,130	500	15,771	145	8,572	109	39,822	55	6,042
	応急救護	311	17,752	52	4,193	13	4,358	3	37					148	4,493	36	1,852	19	1,211	34	1,462	6	146
	震災訓練	65	34,065	20	12,070	26	19,320			3	527				75	3	244	3	750	5	1,079		
	小 計	2,204	207,573	183	39,744	148	33,618	22	127	22	2,243	10	602	261	9,738	913	30,001	326	18,302	220	63,192	99	10,006
教 育	研 修 会 (防火教室等)	25	1,144	10	424	6	422					2	77	6	181			1	40				
	講演・講話等	595	56,277	114	11,486	23	1,099	9	154			4	327	64	2,840	206	8,630	82	6,137	59	21,730	34	3,874
	懇談会等	6	378	2	120									2	28	2	230						
	ビデオ・映画会	26	2,518	5	388									6	127	8	410	1	80	1	833	5	680
小 計	652	60,317	131	12,418	29	1,521	9	154			6	404	78	3,176	216	9,270	84	6,257	60	22,563	39	4,554	
そ の 他	防火相談	25	1,884	15	1,425			1	14					8	442					1	3		
	署内見学	133	5,764							8	439			62	2,552					56	2,474	7	299
	小 計	158	7,648	15	1,425			1	14	8	439			70	2,994					57	2,477	7	299
合 計	3,014	275,538	329	53,587	177	35,139	32	295	30	2,682	16	1,006	409	15,908	1,129	39,271	410	24,559	337	88,232	145	14,859	

注 その他の団体とは、婦人会・老人会・子供会等をいう。

(第14表)

危険物施設の現況

(平成21年3月31日現在)

製造所等の区分		現有施設数	署 別			
			中 署	南 署	東 署	臨海署
総 計		1,298	338	325	332	303
製 造 所		17	2			15
小 計		934	234	237	242	221
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	116	21	42	22	31
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	163	19	16	13	115
	特定屋外タンク貯蔵所	20				20
	準特定屋外タンク貯蔵所	5				5
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	35	17	9	6	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	373	133	99	112	29
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1				1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	201	43	70	86	2
	屋 外 貯 蔵 所	20	1	1	3	15
小 計		347	102	88	90	67
取 扱 所	営 業 用 給 油 取 扱 所	113	32	34	35	12
	自 家 用 給 油 取 扱 所	55	14	19	16	6
	第 1 種 販 売 取 扱 所	11	9	1	1	
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1			1	
	移 送 取 扱 所	1				1
	一 般 取 扱 所 (令 第 19 条 第 1 項)	62	11	8	11	32
	一 般 取 扱 所 (第 1 項 以 外)	104	36	26	26	16

(第15表)

危険物倍数別・類別の状況

(平成21年3月31日現在)

製造所等の別 (倍数・類別)		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計		
完成 検査 済証 交付 施設	倍 数 別	5 倍 以下	2	60	21	25	230	1	129	5	473	1	9		80	90	563
		5 倍を超え 10 倍以下	1	18	27	9	80		11	5	151	12	2		50	64	215
		10 倍を超え 50 倍以下	5	22	77	1	57		11	8	181	41	1		22	64	245
		50 倍を超え 100 倍以下	4	4	24		3		50	2	87	27			9	36	123
		100 倍を超え 150 倍以下	1	4	8						13	26			2	28	41
		150 倍を超え 200 倍以下		4	2		1				7	24			2	26	33
		200 倍を超え 1,000 倍以下	4	3	6		2				15	37				37	52
		1,000 倍を 超えるもの		1	23						24			1	1	2	26
		合 計	17	116	188	35	373	1	201	20	951	168	12	1	166	347	1,298
完成 検査 済証 交付 施設	類 別	第 1 類		3							3						3
		第 2 類		3							3						3
		第 3 類		2							2				2	2	4
		第 4 類	13	98	186	35	373	1	201	18	925	168	12	1	164	345	1,270
		第 5 類		6							6						6
		第 6 類			2						2						2
		混 在	4	4							2	10					10
		合 計	17	116	188	35	373	1	201	20	951	168	12	1	166	347	1,298

(第16表)

危険物施設事務処理の状況

(平成20年度中)

製造所等の別 (申請・届出種別)	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
設置許可申請		3	1		1		2	1	8	2			1	3	11
設置完成検査申請		3	1		2		2	1	9	1			1	2	11
変更許可申請	12	3	6		9		10		28	20		1	23	44	84
変更完成検査申請	11	3	8		8		10		29	19		2	25	46	86
仮使用承認申請	10	2	4		2				8	19		1	20	40	58
完成検査前検査申請			16		1				17						17
再交付申請		1			8		1	1	11	4			5	9	20
保安監督者選解任届	3	7	15		4			1	27	36			10	46	76
休止・再使用届							1		1						1
種類・数量変更届		8			1			2	11				3	3	14
廃止届		2	2		11		12	1	28	3			5	8	36
住所氏名名称変更届		20	16		34		5		75	28			15	43	118
譲渡引渡届		1	2		4		12		19	6			1	7	26
取扱者届	2	13	2	1	43		22	2	83	60			22	82	167
危険作業届			1					1	2	4				4	6
軽微な変更届	5	2	21		5		5		33	40		1	18	59	97
取下げ願															
合計	43	68	95	1	133		82	10	389	242		5	149	396	828

(第17表)

火薬類、液化石油ガス関係事務処理状況

(1)液化石油ガス関係

(平成20年度中)

区分	件数	合計	中署	南署	東署	臨海署
設備工事届出	¹	12	5	4	2	1
工事場所立入検査(新規設備)		25	5	6	11	3
供給設備立入検査(既存設備)		4,340	319	1,514	1,157	1,350

(2)火薬類関係

(平成20年度中)

許可等区分	件数
空包消費許可	²
空包譲受許可	
空包譲渡許可	
煙火消費許可	5
煙火消費に係る立入検査	5

1 500kg以上3,000kg未満の液化石油ガス供給設備の設置工事届出件数。

2 建設用びょう打ち銃用空包を同一の消費地において、一日に200個を超えて消費する場合もしくは、建設等の用に供する目的以外で同空包を消費する場合に必要。



昭和61年6月から、テクノポート福井（福井臨海工業地帯）の一画に国の原油を備蓄するため30基（福井地籍20基・坂井地籍10基）の特定屋外貯蔵タンクが設置されており、その区域は石油コンビナート等災害防止法に基づき、特別防災区域に指定されている。

- ・特別防災区域名『福井臨海地区』
- ・特定屋外貯蔵タンク1基あたりの容量『113,829.7キロリットル』

参考：タンク1基あたりをタンクローリー（20キロリットル用）に換算すると、約5,700台分に相当する。

警 防 編



1. 火災防ぎょ活動状況

(平成20年中)

月・署別	区分	火災 件数	出 場 別 件 数				出 場 車 両						出 場 人 員			
			第 1 出 場	第 2 出 場	第 3 出 場	限 定 出 場	ポ ン プ 車	水 そ う 車	梯 子 車	救 助 工 作 車	救 急 車	そ の 他	合 計	職 員	団 員	合 計
1 月		6	4	1		1	14	11	2	5	6	5	43	128	100	228
2 月		7	6	1			21	11		6	5	7	50	137	69	206
3 月		6	4	2			25	17	2	6	7	6	63	160	128	288
4 月		8	7	1			18	14		6	6	7	51	145	91	236
5 月		9	6	1		2	23	24		5	5	3	60	151	160	311
6 月		4	4				8	6		4	4	2	24	75	40	115
7 月		11	10	1			16	14	4	4	6	5	49	147	72	219
8 月		6	3	1		2	19	7		4	4	5	39	113	114	227
9 月		10	8			2	15	15		5	7	6	48	139	77	216
10 月		13	9	2	1	1	57	23		12	12	9	113	328	252	580
11 月		4	1	1		2	10	8		3	2	4	27	66	26	92
12 月		8	6	1		1	21	12	1	6	7	13	60	172	122	294
合 計		92	68	12	1	11	247	162	9	66	71	72	627	1,761	1,251	3,012
署 別	中 署	29	22	1		6	72	85	4	45	33	20	259	774	245	1,019
	南 署	33	26	5		2	95	42	3		17	35	192	459	531	990
	東 署	25	18	4	1	2	55	35	2	20	17	14	143	450	332	782
	臨海署	5	2	2		1	25			1	4	3	33	78	143	221

2. 火災以外の活動状況

(平成20年中)

月・署別	区分	怪煙調査	自火報調査	焚火調査	ガス・異臭調査	誤報	虚報	油漏れ処理	その他の	合計
		査	査	査	査	報	報	理	他	計
1月		1	20		1	1		2	2	27
2月			6	1	3		1	3	4	18
3月			5	7		1		5	2	20
4月		3	5	4		2		3	3	20
5月		1	5	8	1			8	4	27
6月		1	8	7	4	1		9	1	31
7月			8	1		4		10	15	38
8月			11	6	1			11	6	35
9月		1	9	12	2	1		4	2	31
10月			9	8			1	1	7	26
11月			15	2		1	2	9	4	33
12月			11	2	2	2		7	1	25
合計		7	112	58	14	13	4	72	51	331
署別	中署	4	56	19	8	5	1	30	24	147
	南署		18	16	3	2	1	19	10	69
	東署	2	33	18	3	5	1	17	9	88
	臨海署	1	5	5		1	1	6	8	27

3 . 消防水利の現状

平成20年度中に建設した消防水利は次のとおりであり、年々計画的に整備を図っている。

消火栓 176 基（開発行為を除く）

防火水そう（40 m³以上） 1 基（開発行為を除く）

署 別 水 利 状 況 (平成21年3月31日現在)

区分 署別	消 火 栓				防 火 水 そ う					そ の 他			
	公 設		私 設	合 計	公 設		私 設		合 計	プ ル	河 川	受 水 槽	合 計
	150 ミリ 以上	150 ミリ 未 満			40 m ³ 以上	40 m ³ 未 満	40 m ³ 以上	40 m ³ 未 満					
中 署	979	1,960	40	2,979	159	19	47	2	227	33	37	30	100
南 署	1,305	2,029	33	3,367	314	4	63	23	404	24	21	9	54
東 署	701	1,420	23	2,144	204	2	48	12	266	24	41	22	87
臨海署	308	483	111	902	127	7	24	14	172	11	33	12	56
合 計	3,293	5,892	207	9,392	804	32	182	51	1,069	92	132	73	297

4. 消防用車両配備表

(平成21年3月31日現在)

本部・署所別 車両別 現有数	消防署									南消防署							東消防署										臨海消防署																					
	本	西	中	森	河	西	湊	春山	小	本	社	麻	豊	足	羽	清	水	小	本	日	東	足	美	山	小	本	大	鶉	国	殿	越	廻	小															
	局	分	藤	田	合	安	分	分	計	署	分	生	分	上	六	文	分	志	三	天	署	之	藤	酒	一	下	芦	羽	上	下	計	署	安	分	本	郷	見	下	署	崎	計							
水槽車	3	1							1	1											1	1												1														
普通車	C D -	11	1		1				2	1	1	1				1				4	1		1										2	1		1				1		3						
	C D -	1	1						1																																							
	B D -	2																						1										1	1								1					
	B S -	32			1	1	1	1	1	1	6			1	1	1	1		1	1	1	7	1		1	1	1	1	2	1	1	1	1	12	1	1		1	1	1	1	1	7					
梯子車	2	1							1	1											1																											
屈折梯子車	2	1							1												1																											
三点セット	高所放水車	1																																				1										
	大型化学車	1																																			1											
	泡原液車	1																																			1											
化学車	2		1						1	1										1																												
救助工作車	2	1							1												1																											
支援車	1																																					1										
救急車	10	2	1						3	2							1			3	1						1										2	1						1		2		
指揮車	5	1	1						1	1										1																	1	1								1		
調査車	5	1	1						1												1																	1	2								2	
軽査察車	6	1	1						1	2										2	1																	1	1								1	
広報車	9	3	2						2	1							1			2						1												1								1	1	
救急普及啓発広報車	1	1																																														
人員輸送車	3	2	1						1																																							
機材車	4		1						1	1										1	1																		1	1								1
連絡車	3	1	1						1																																							1
乗用車	2	2																																														
計	109	12	16	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	23	11	1	1	1	2	1	1	4	1	1	1	1	1	1	27	12	1	1	1	1	1	4	1	22				

コミュニティ防災資機材



阪神・淡路大震災のように交通や通信が途絶し、火災や救助要請が同時に集中した場合には、常備消防のみでは対応しきれないため、地域に密着した消防団が防災のリーダーとして地域住民と協力して、初期消火活動や人命救出活動を行うことができるよう配備した資機材がコミュニティ防災資機材であります。

【コミュニティ防災資機材】

- | | | | | | |
|---|----------------|--------|------------|----------------|-----------------|
| 1 | 小型ポンプ (B - 3級) | 5 | 油圧ジャッキ | | |
| 2 | 災害救助道具セット | 6 | エンジンカッター | | |
| | 掛矢 | 金てこ | ジャッキ (10t) | 7 | 可搬式ウインチ (チルホール) |
| | ハンマー | 鉄線切り | 8 | ハンドマイク (サイレン付) | |
| | のこぎり | ヘッドライト | 9 | 救急箱 (20人用) | |
| 3 | 発電機・投光機 | 10 | 毛布 | | |
| 4 | チェーンソー | 11 | 防水シート | | |

情報管制編



消防情報管制システム

消防通信は、災害通報の受信、消防部隊の出場指令、現場活動の支援情報収集及び伝達など、警防活動の成否を左右するものであり、消防業務遂行上、極めて重要な役割を果たしている。

当システムは、平成15年4月1日より、最新の通信機能を備えた新システムに更新し、迅速・的確な警防活動が可能となり、災害に強い安心と信頼のまちづくりに貢献している。

(1) 指令運用・支援情報

装置名	数量	装置名	数量	装置名	数量
指令台	2台	無線受令機	20式	119 FAX	1台
指揮台	1台	地図等検索装置	1式	有線 FAX	21台
録音装置	1台	気象観測装置	1式	画像伝送受信装置	1式
指令制御装置	1台	車両動態位置管理装置	1式	画像伝送送信装置	5式
非常用指令装置	1台	AVM端末装置	57台	車両運用表示盤	1台
電源装置	1式	パケーション端末装置	41台	大型映像装置	2台
無線統制台	1台	支援情報処理装置	1式	プラスマディスプレイ	6台
自動出動指定装置	2台	支援情報端末装置	34式	医療情報管理装置	1台
発信地表示装置	1式	音声合成装置	1台	災害弱者メール通報受付装置	1台
指令伝送送信装置	1式	災害状況等自動案内装置	1台	電子黒板	1台
指令伝送出力装置	21式	災害連絡装置	1台		

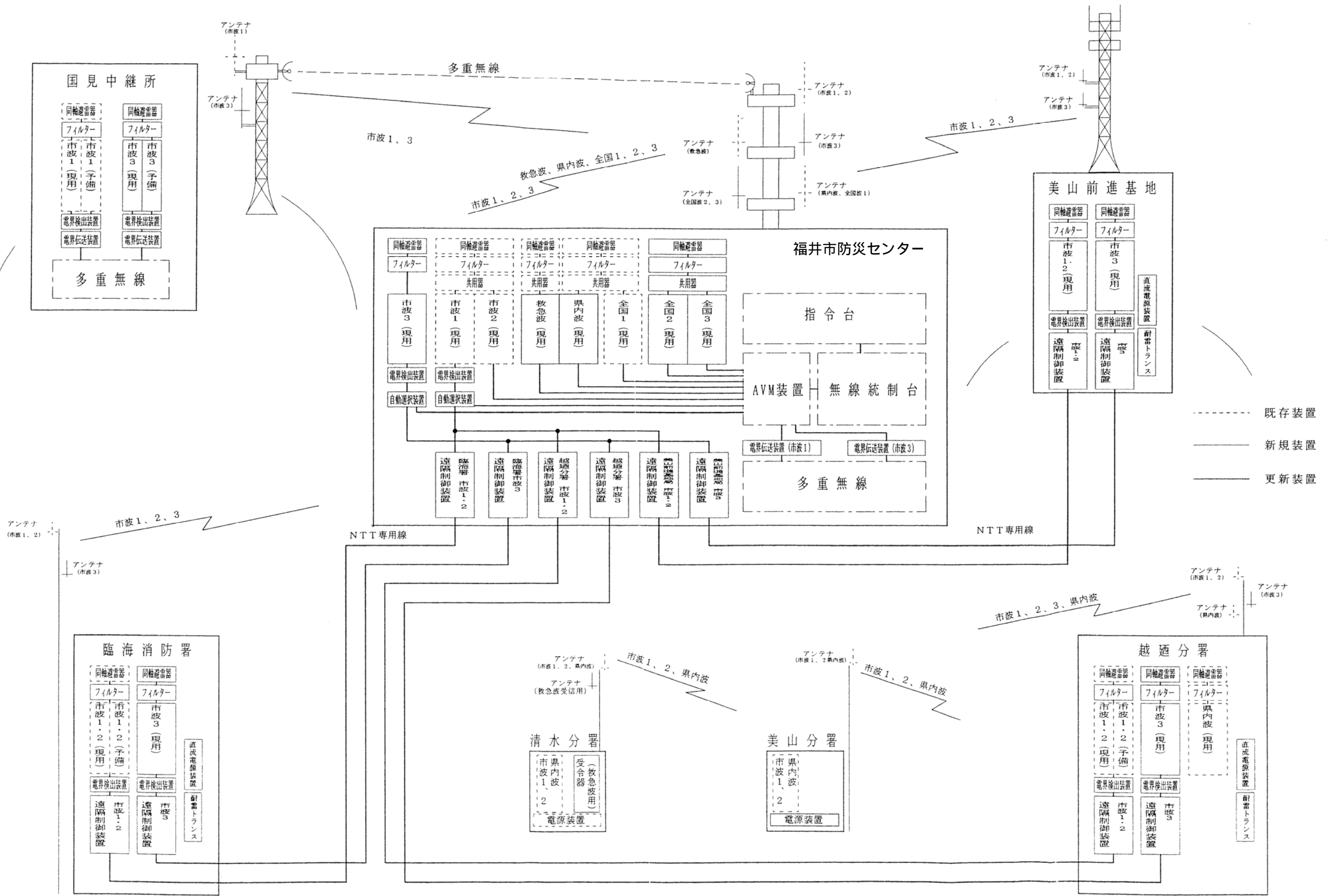
(2) 有線通信

回線種別	消防局	中署			南署			東署			臨海署			計	
		本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所		
INS119番回線	14													14	
携帯INS119番回線	4													4	
携帯INS119番転送回線	4													4	
加入電話(事務用)	14	1	1	4	1	2	1	1	1	2	1	1	4	34	
FAX専用	2	1			1			1			1			6	
“(指令用)	10													10	
専用回線	音声指令		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	データ指令		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	支援系		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	消防電話		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	無線遠隔	2										2	2		6
関係機関	7													7	
テレホンサービス	50													50	
内線	指令用							2						2	
	支援用							1						1	
	事務用電話	50	38	9	20	28	18	7	33	8	10	25	8	20	274

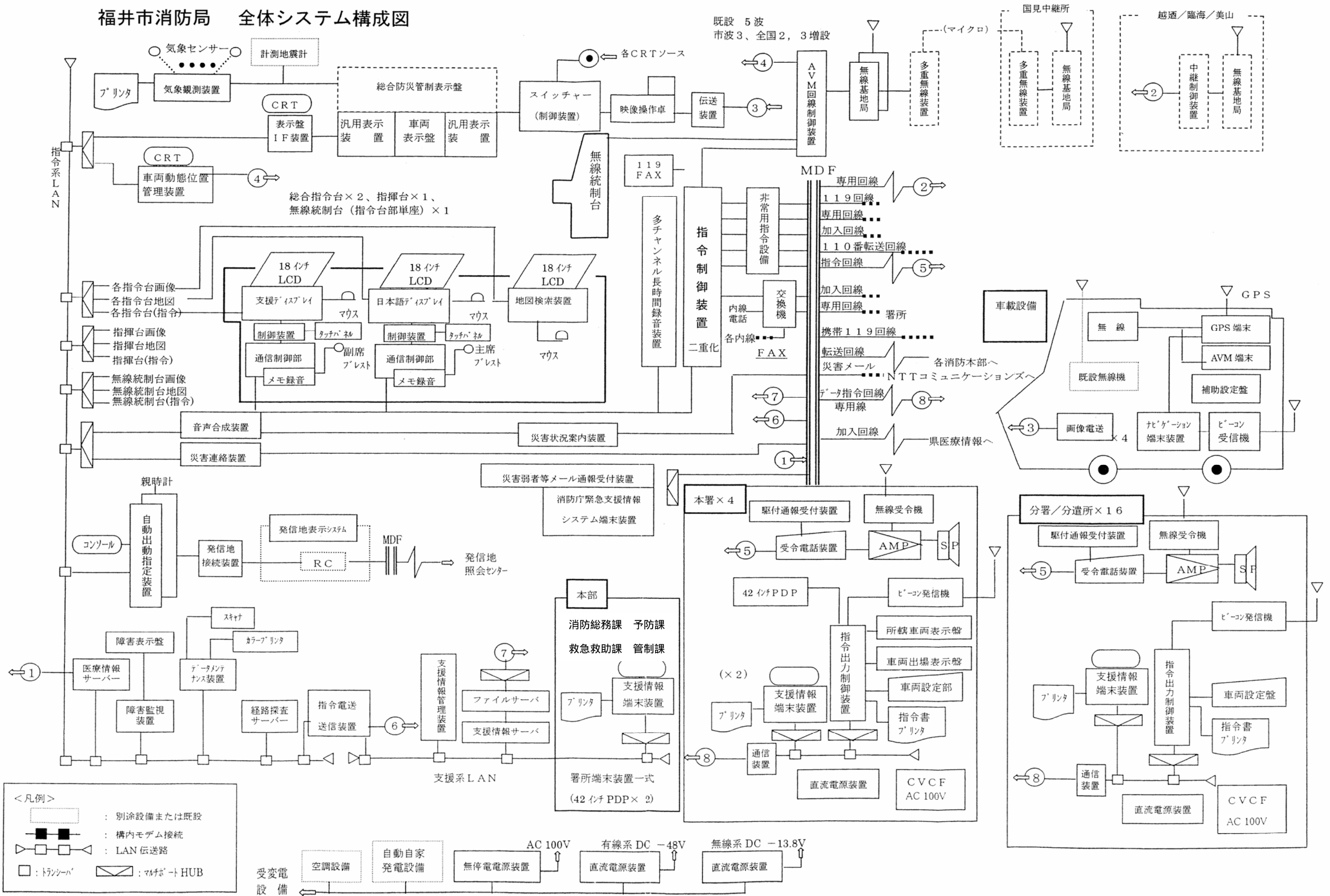
(3) 無線通信

機種別	消防局		中署			南署			東署			臨海署			計	
	局	中継所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所		
基地局	本部局 25W	1													1	
	前進局 10W									1		1	1		3	
	中継局 10W		1												1	
	分署局 10W						1			1					2	
固定局 0.01W	1	1													2	
移動局	車載型 10W	10		10	2	4	8	4	1	8	3	2	9	3	4	68
	携帯型 5W	4		5		2	5	1	1	5	1	1	3		1	29
	携帯型 1W	11		5	1	2	3	1		5		1	6	1	3	39
県防災無線	2														2	
AVM端末装置	3		10	2	4	8	3	1	7	2	2	9	2	4	57	
無線受令機	1		2	1	4	2	2	1	1	1	2	2	1	4	24	

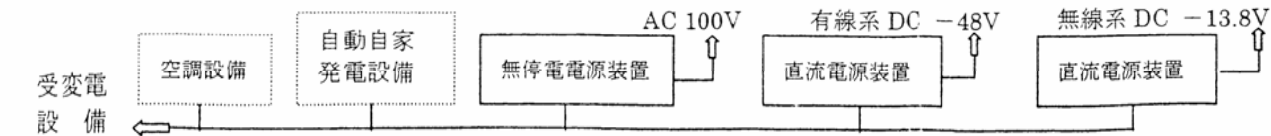
(4) 無線通信ネットワーク概要図



福井市消防局 全体システム構成図



- <凡例>
- : 別途設備または既設
 - : 構内モデム接続
 - : LAN伝送路
 - : トランシーバ
 - : マルチポートHUB



1.平成20年の災害等通報受信概要

平成20年中における災害等の通報受信件数は14,224件で、その内訳は、火災通報が197件、救急通報が7,509件、救助通報が121件、その他油漏れ、自火報の作動、焚き火等の災害通報が388件、その他の通報(通報訓練・問い合わせ・間違い等)が3,908件、回線テストが2,101件で、一日平均約39件の通報を受信したことになり、昨年と比較すると通報受信総数で1,767件の減で、主な減少項目は救急通報・問い合わせ・病院紹介等である。

また、覚知別通報受信件数(回線テストを除く)の約60%が一般的な有線電話による119番で、携帯電話による119番受信が約30%、その他インターネットの普及でIP電話による119番通報が割合的には少ないものの増加傾向にある。

言語又は視覚障害者等の災害弱者からの緊急FAX・緊急119メールでの災害受信はなかった。

2. 通報受信状況

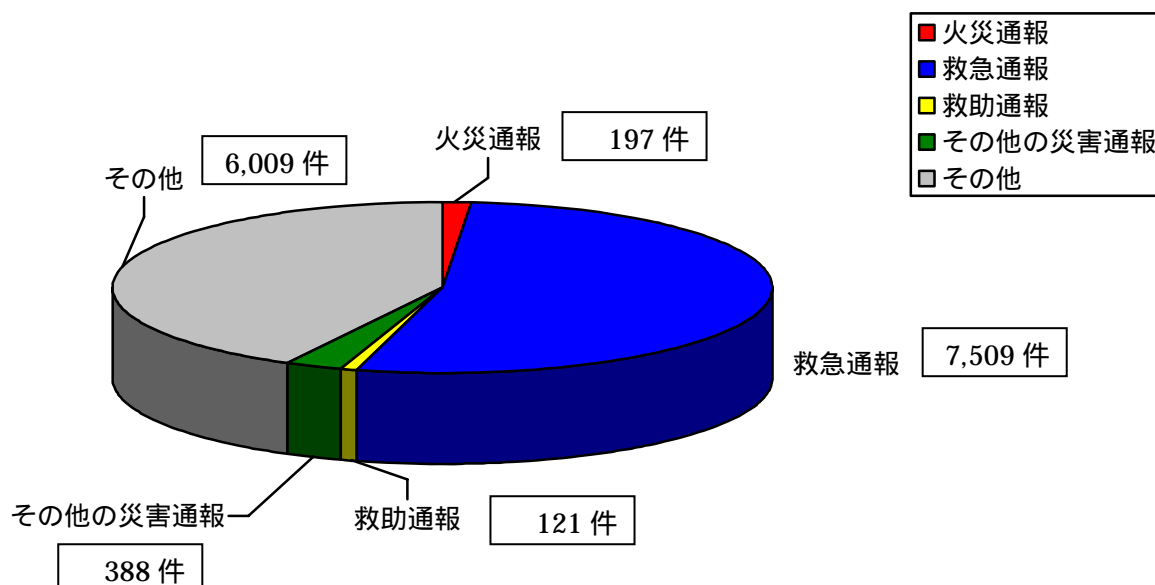
(1) 年別通報受信状況

通報区分	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
火災通報	192	170	132	123	197
救急通報	7,858	7,814	7,391	8,058	7,509
救助通報	122	120	92	94	121
その他の災害通報	498	334	381	318	388
その他の通報	5,490	4,706	4,755	5,571	3,908
回線テスト	2,283	3,914	2,390	1,827	2,101
合計	16,443	17,058	15,141	15,991	14,224

「その他の災害通報」とは、火災、救急、救助通報以外の災害（自火報、怪煙、漏油等の調査）通報をいう。

「その他の通報」とは、問い合わせ・病院紹介・無言・いたずら、間違い等をいう。

通報内容の内訳

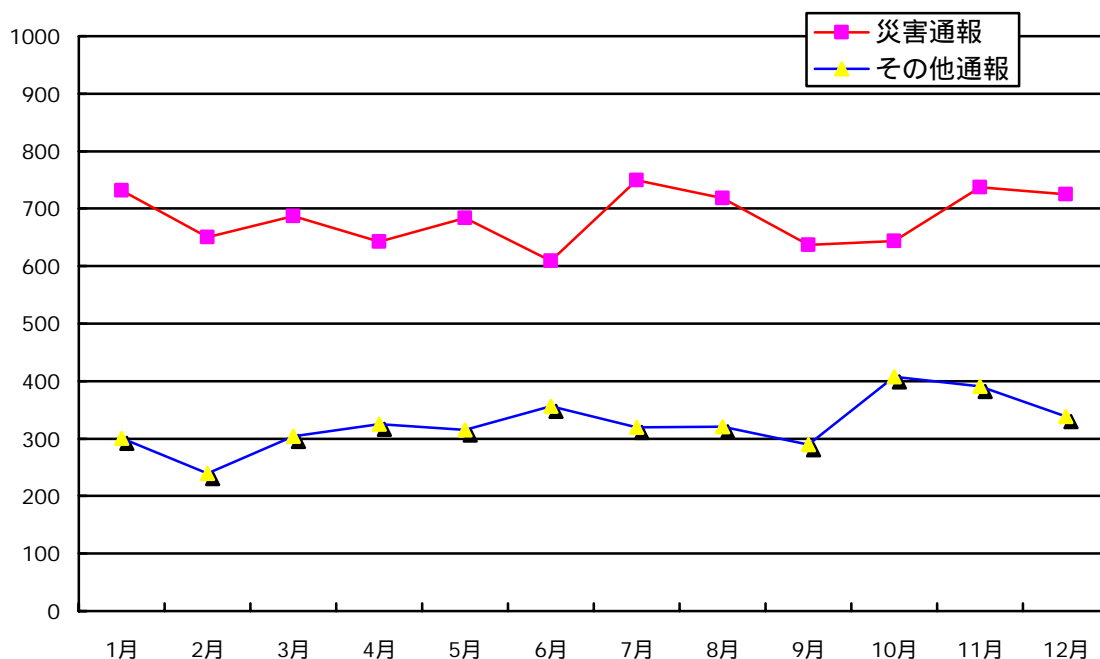


(2) 月別(四半期)受信状況

		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	総計	1日平均	比率(%)
災害通報	火災通報 (92)	41	45	38	73	197	0.54	1.38
	救急通報(7,521)	1,922	1,774	1,904	1,909	7,509	20.57	52.79
	救助通報 (193)	23	24	42	32	121	0.33	0.85
	その他の災害通報	83	92	121	92	388	1.06	2.73
	災害通報小計	2,069	1,935	2,105	2,106	8,215	22.51	57.76
その他の通報	訓練	107	268	130	359	864	2.37	6.07
	まちがい	261	240	269	282	1,052	2.88	7.40
	いたずら	33	50	33	26	142	0.39	1.00
	応答無し	59	39	38	43	179	0.49	1.26
	病院紹介	53	47	51	33	184	0.50	1.29
	問い合わせ	278	282	303	303	1,166	3.19	8.20
	その他	53	71	106	91	321	0.88	2.26
	その他の通報小計	844	997	930	1,137	3,908	10.71	27.47
回線テスト	595	609	492	405	2,101	5.76	14.77	
総計	3,508	3,541	3,527	3,648	14,224	38.97	100.00	

() 内は、平成20年中の火災・救急・救助件数。

「その他の災害通報」とは、火災、救急、救助通報以外の災害(自火報、怪煙、漏油等の調査)通報をいう。

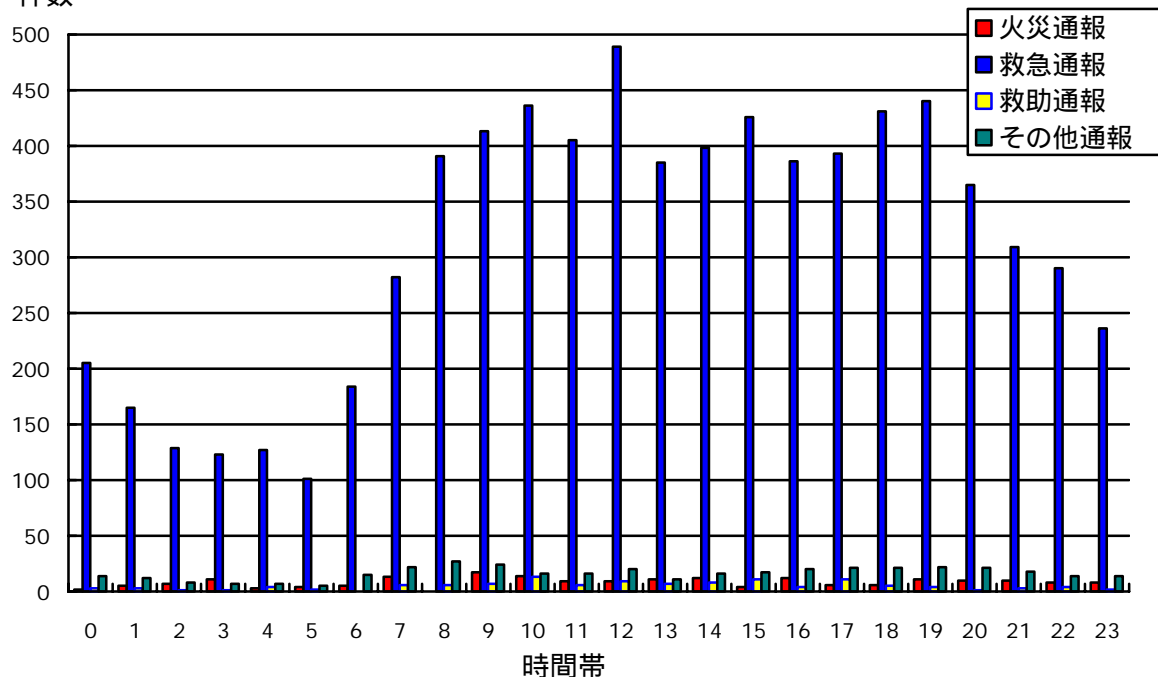


2. 通報受信状況

(3) 時間帯別受信状況(同報・続報を含む)

受付種別		時間帯								総計
		0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18	18~21	21~24	
災害通報	火災通報	14	18	18	40	32	22	27	26	197
	救急通報	499	351	857	1,254	1,272	1,205	1,236	835	7,509
	救助通報	7	7	12	26	24	26	10	9	121
	その他の災害通報	34	19	64	56	47	58	64	46	388
災害通報小計		554	395	951	1,376	1,375	1,311	1,337	916	8,215
その他の通報	訓練			56	402	274	117	12	3	864
	まちがい	31	23	113	232	194	227	150	82	1,052
	いたずら	6	3	22	15	19	41	28	8	142
	応答無し	9	6	18	38	26	42	23	17	179
	病院紹介	28	10	20	15	14	14	36	47	184
	問い合わせ	91	56	125	171	199	150	224	150	1,166
	その他	24	12	30	49	68	51	49	38	321
その他の通報小計		189	110	384	922	794	642	522	345	3,908
回線テスト		3		12	147	1,773	143	21	2	2,101
総計		746	505	1,347	2,445	3,942	2,096	1,880	1,263	14,224

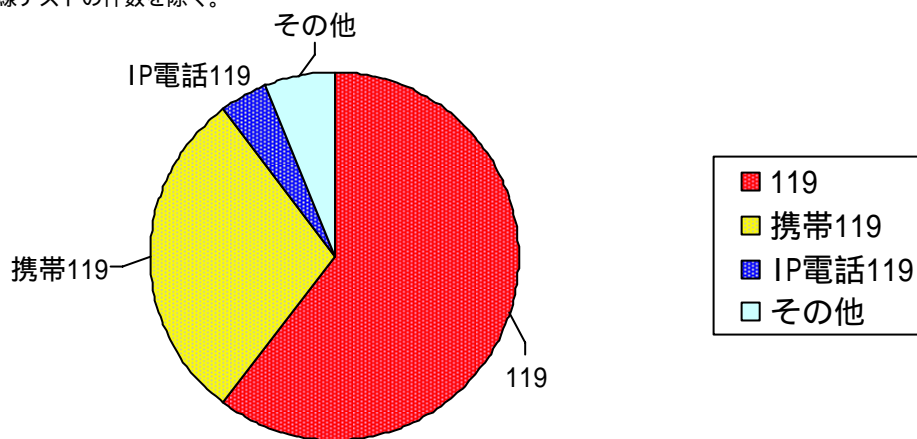
件数



(4) 覚知別通報受信状況

覚知種別 受付種別	119	携帯 119	IP電 話 119	加入 電話	駆け 付け	警察 電話等	自己 覚知	FAX メール	その他	総計
火災通報	95	80	9	4		5	3		1	197
救急通報	4,676	2,102	331	152	79	142	22		5	7,509
救助通報	34	57	1	6		16	7			121
その他の通報	141	79	4	77		28	41		18	388
訓練	769	27	46	2				1	19	864
まちがい	639	355	32	2				4	20	1,052
いたずら	84	54	4							142
応答無し	99	74	3						3	179
病院紹介	80	94	10							184
問い合わせ	608	516	32	3		2			5	1,166
その他	84	83	6	3	1	2			82	261
回線テスト	338	51	1,711						1	2,101
総計	7,654	3,624	2,189	249	80	195	73	5	155	14,224
比率(%)	60.35	29.47	3.94	2.05	0.66	1.61	0.60	0.04	1.27	100.00

比率は総計から回線テストの件数を除く。



回線テストを除く

(5) 電話転送状況

転送種別	嶺北	永平寺	鯖江丹生	勝山	大野	南越	その他	合計
転送受信	13	4	4	1	1	3	0	26
転送発信	38	2	12	2	2	1	0	57

3 . 災害テレホンサービス(25-9999)利用状況

災害テレホンサービスは、24時間実施しているトーキー案内で、消防車が出動している災害について発生場所を案内するほか、土曜日夜間、日曜・祝日等の日中における当番医案内や火災予防一口メモなど市民生活に最も身近な情報提供サービスである。

	着信完了回数(本)	着信話中回数(本)	着信回数合計(本)
年間合計	165,671	20,545	186,216
一日平均	453.9	56.3	510.2

年間最多着信日 上位5位

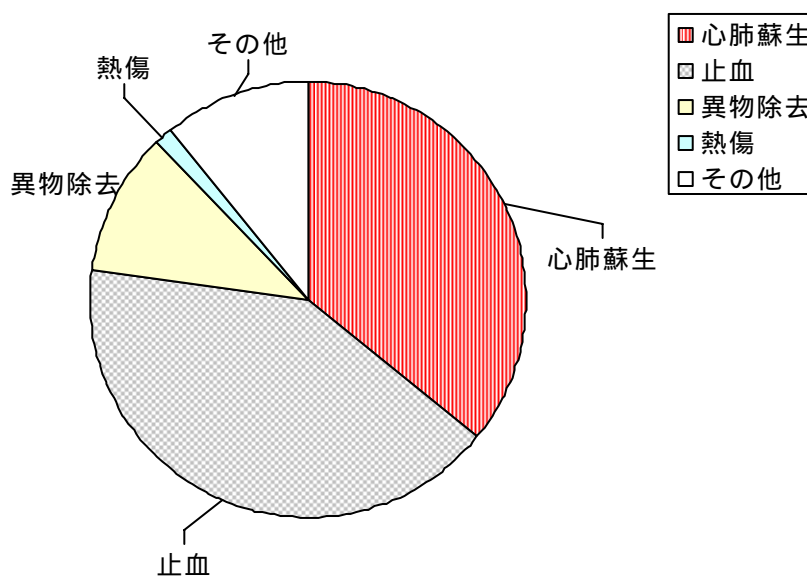
月日	着信回数合計	着信完了回数	着信話中回数	主な案内内容
10月11日	16,090	6,822	9,268	勝見3丁目建物火災
02月21日	3,726	2,821	905	春山2丁目建物火災ほか
07月08日	2,570	2,542	28	順化2丁目建物火災
09月03日	2,479	2,473	6	板垣3丁目建物火災ほか
01月23日	2,251	2,178	73	舞屋町建物火災

4. 口頭指導（プロトコール）実施状況

種別	心肺蘇生法	気道異物除去	止血	熱傷	その他	合計
1月	22	7	17	1	1	18
2月	15	2	16		1	34
3月	10	3	5		1	19
4月	10		13			23
5月	10	6	9		1	26
6月	6	4	13		1	24
7月	9		13		15	37
8月	13	2	14	1	15	45
9月	5	2	11		1	19
10月	8	4	8	2	2	24
11月	9	3	13	1	1	27
12月	11	4	16			31
合計	128	37	148	5	39	357

その他とは熱中症対策、切断手指の処置等である。

口頭指導の内訳



火災統計



平成20年中における火災概要

1. 火災の概況

平成20年中の火災概況は、発生件数92件で、3.97日に1件の割合で発生したことになる。

これらの火災による建物の焼損面積は、床面積で3,498㎡、表面積で125㎡となっており、1日当たり床面積では9.58㎡、表面積では、0.34㎡が焼損したことになる。

損害額については、2億2,815万6千円となっており、1日当たり損害額では62万6千円の貴重な財産が焼失したことになる。

また、死傷者については死者が4人、負傷者が12人となっている。

2. 火災件数

火災件数は前年と比較して9件の増加で、火災種別ごとにみると、建物火災が64件(69.6%)で10件の増加、林野火災が3件(3.2%)で2件の増加、車両火災が10件(10.9%)で4件の減少、その他の火災が15件(16.3%)で1件の増加となっている。

また、船舶火災については、平成6年以降発生していない。

3. 死傷者等

死者は4人で、前年と比較して5人の減少となっている。

負傷者は12人で、前年と比較して4人の減少となっている。

4. 焼損面積

建物火災による焼損面積については、床面積が3,498㎡で、前年に比べ1,320㎡の増加となっている。

表面積については、125㎡で、前年に比べ68㎡の減少となっている。

5. 損害額

損害額については、2億2,815万6千円で、前年に比べて801万9千円の増加となっている。

6. 出火原因

主な出火原因については、「こんろ」が第1位で18件、第2位が「電気関係」の12件、第3位が「放火」の11件、第4位が「たばこ」の7件、第5位が「たき火」の4件の順となっている。

1. 火災発生状況(前年との比較)

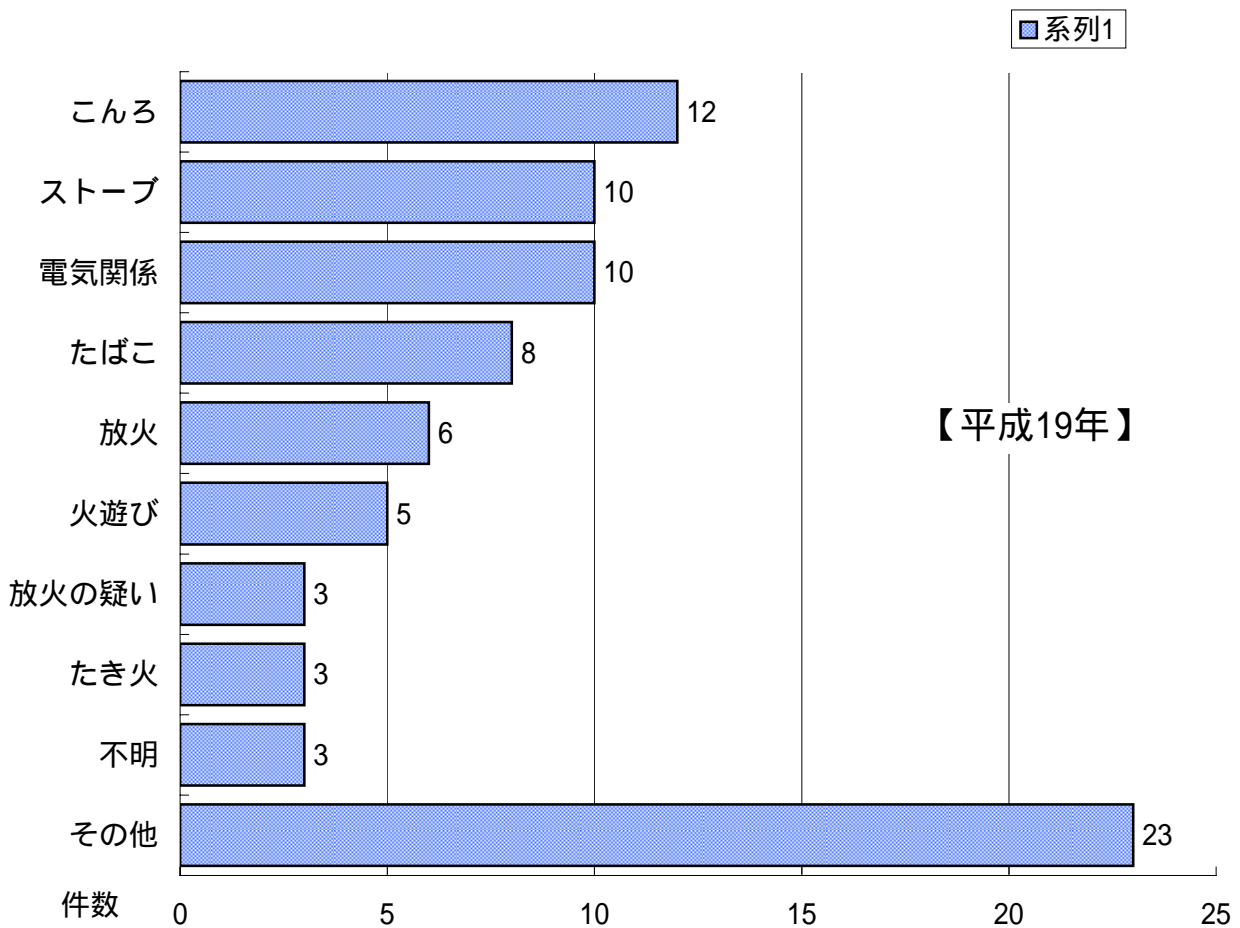
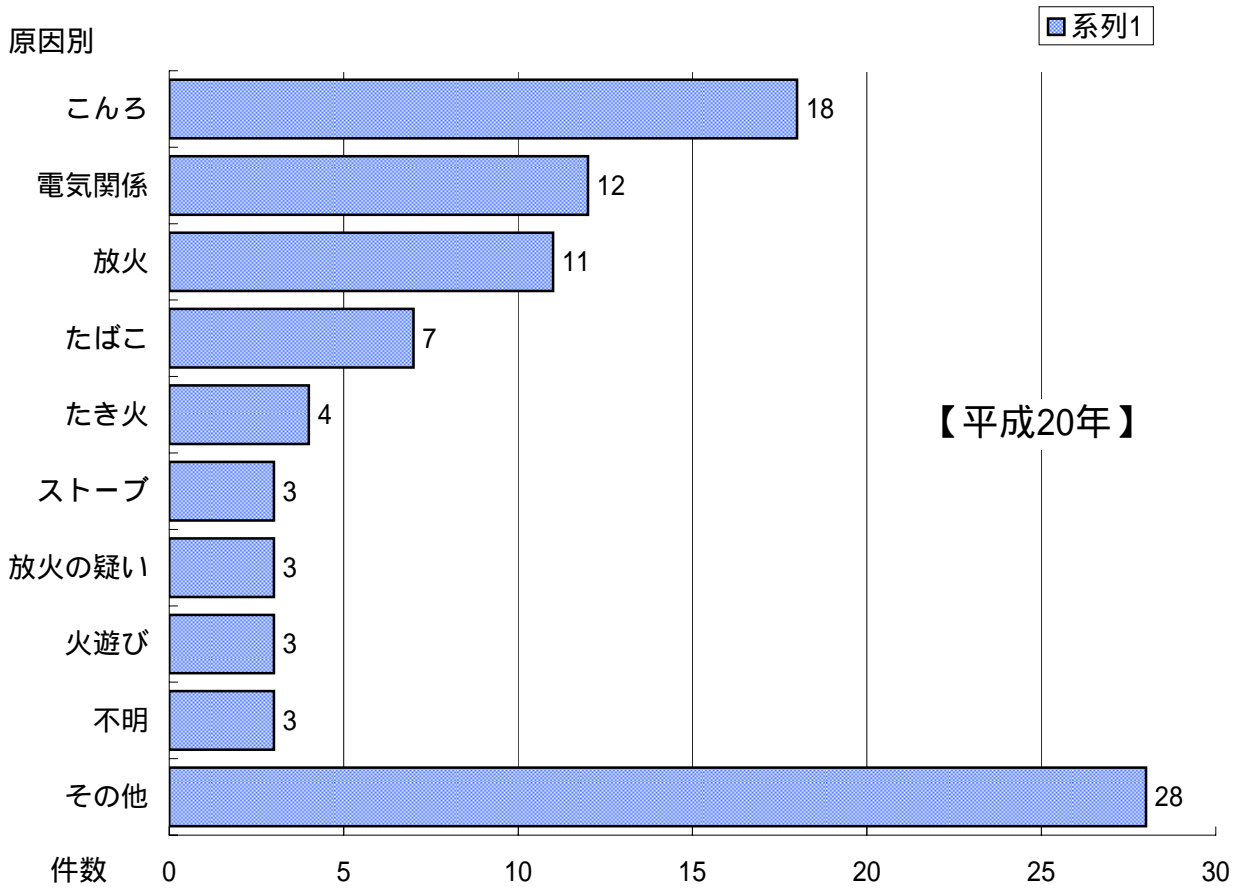
年 別 区 分		平成20年	平成19年	前 年 と の 比 較	
				増	減
火 災 件 数		92 件	83 件	9 件	
	建 物	64 件	54 件	10 件	
	林 野	3 件	1 件	2 件	
	車 両	10 件	14 件		4 件
	船 舶	0 件	0 件		
	そ の 他	15 件	14 件	1 件	
焼損面積	建物	床	3,498 m ²	2,178 m ²	1,320 m ²
		表	125 m ²	193 m ²	68 m ²
	林 野	6 a	2 a	4 a	
損 害 額		228,156 千円	220,137 千円	8,019 千円	
死 傷 者	死 者	4 人	9 人		5 人
	傷 者 (30日死者)	12 人 (0 人)	16 人 (0 人)		4 人
り 災 世 帯		55 世帯	61 世帯		6 世帯
	全 損	15 世帯	10 世帯	5 世帯	
	半 損	3 世帯	6 世帯		3 世帯
	小 損	37 世帯	45 世帯		8 世帯
り 災 人 員		163 人	170 人		7 人
焼 損 棟 数		81 棟	89 棟		8 棟
	全 焼	16 棟	13 棟	3 棟	
	半 焼	5 棟	6 棟		1 棟
	部 分 焼	25 棟	27 棟		2 棟
	ぼ や	35 棟	43 棟		8 棟

30日死者とは、火災により負傷した者が、負傷後48時間を経過して30日以内に死亡した者をいう。

2. 過去3年間の火災比較

年 月		平成20年	平成19年	平成18年
区 分				
火 災 件 数		92 件	83 件	95 件
	建 物	64 件	54 件	60 件
	林 野	3 件	1 件	0 件
	車 両	10 件	14 件	10 件
	船 舶	0 件	0 件	0 件
	そ の 他	15 件	14 件	25 件
焼 損 面 積	建 物	3,498 m ²	2,178 m ²	4,449 m ²
	床 表	125 m ²	193 m ²	196 m ²
	林 野	6 a	2 a	0 a
損 害 額		228,156 千円	220,137 千円	339,812 千円
1 日 平 均	建 物(床)	9.58 m ²	5.97 m ²	12.19 m ²
焼 損 面 積	林 野	0.02 a	0.01 a	0 a
1 日 平 均 損 害 額		626 千円	604 千円	931 千円
1 件 平 均	建 物 (床)	54.7 m ²	40.3 m ²	74.2 m ²
焼 損 面 積	林 野	2 a	2 a	0 a
1 件 平 均 損 害 額		2,480 千円	2,653 千円	3,577 千円
住 民 1 人 当 り 損 害 額		843 円	813 円	1,250 円
火 災 発 生 間 隔		3.97 日	4.40 日	3.84 日
人 口 1 万 人 当 り 出 火 件 数 (出 火 率)		3.40 件	3.06 件	3.55 件

3. 火災原因別件数（昨年との比較）



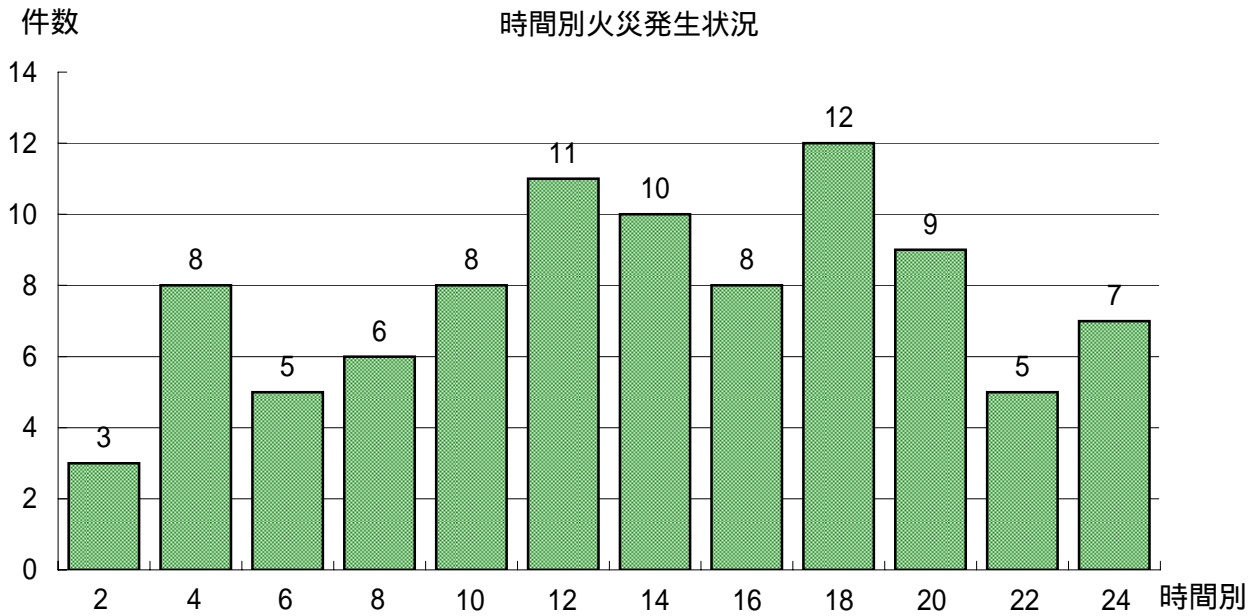
4. 初期消火状況（建物火災）

初期消火の有無	件数	消防隊放水の有無	建物火災1件当りの焼損床面積
有	42件	有 14件	26.55㎡
		無 28件	
無	22件	有 16件	108.32㎡
		無 6件	

5. 主な火災原因の背景

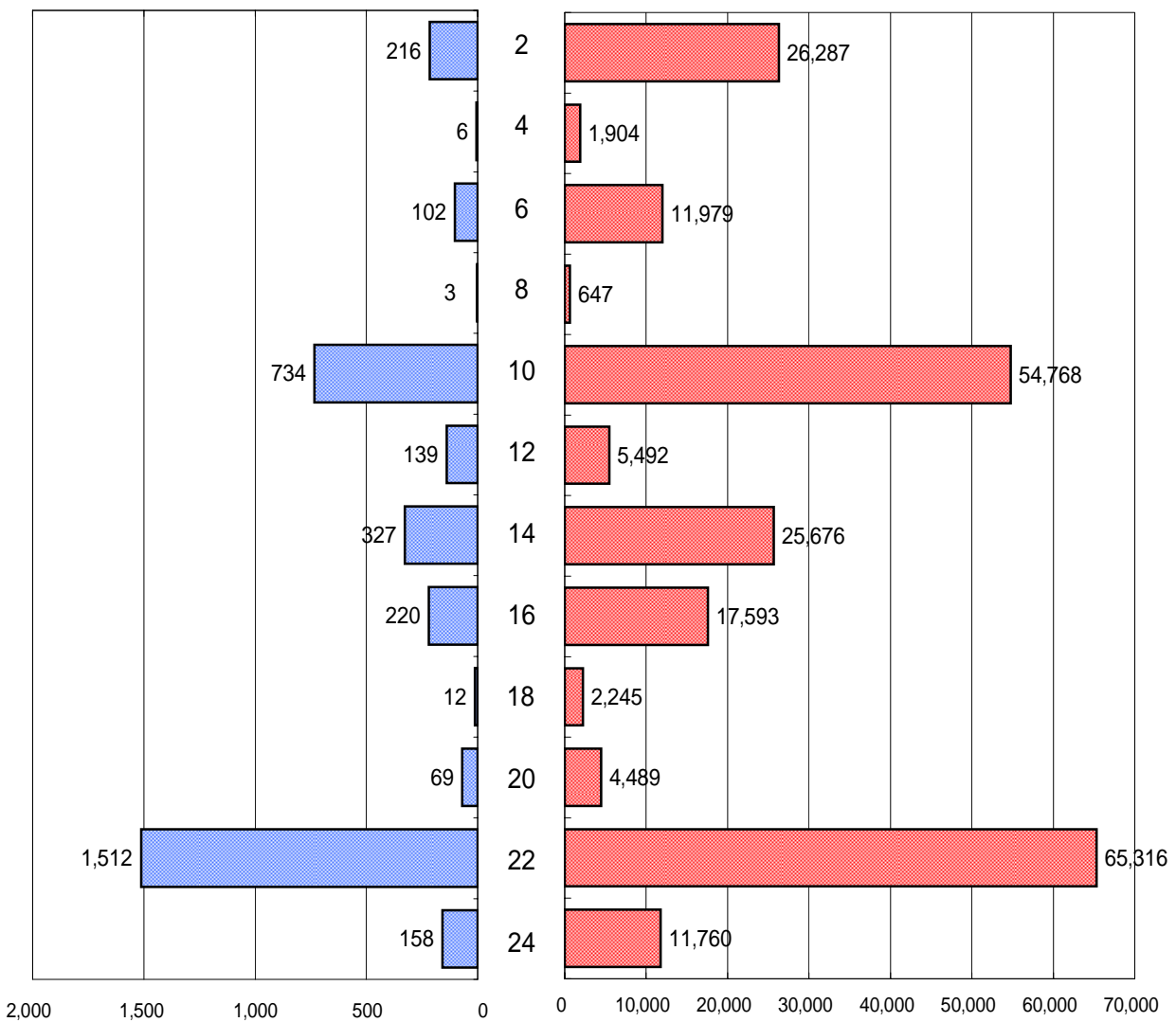
火災原因	背景	件数
こんろ (18件)	・天ぷら油の発火	11件
	・消し忘れ、空焚き	2件
	・可燃物の接触	1件
	・壁体の低温着火	1件
	・その他	3件
電気関係 (12件)	・配線の短絡、半断線	5件
	・絶縁劣化、トラッキング	3件
	・機器の不良、不具合	2件
	・その他	2件
放火 (11件)	・いたずら心	5件
	・自殺、自暴的、ノイローゼ	3件
	・怨恨	2件
	・窃盗目的	1件
たばこ (7件)	・吸殻の不始末	3件
	・投げ捨て（屋外）	2件
	・たばこ火の落下（寝たばこを含む）	2件

6 . 時間帯別火災発生状況



焼損床面積 (m²)

損害額(千円)



7. 特異な火災・・・・・・・・・・ ・建物火災のうち焼損床面積が200㎡以上の火災
 ・ 〃 損害額が500万円以上の火災

No.	月・日	場 所	用 途	原 因	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
1	1/23	舞屋町	住 宅	薪ストーブの煙突周囲のボードが低温着火したもの	220	17,584
2	2/21	春山2丁目	住 宅	こんろの火を完全に消さなかったため、天ぷら油が発火したもの	351	23,758
3	3/8	勝見3丁目	店舗併用 住 宅	電気ストーブの輻射熱によって付近の布団に着火したもの	79	10,979
4	3/11	北野上町	住 宅	電気こたつの輻射熱によって付近の布団に着火したもの	311	43,755
5	7/26	文京4丁目	作 業 場	乾燥用のヒータに接触した布切れに着火したもの	71	7,930
6	8/21	在田町	住 宅	落雷によって出火したもの	216	26,286
7	10/11	勝見3丁目	作 業 場	不明	1,161	41,556
8	11/22	上北野1丁目	住 宅	石油こんろ上で干していた洗濯物が落下し着火したもの	138	5,473
9	12/14	殿下町	住 宅	電源コードの被覆が劣化して短絡し、被覆に着火したもの	317	24,726
10	12/16	小尉町	住 宅	灰皿から落ちたたばこの火が付近の紙類に着火したもの	344	9,423

8. 死者を生じた火災

No.	月・日	場 所	火災種別	性別	死者を生じた状況
				年齢	
1	3/15	みのり2丁目	住 宅	女 58	焼身自殺
2	7/9	新田塚2丁目	屋 外	女 44	焼身自殺
3	10/24	西木田5丁目	住 宅	男 84	延焼が早く逃げ遅れたもの
4	12/16	小尉町	住 宅	男 78	消火しようとして逃げ遅れたもの

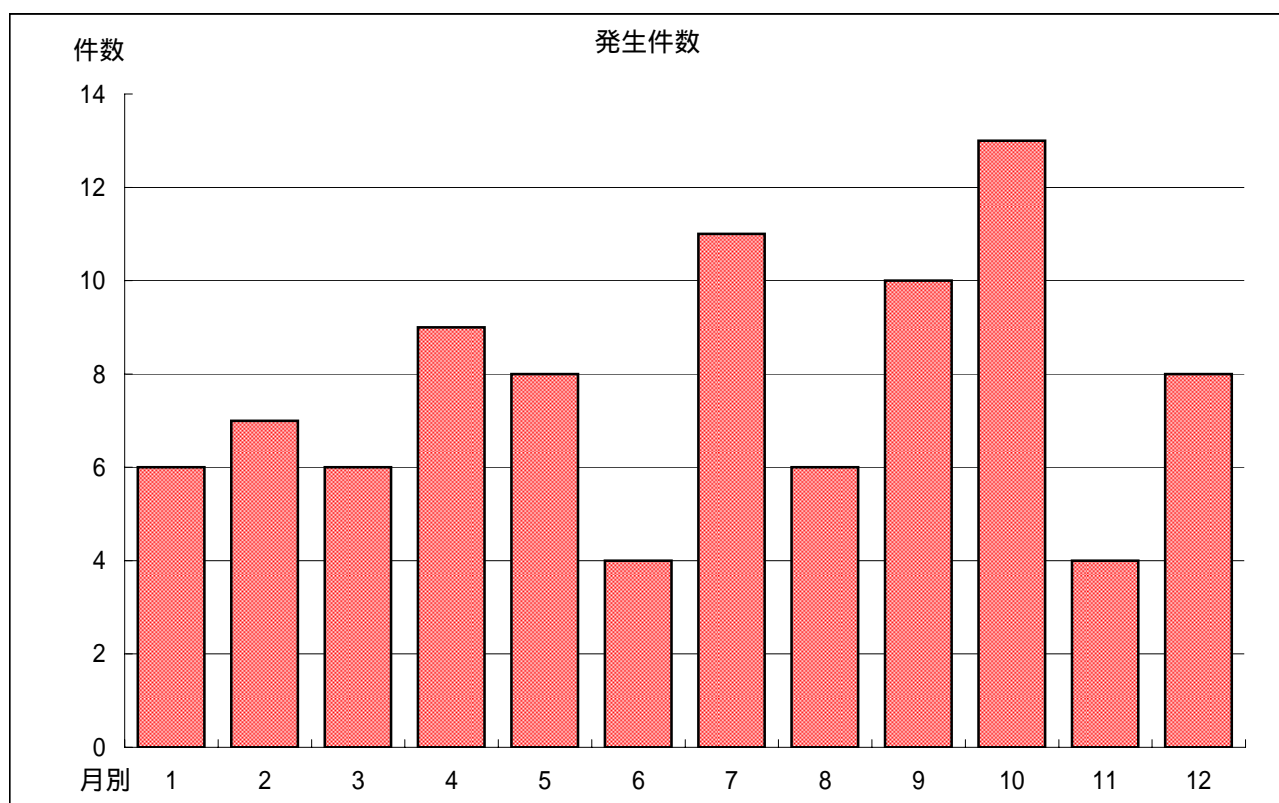
9 . 月別火災発生状況

【月別火災発生状況集計表】

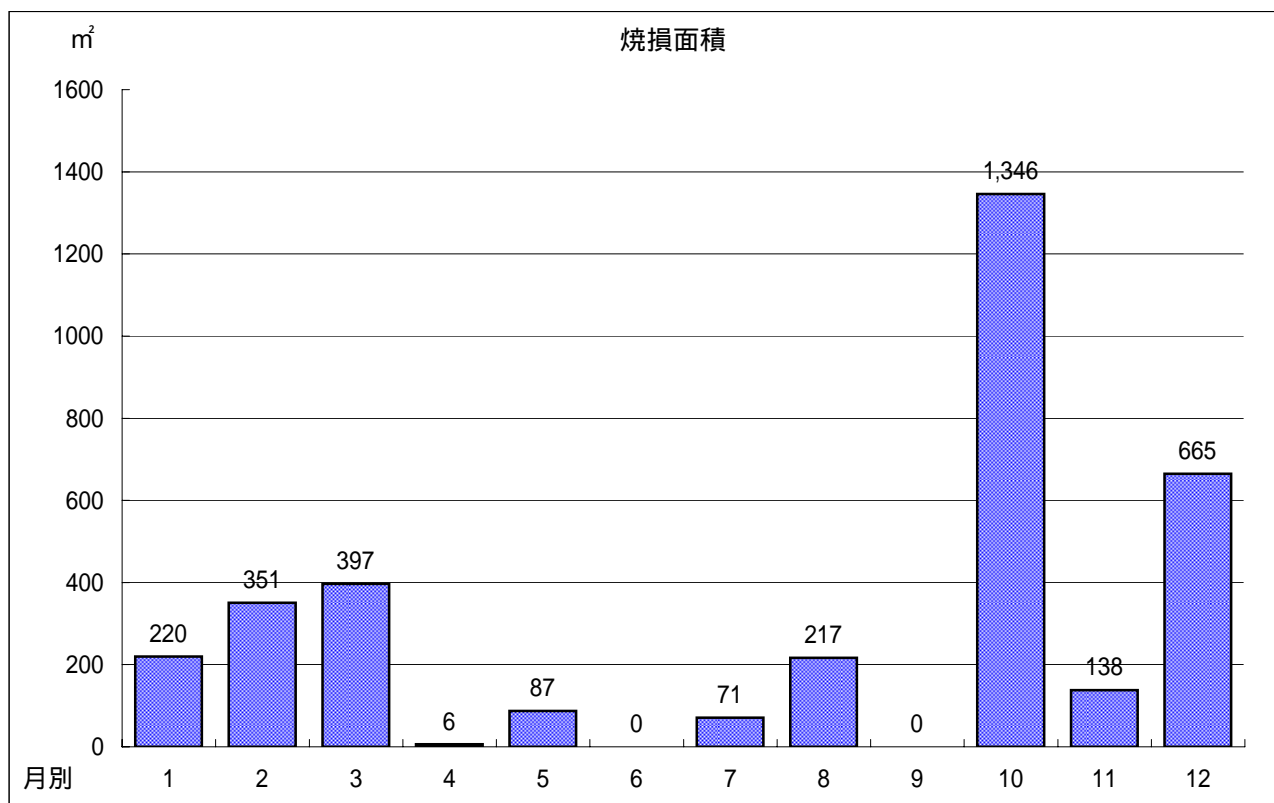
項目 \ 月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
発生件数 (件)	6	7	6	9	8	4
焼損面積 (㎡)	220	351	397	6	87	0
損害額 (千円)	18,692	23,970	54,920	156	4,437	1,344

項目 \ 月別	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
発生件数 (件)	11	6	10	13	4	8
焼損面積 (㎡)	71	217	0	1,346	138	665
損害額 (千円)	8,471	26,361	569	49,044	5,487	34,705

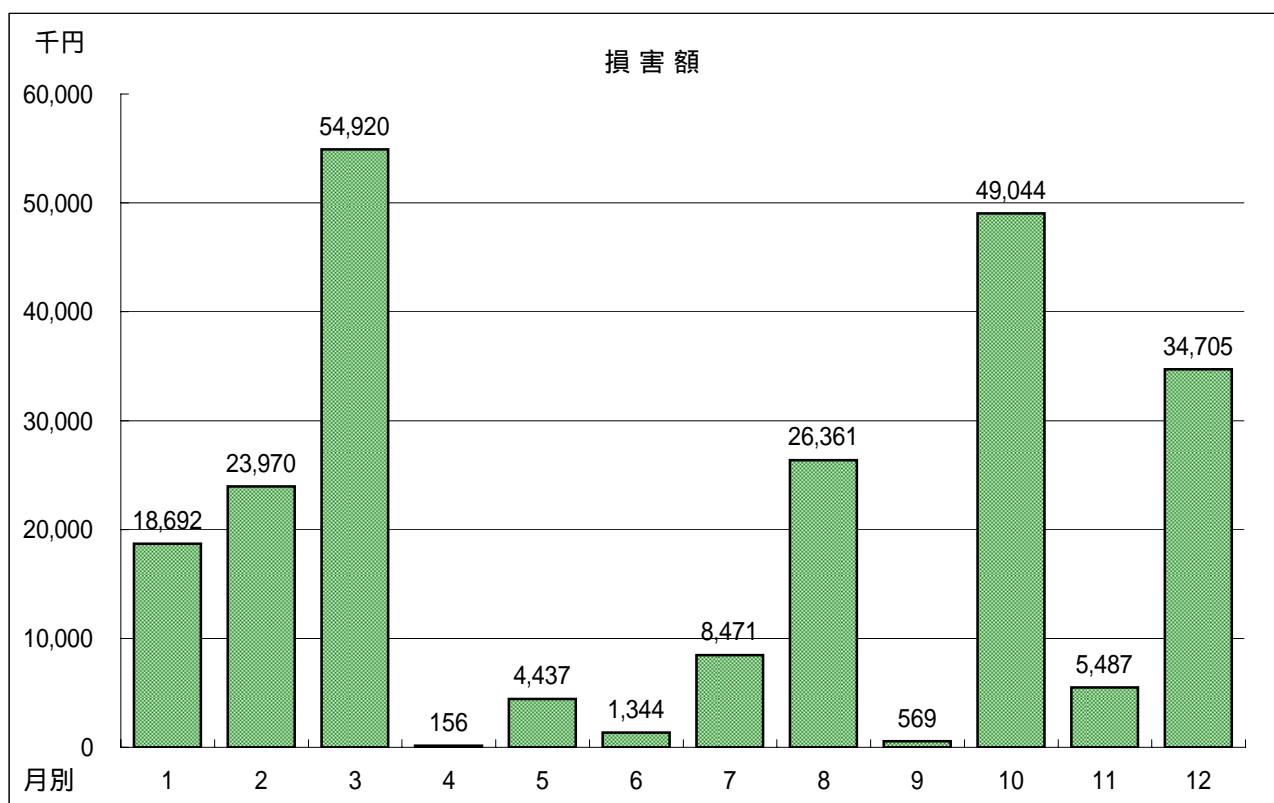
(1) 発生件数 (件)



(2) 焼損面積 (m²)

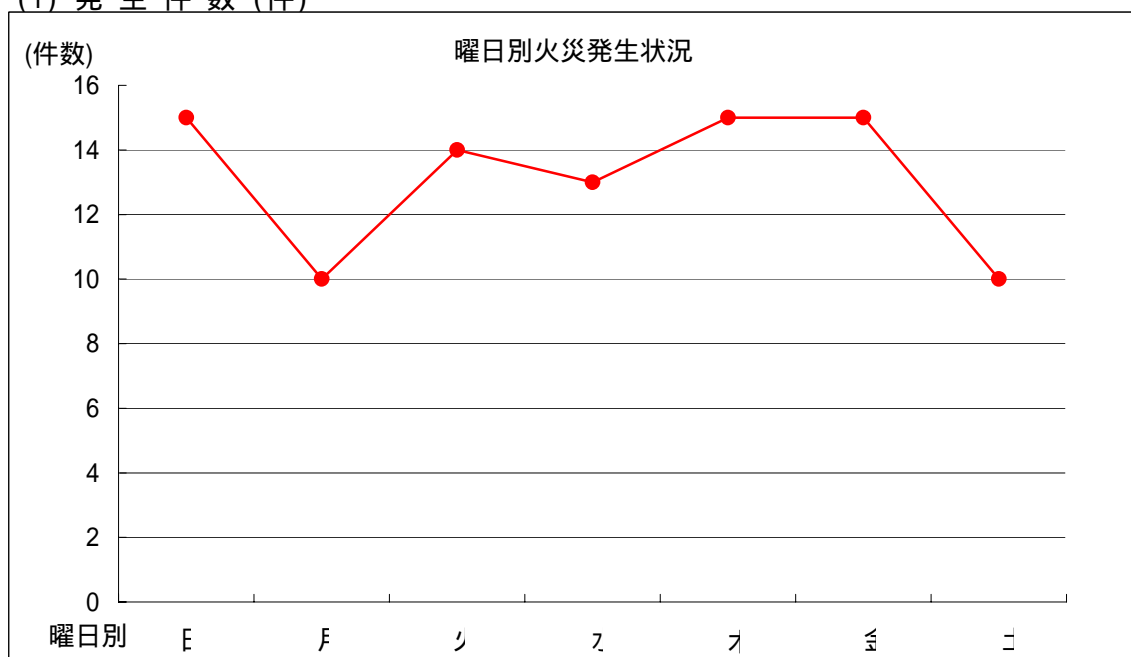


(3) 損害額 (千円)



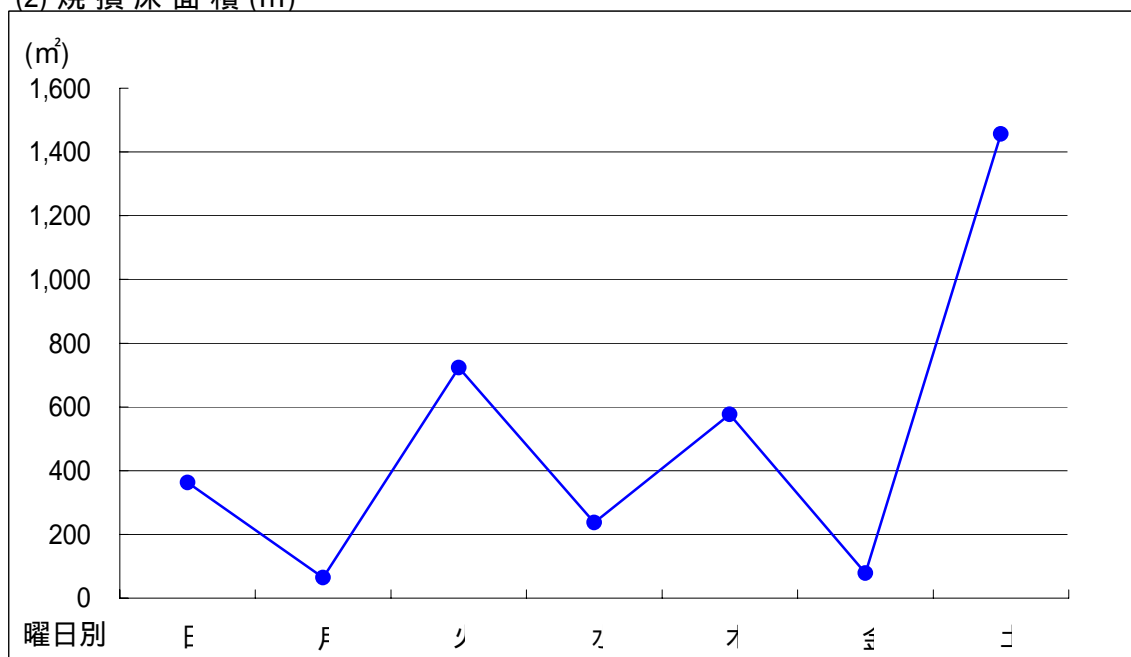
10. 曜日別火災発生状況

(1) 発生件数(件)



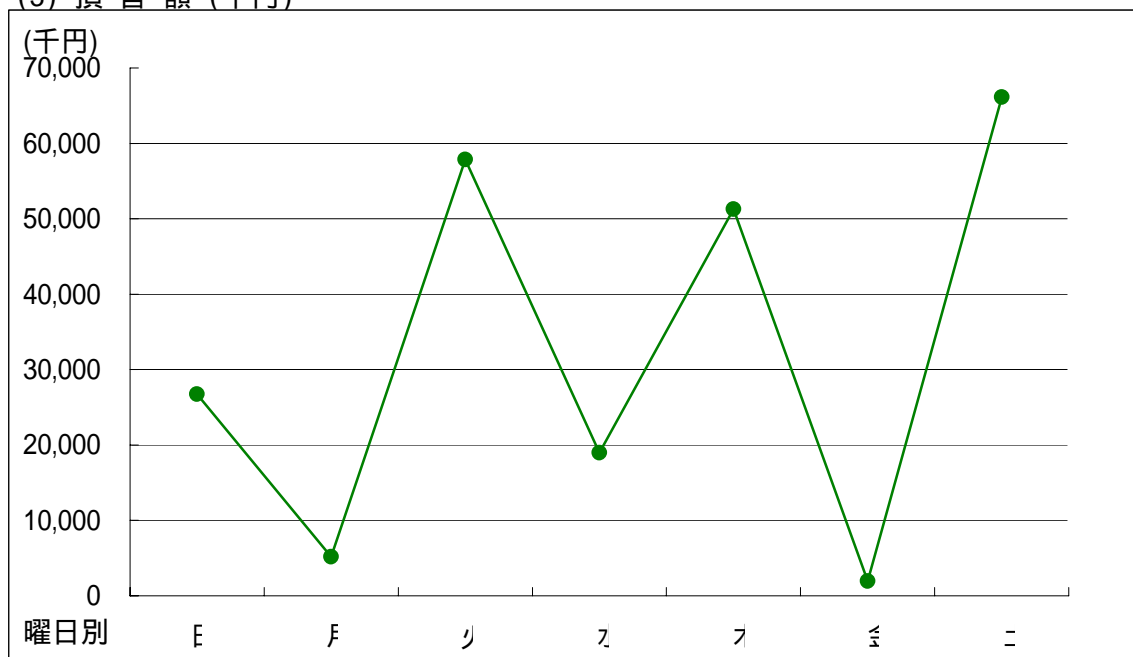
項目 \ 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
発生件数(件)	15	10	14	13	15	15	10

(2) 焼損床面積(m²)



項目 \ 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
焼損面積(m ²)	363	64	723	237	577	78	1,456

(3) 損害額 (千円)

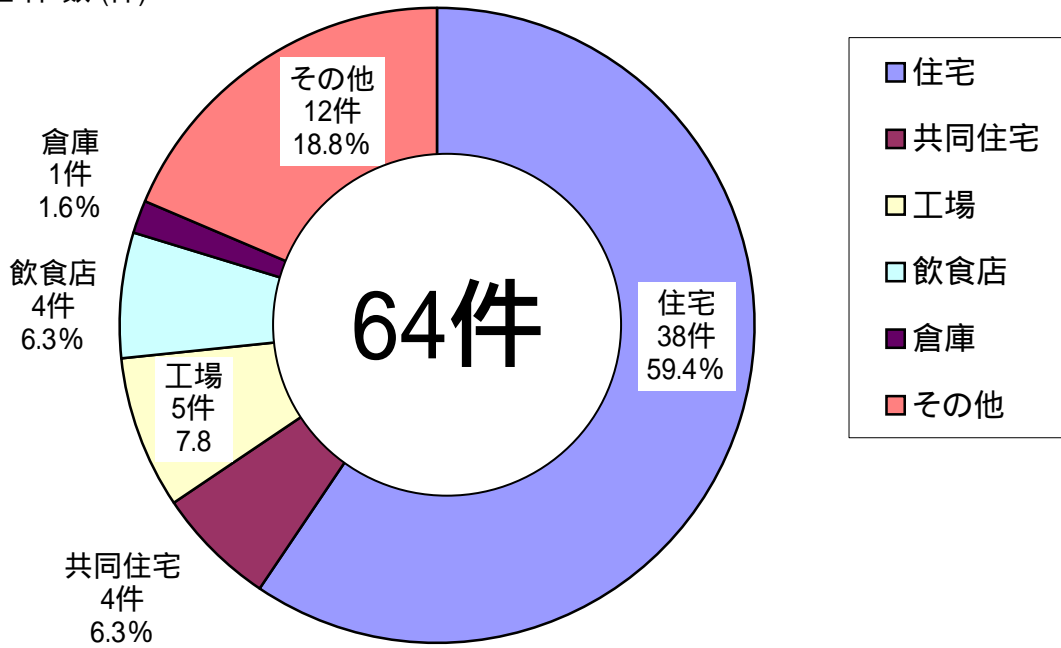


項目	月別						
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
損害額 (千円)	26,739	5,177	57,880	18,975	51,286	1,942	66,157

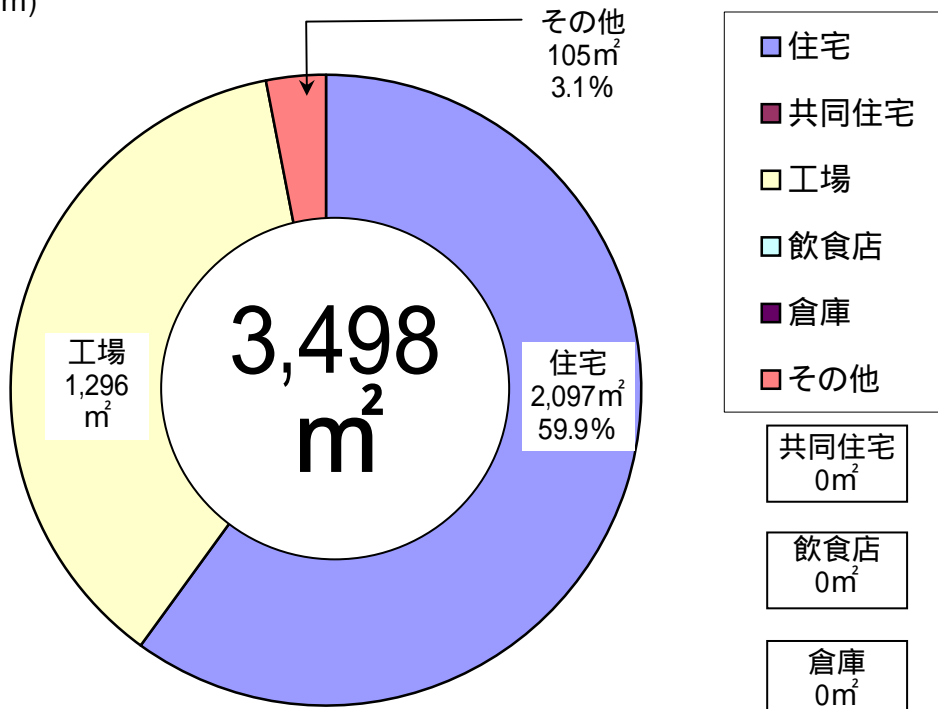
11. 用途別火災発生状況（建物火災）

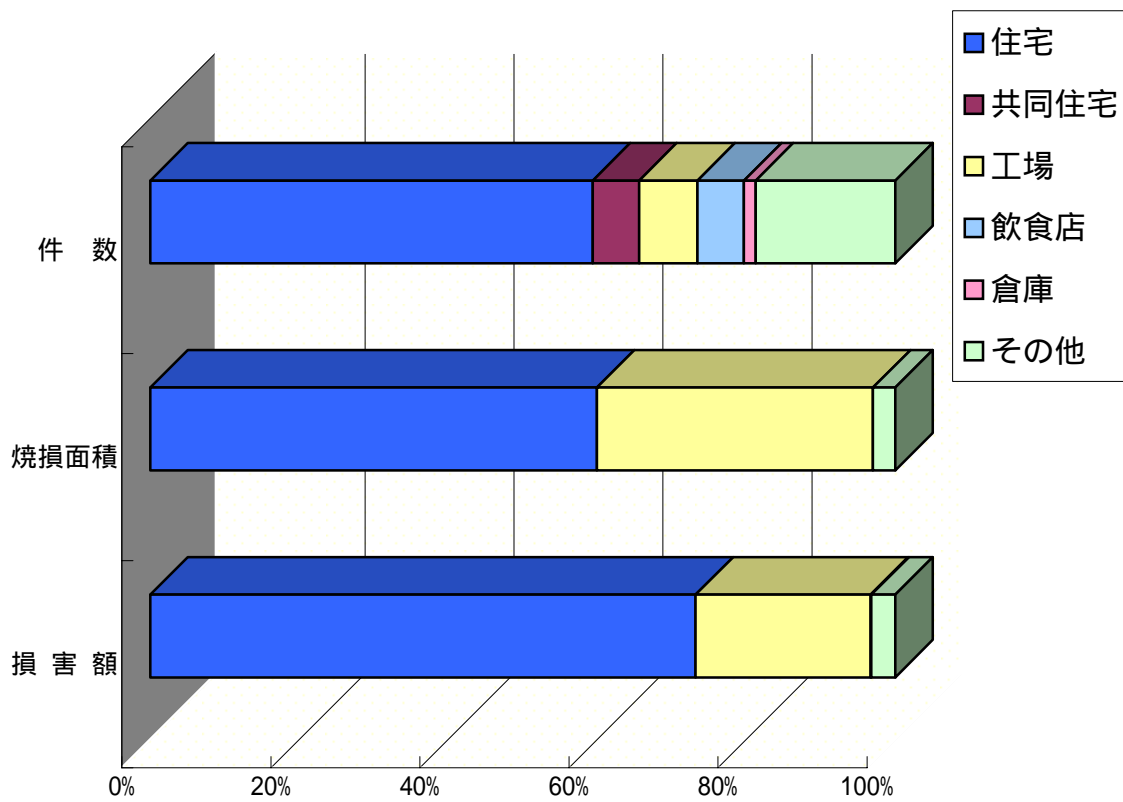
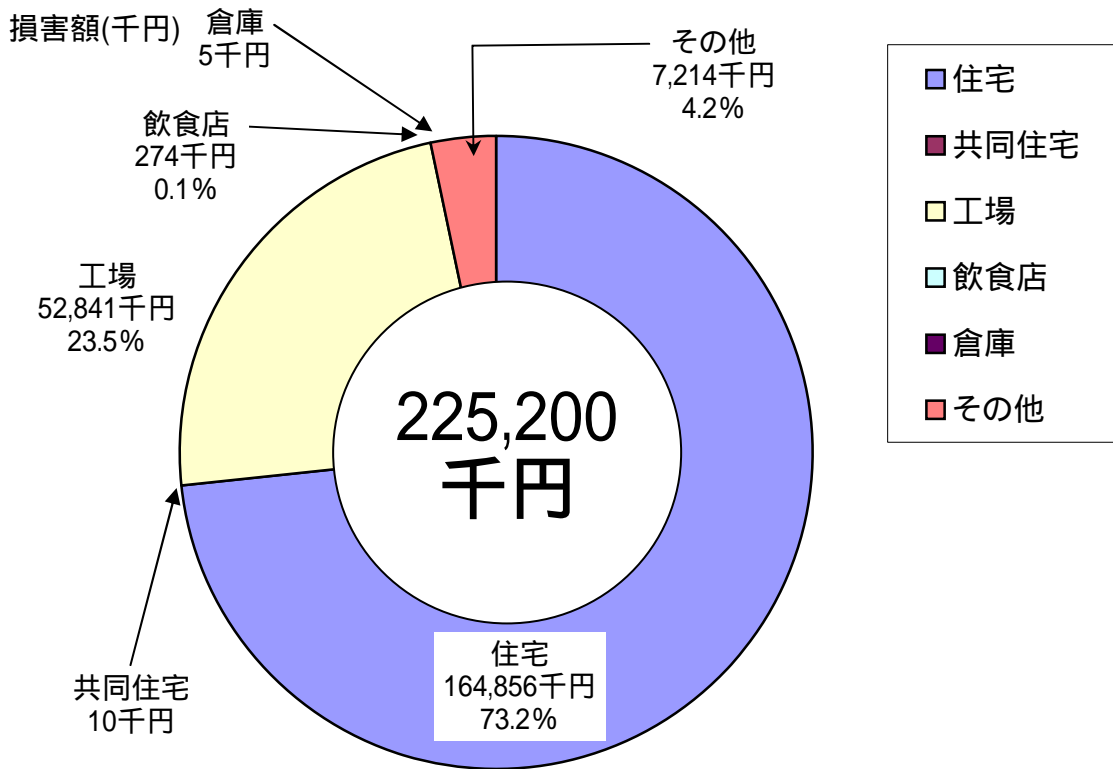
	住宅	共同住宅	工場	飲食店	倉庫	その他	計
発生件数	38	4	5	4	1	12	64
焼損床面積㎡	2,097	0	1,296	0	0	105	3,498
損害額 千円	164,856	10	52,841	274	5	7,214	225,200

発生件数(件)



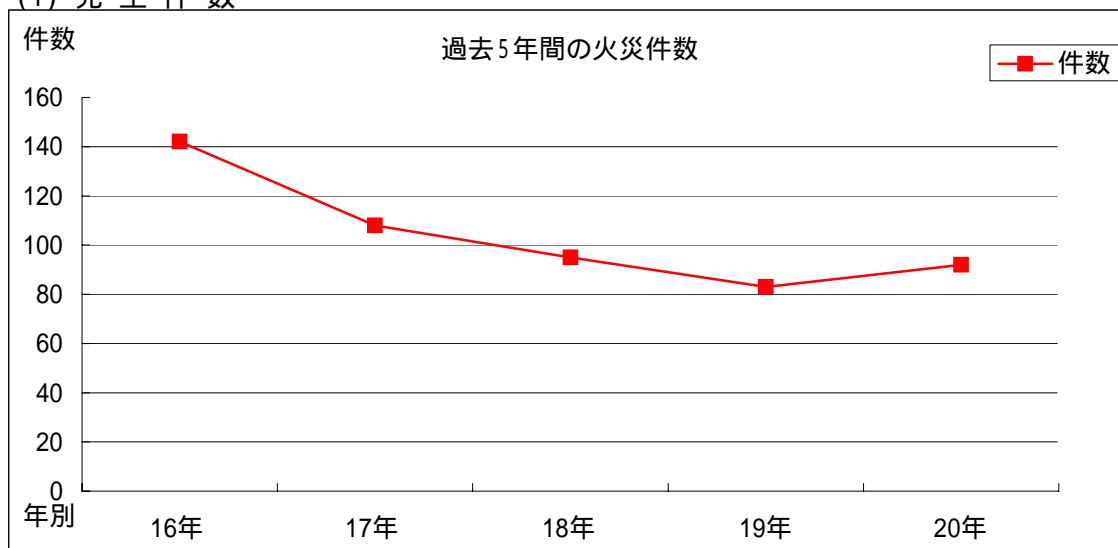
焼損面積(㎡)





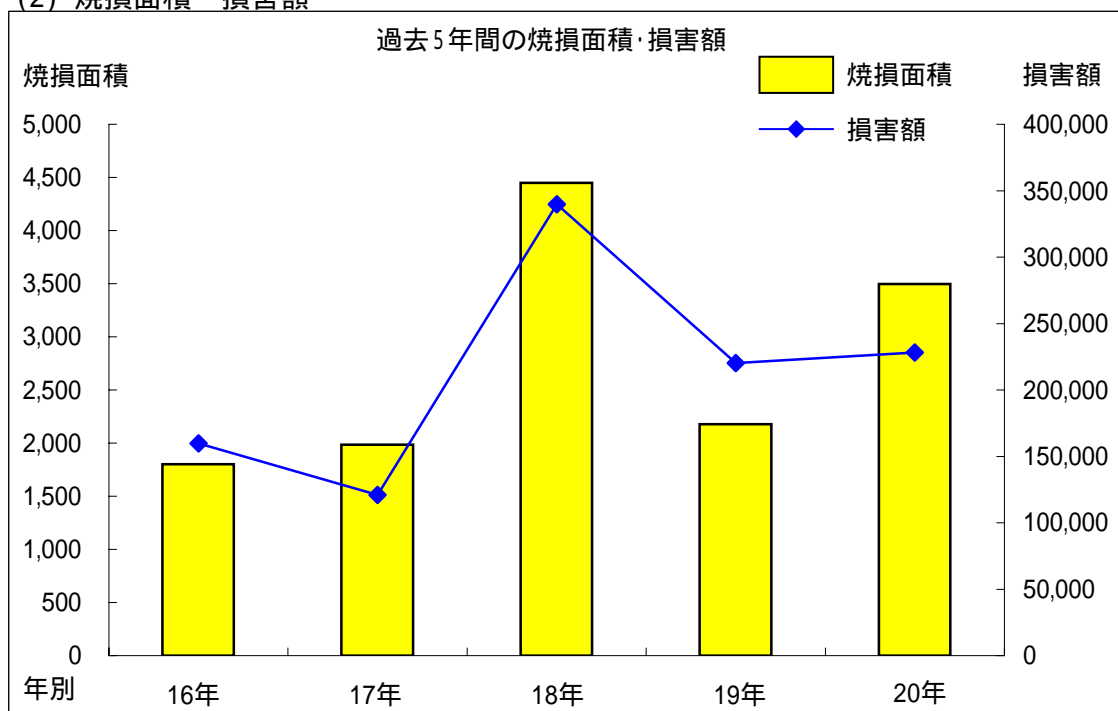
12. 火災の推移（過去5年間の実数による比較）

(1) 発生件数



	16年	17年	18年	19年	20年
発生件数	142	108	96	83	92

(2) 焼損面積・損害額

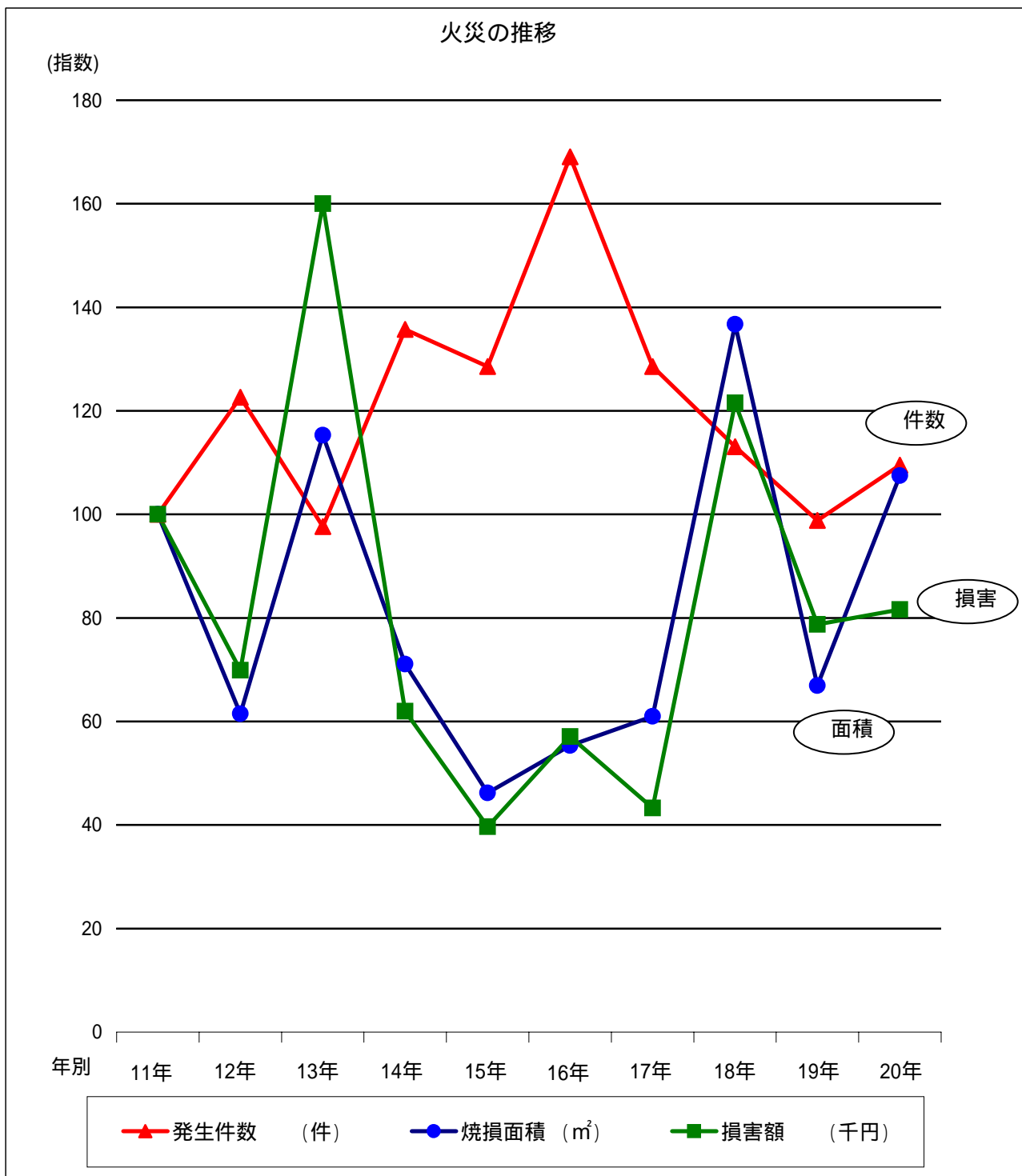


	16年	17年	18年	19年	20年
焼損面積	1,801	1,984	4,449	2,178	3,498
損害額	159,665	121,018	339,812	220,137	228,156

13. 火災の推移（過去10年間）

* 平成11年を「指数100」とした場合の推移比較

項目 \ 年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
発生件数	100	122.6	97.6	135.7	128.6	169.0	128.6	113.1	98.8	109.5
焼損面積	100	61.5	115.3	71.1	46.2	55.3	61.0	136.7	66.9	107.5
損害額	100	69.9	160.0	62.0	39.7	57.1	43.3	121.5	78.7	81.6



救急統計



1 救急隊別救急業務状況

(平成20年中)

市町村別 隊別 事故種別		出 場 所		救 急 隊							計	
		福井市	その他	中	南	東	臨海	西	美山	越廼		清水
火災	出場件数	87		23	19	21	5	17	1		1	87
	搬送人員	14		6	3	3		2				14
自然	出場件数											0
	搬送人員											0
水難	出場件数	11			2	1	2	1		4	1	11
	搬送人員	5			1		1			2	1	5
交通	出場件数	995	6	346	183	169	33	197	15	11	47	1,001
	搬送人員	1,201	7	407	228	209	37	235	23	15	54	1,208
労災	出場件数	95		26	20	17	8	14	2	2	6	95
	搬送人員	95		26	20	16	8	15	2	2	6	95
運動	出場件数	80		19	10	10		32	1		8	80
	搬送人員	84		20	10	11		32	1		10	84
一般	出場件数	961		304	178	145	38	178	15	27	76	961
	搬送人員	923		288	173	135	37	173	15	27	75	923
加害	出場件数	37		19	3	8		7				37
	搬送人員	30		16	3	7		4				30
自損	出場件数	142		42	32	21	10	23	1	3	10	142
	搬送人員	104		32	26	18	8	16			4	104
急病	出場件数	4,419		1,440	795	705	187	851	97	105	239	4,419
	搬送人員	4,107		1,308	751	664	180	790	90	100	224	4,107
他	出場件数	687	1	266	131	93	9	154	2	6	27	688
	搬送人員	606	1	231	120	77	6	144	1	3	25	607
計	出場件数	7,514	7	2,485	1,373	1,190	292	1,474	134	158	415	7,521
	搬送人員	7,169	8	2,334	1,335	1,140	277	1,411	132	149	399	7,177

* その他（他の市町村への出場）

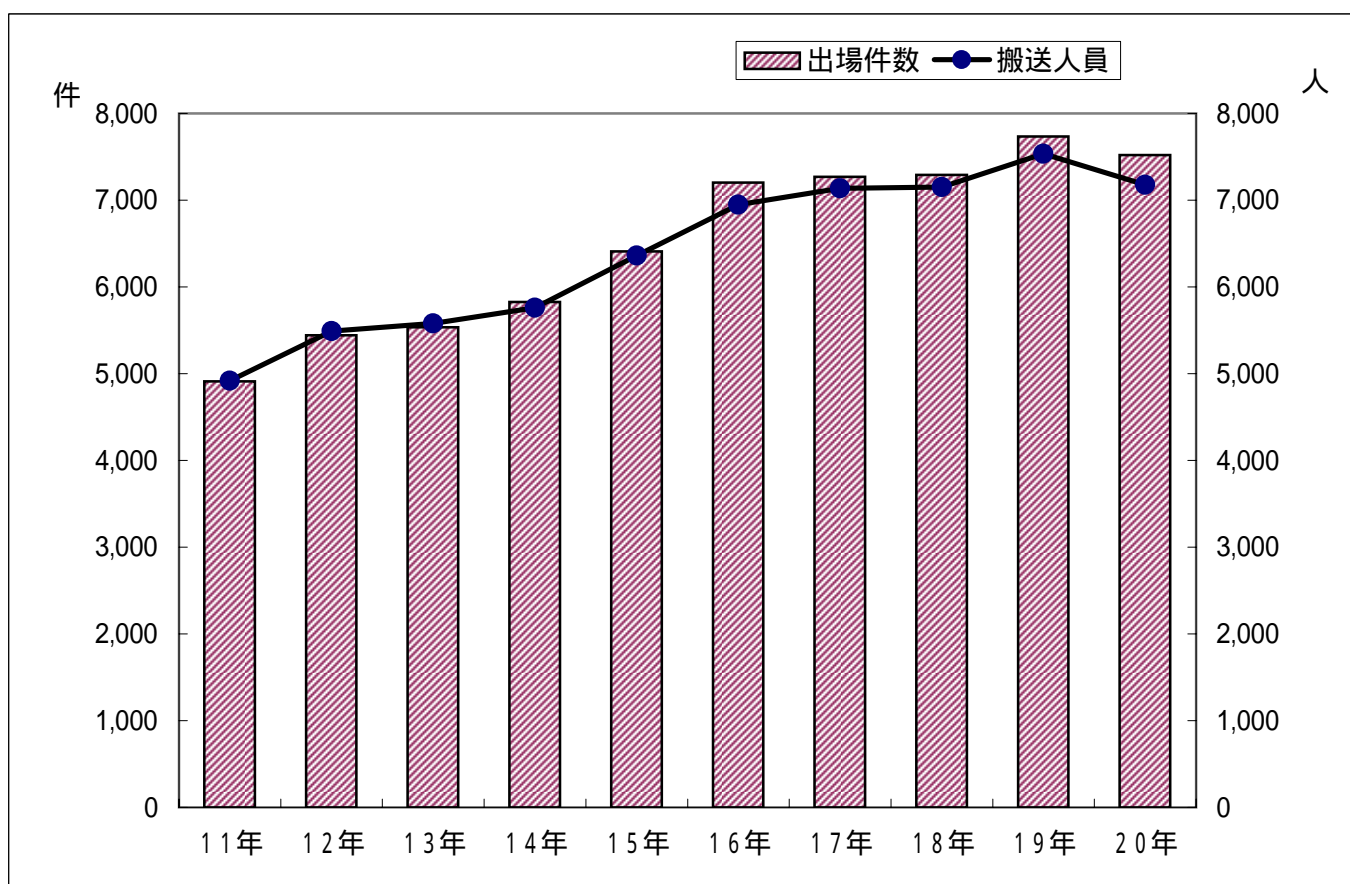
坂井市 5件 7人 鯖江市 2件 1人 **合計 7件 8人**

2 救急概要(前年との比較)

区 分		年 別	平成20年	平成19年	前年との比較 (印は減少)	
出 場 件 数			7,521	7,735	214	
救 急 事 故 種 別	火 災		87	71	16	
	自 然 災 害		0	0	0	
	水 難		11	5	6	
	交 通		1,001	1,149	148	
	労 働 災 害		95	82	13	
	運 動 競 技		80	77	3	
	一 般 負 傷		961	992	31	
	加 害		37	42	5	
	自 損 事 故		142	124	18	
	急 病		4,419	4,504	85	
	そ の 他	転 院 搬 送		601	622	21
		医 師 搬 送		3	1	2
		資 器 材 等 輸 送		6	0	6
そ の 他			78	66	12	
搬 送 人 員			7,177	7,535	358	
1 日 最 多 出 場 件 数			40	41	1	
1 日 平 均 出 場 件 数			20.5	21.2	0.7	
1 ヶ 月 平 均 出 場 件 数			626.8	644.6	17.8	

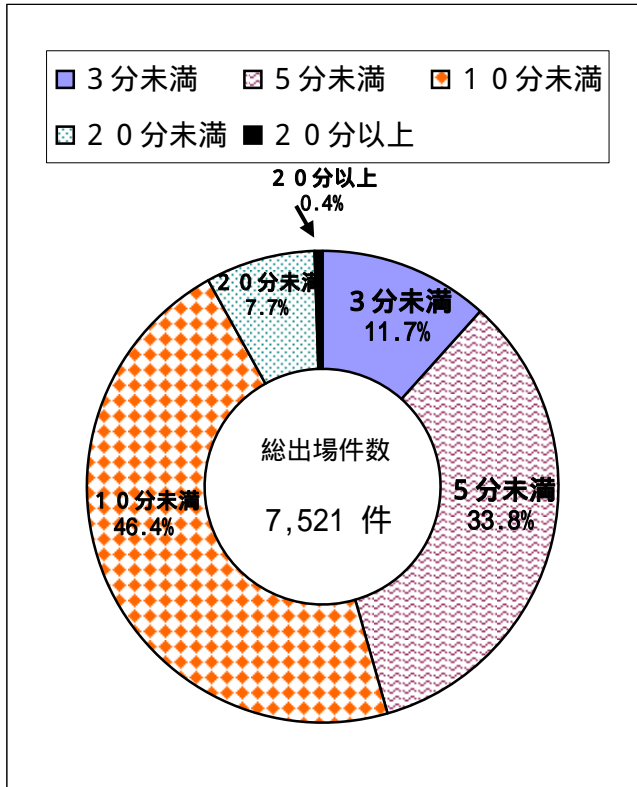
3 救急件数及び搬送人員の推移

年別	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
出場件数	4,912	5,443	5,535	5,828	6,411	7,204	7,268	7,291	7,735	7,521
前年比	349	531	92	293	583	793	64	23	444	214
搬送人員	4,917	5,490	5,581	5,761	6,361	6,949	7,135	7,152	7,535	7,177
前年比	309	573	91	180	600	588	186	17	383	358



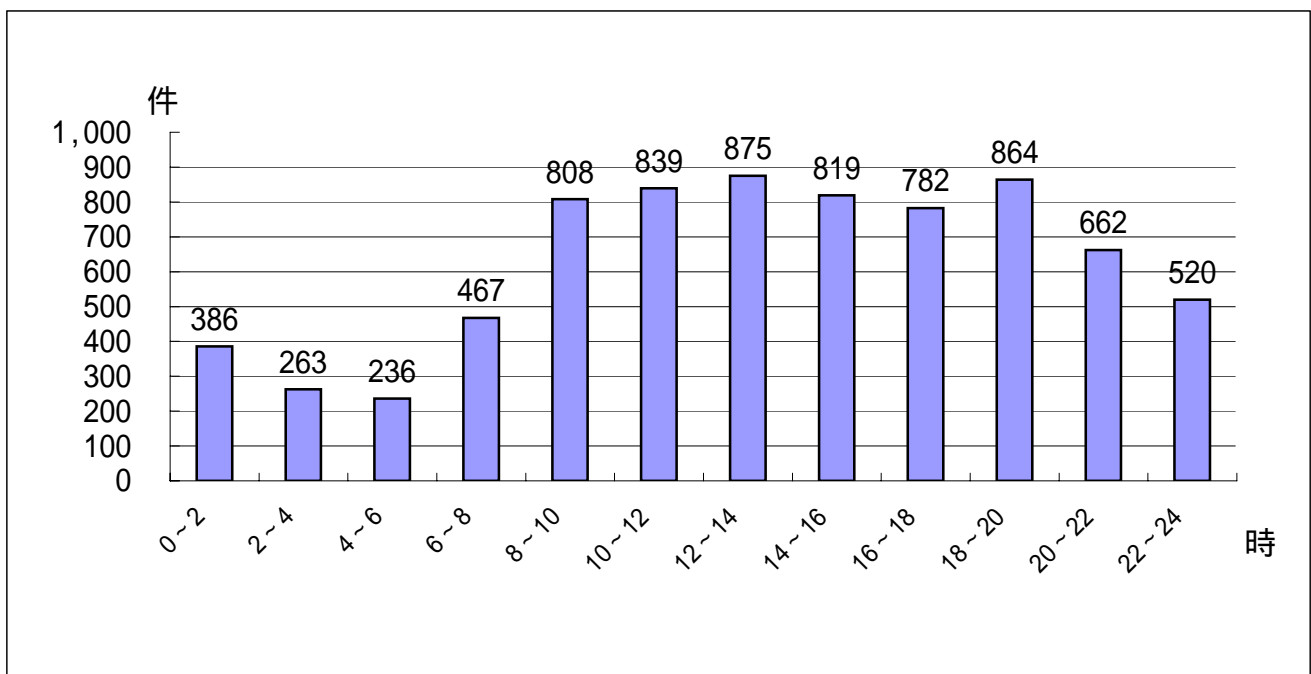
4 現場到着所要時間別出場件数

(平成20年中)



時間	種別				合計
	急病	交通	一般	その他	
3分未満	510	120	99	150	879
5分未満	1,490	322	311	418	2,541
10分未満	2,075	456	472	488	3,491
20分未満	330	95	75	78	578
20分以上	14	8	4	6	32
計	4,419	1,001	961	1,140	7,521

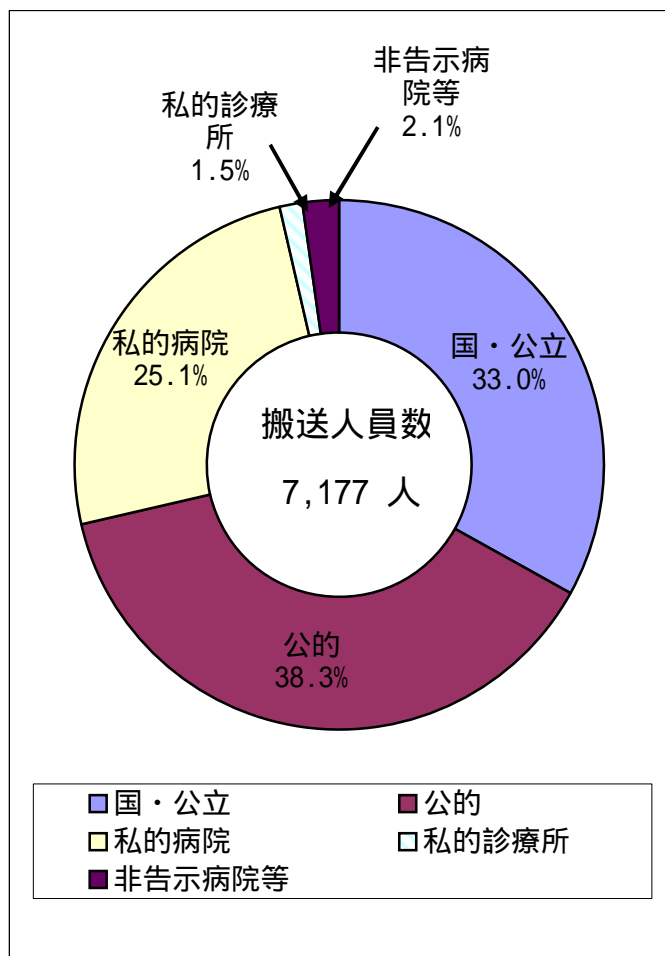
5 時間別出場件数



時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
件数	386	263	236	467	808	839	875	819	782	864	662	520	7,521

6 医療機関別搬送人員

(平成20年中)



医療機関別

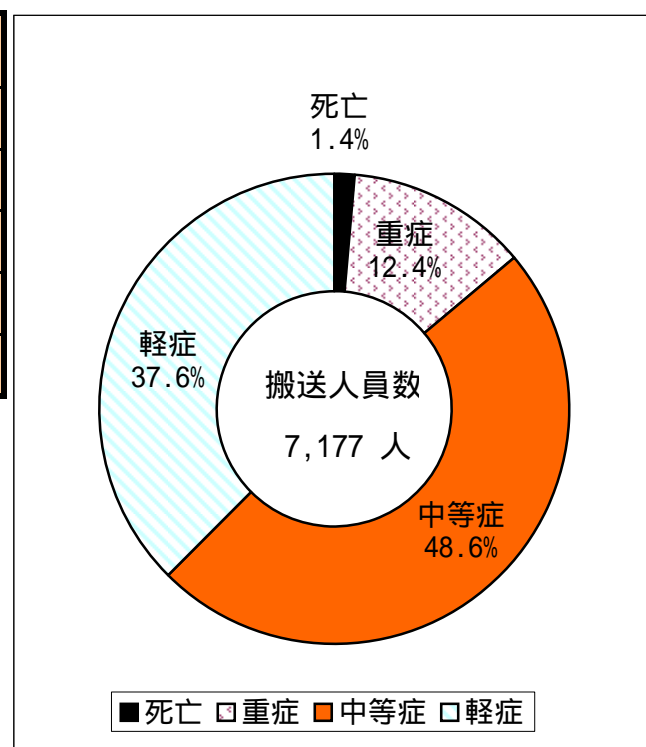
種別 医療機関	急病	交通	一般	その他	合計
国・公立	1,319	394	284	373	2,370
公的	1,598	455	353	342	2,748
私的病院	1,039	316	238	206	1,799
私的診療所	29	35	35	7	106
非告示病院等	122	8	13	11	154
計	4,107	1,208	923	939	7,177

(非告示病院等)

種別 医療機関	急病	交通	一般	その他	合計
国・公立					0
公的					0
私的病院	94		8	6	108
私的診療所	28	8	5	4	45
その他の場所				1	1
計	122	8	13	11	154

7 傷病程度別搬送人員

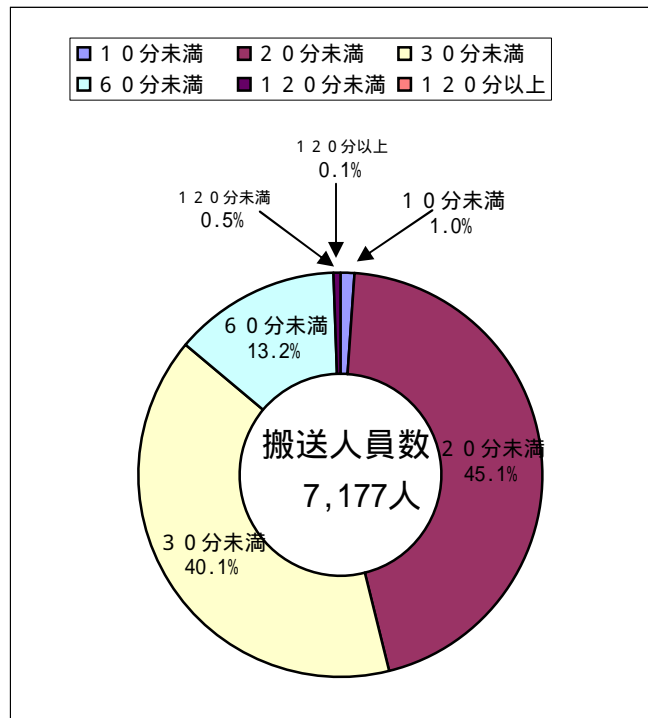
種別 傷病程度	急病	交通	一般	その他	合計
死亡	68	7	8	18	101
重症	494	47	96	255	892
中等症	2,112	448	429	497	3,486
軽症	1,433	706	390	169	2,698
計	4,107	1,208	923	939	7,177



8 収容所要時間別搬送人員

(平成20年中)

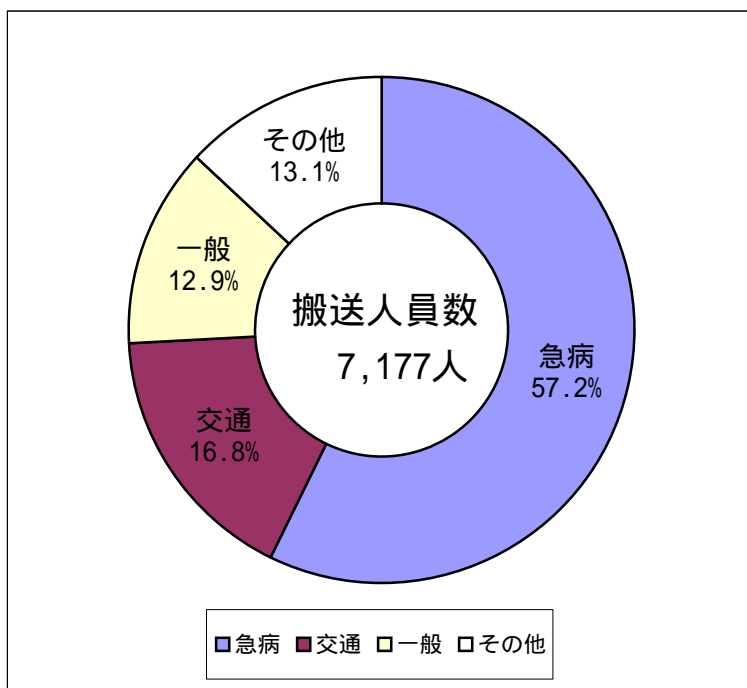
種別 時間	急病	交通	一般	その他	合計
10分未満	35	7	14	16	72
20分未満	1,876	519	344	497	3,236
30分未満	1,622	515	410	330	2,877
60分未満	553	163	150	80	946
120分未満	21	4	3	11	39
120分以上	0	0	2	5	7
計	4,107	1,208	923	939	7,177



9 事故別搬送人員

種別	急病	交通	一般	その他	合計
搬送人員	4,107	1,208	923	939	7,177

(その他の内訳)



種別	搬送人員	割合
火災	14	0.2%
自然	0	0.0%
水難	5	0.1%
労災	95	1.3%
運動	84	1.2%
加害	30	0.4%
自損	104	1.4%
その他	607	8.5%
計	939	13.1%

10 救急隊員が行った応急処置の状況

(平成20年中)

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
対象人員	4,081	1,180	902	925	7,088 人
止血	18	35	81	38	172 件
固定	60	876	249	105	1,290 件
人工呼吸	22		1	5	28 件
心マッサージ	3	1	2	3	9 件
心肺蘇生	144	9	21	27	201 件
酸素吸入	1,854	139	150	411	2,554 件
気道確保	215	13	36	36	300 件
* ラリngeアル等気道確保	(85)	(2)	(12)	(12)	(111) 件
* 気管挿管	(9)		(2)	(1)	(12) 件
保温	2,492	405	441	513	3,851 件
被覆	30	187	212	78	507 件
在宅療法継続					件
ショックパンツによる血圧保持					件
除細動	9			1	10 件
* 静脈路確保(輸液)	33	1	8	3	45 件
その他の応急処置	2,170	320	363	414	3,267 件
血圧測定	3,653	1,014	747	734	6,148 件
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	630	329	121	113	1,193 件
血中酸素飽和度の測定	3,863	1,096	814	848	6,621 件
心電図	1,462	66	90	218	1,836 件
計	16,658	4,491	3,336	3,547	28,032 件

注 * は救急救命士が実施した救急救命処置

11 管外医療機関搬送状況

市町村別	鯖江市	大野市	永平寺町	坂井市	越前町	その他(県外)	合計
件数	15	2	187	22	3	4	233
人員	15	3	194	22	3	4	241

(事故種別)

種別	急病	交通	一般	転院	その他	合計
件数	136	24	16	49	8	233
人員	136	32	16	49	8	241

1.2 転送状況

(平成20年中)

医療機関 事故種別	0回		1回		合計
	0回	1回	0回	1回	
急病	4,100	7			4,107
交通	1,208				1,208
一般負傷	923				923
その他	939				939
計	7,170	7			7,177

(転送理由)

転送理由	人員
ベッド満床	
専門外	2
医師不在	
手術中	
処置困難	5
理由不明	
その他	
計	7

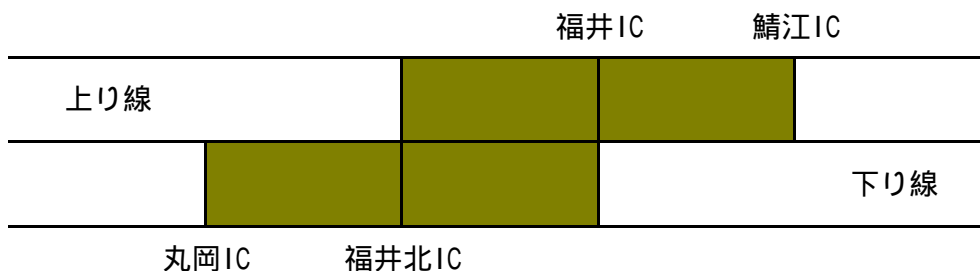
(転送者収容医療機関別)

医療機関 種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
急病	3	3	1		7
交通					
一般負傷					
その他					
計	3	3	1		7

(転送者収容所要時間別)

時間	人員
10分未満	
20分未満	
30分未満	3
60分未満	3
60分以上	1
計	7

1.3 北陸自動車道救急出場状況



内は担当区域

年別 件数・人員	20年	19年	前年比
	出場件数	11	18
搬送人員	11	35	24

年別 件数・人員	交通	急病	一般	その他	合計
	出場件数	7	2		2
搬送人員	8	2		1	11

1 4 発生場所別搬送人員

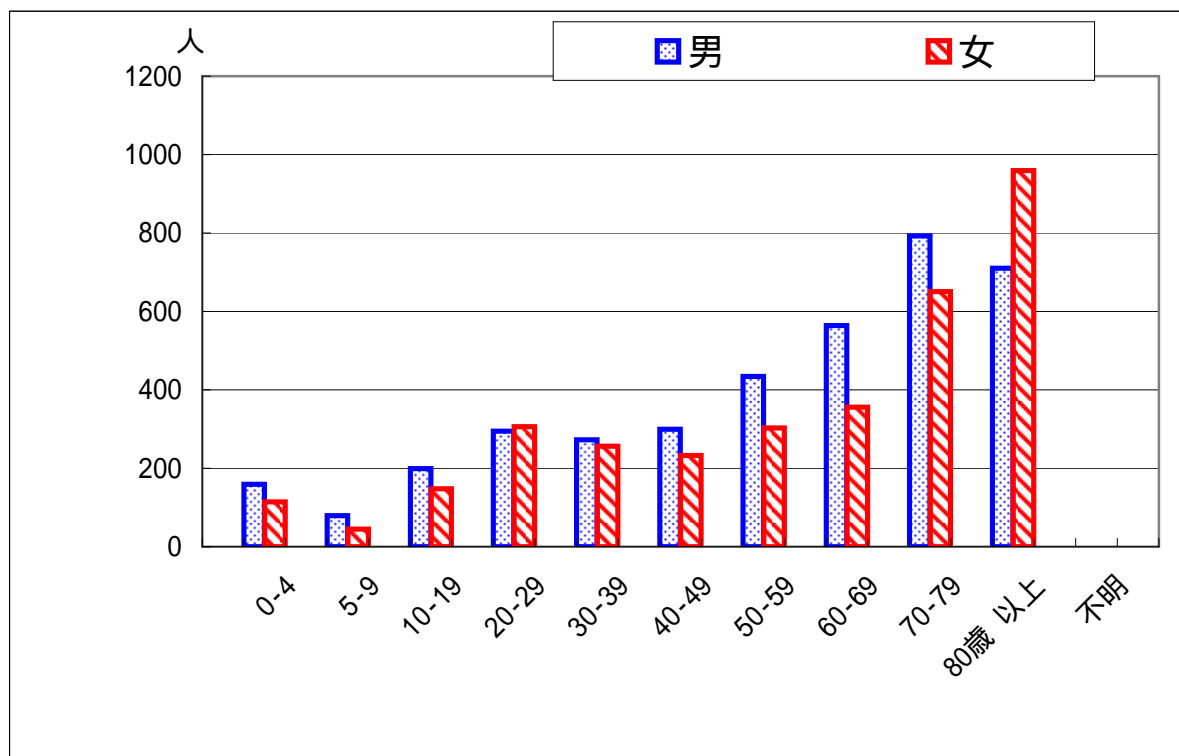
(平成20年中)

区分	発生場所					合計
	住宅	公衆の 出入場所	仕事場	道路	その他	
急病	2,844	882	131	168	82	4,107
交通	3	24	5	1,155	21	1,208
一般負傷	533	188	21	114	67	923
その他	115	713	62	20	29	939
合計	3,495	1,807	219	1,457	199	7,177

1 5 医師の現場出場状況

	急病	交通	一般負傷	その他	計
平成20年	0件	0件	1件	0件	1件
平成19年	0件	0件	0件	0件	0件

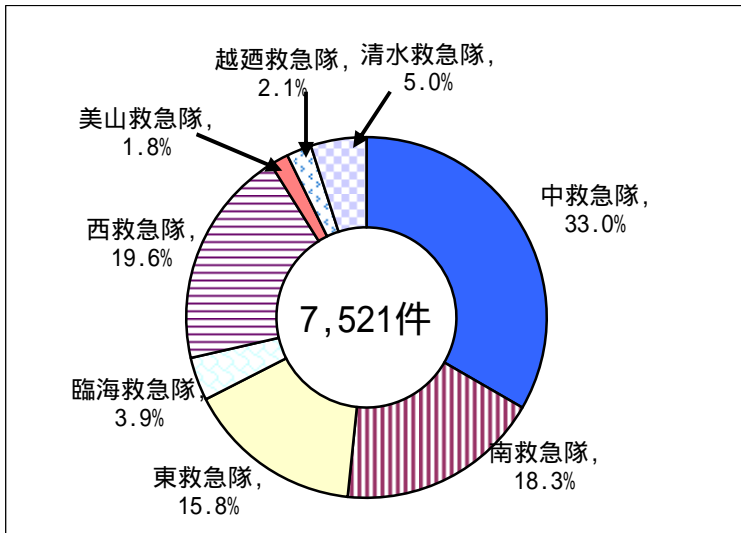
1 6 年齢・性別搬送人員



年齢 性別	0-4	5-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳 以上	不明	合計
男	159	79	199	295	273	300	434	564	793	710		3,806
女	114	45	148	306	256	233	303	356	651	959		3,371
計	273	124	347	601	529	533	737	920	1,444	1,669	0	7,177

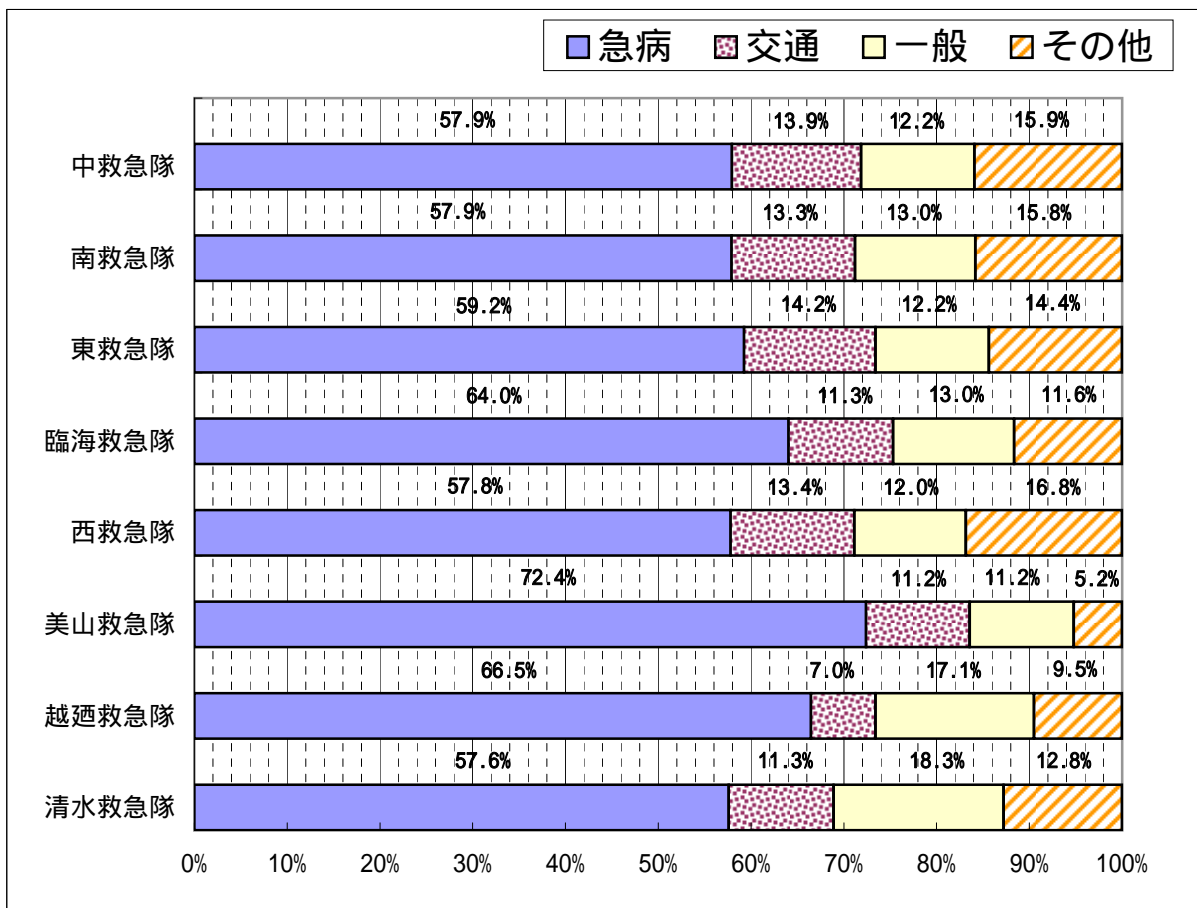
1 7 救急隊別出場件数

(平成20年中)



(1日平均出場件数)

隊 別	計
中救急隊	6.8 件
南救急隊	3.8 件
東救急隊	3.3 件
臨海救急隊	0.8 件
西救急隊	4.0 件
美山救急隊	0.4 件
越廼救急隊	0.4 件
清水救急隊	1.1 件
計	20.5 件



種 別	隊 別								合 計 (件)
	中救急隊	南救急隊	東救急隊	臨海救急隊	西救急隊	美山救急隊	越廼救急隊	清水救急隊	
急 病	1,440	795	705	187	852	97	105	239	4,420
交 通	346	183	169	33	197	15	11	47	1,001
一 般	304	178	145	38	177	15	27	76	960
そ の 他	395	217	171	34	248	7	15	53	1,140
計	2,485	1,373	1,190	292	1,474	134	158	415	7,521

救 助 統 計



1. 救助活動状況

(平成20年中)

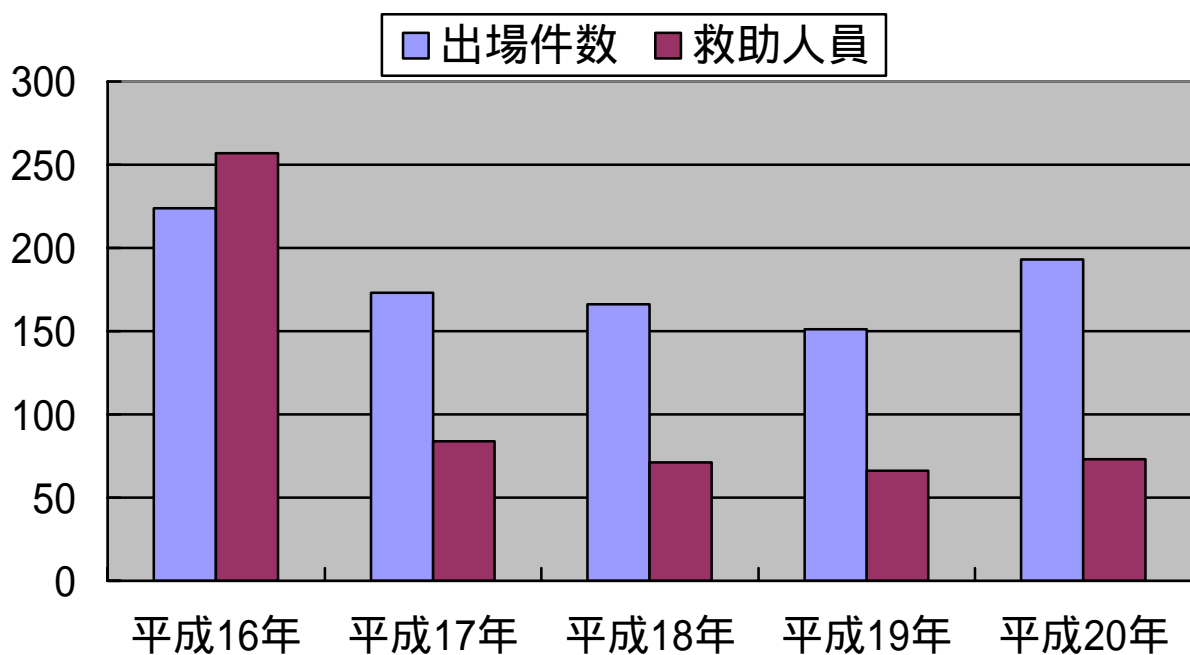
区分 月・署別	出 場 件 数										活 動 状 況			
	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	出 場 人 員	活 動 件 数	活 動 人 員	救 助 人 員
1 月	4	7	2			1			1	15	378	11	74	9
2 月	6	4	1		1				3	15	380	6	63	5
3 月	6	4								10	357	5	39	2
4 月	5	6	1						3	15	364	7	42	6
5 月	6	4				2	1		3	16	402	8	70	5
6 月	4	3				1	1		2	11	223	5	40	5
7 月	4	9	3			1			6	23	447	12	86	16
8 月	4	4	4		1	2			3	18	447	8	74	7
9 月	5	3	3				2		1	14	314	3	22	2
10 月	12	5					1		2	20	696	8	53	4
11 月	2	4	2			4			7	19	376	6	53	4
12 月	5	10							2	17	463	6	54	8
合 計	63	63	16	0	2	11	5	0	33	193	4,847	85	670	73
出場署別	中 署	20	14	3		1	7	2		14	1,304	19	130	19
	南 署	23	16	4			4	2		9	1,644	28	205	19
	東 署	16	26	2						6	1,231	24	177	18
	臨海署	4	5	6		1		1		3	573	12	144	15
	管 外		2	1						1	95	2	14	2
	計	63	63	16	0	2	11	5	0	33	193	4,847	85	670
出場場所	福井市	63	61	15		2	11	5		32	4,752	83	656	71
	その他		2	1						1	95	2	14	2
	計	63	63	16	0	2	11	5	0	33	4,847	85	670	73

2. 救助出場件数及び救助人員状況(前年との比較)

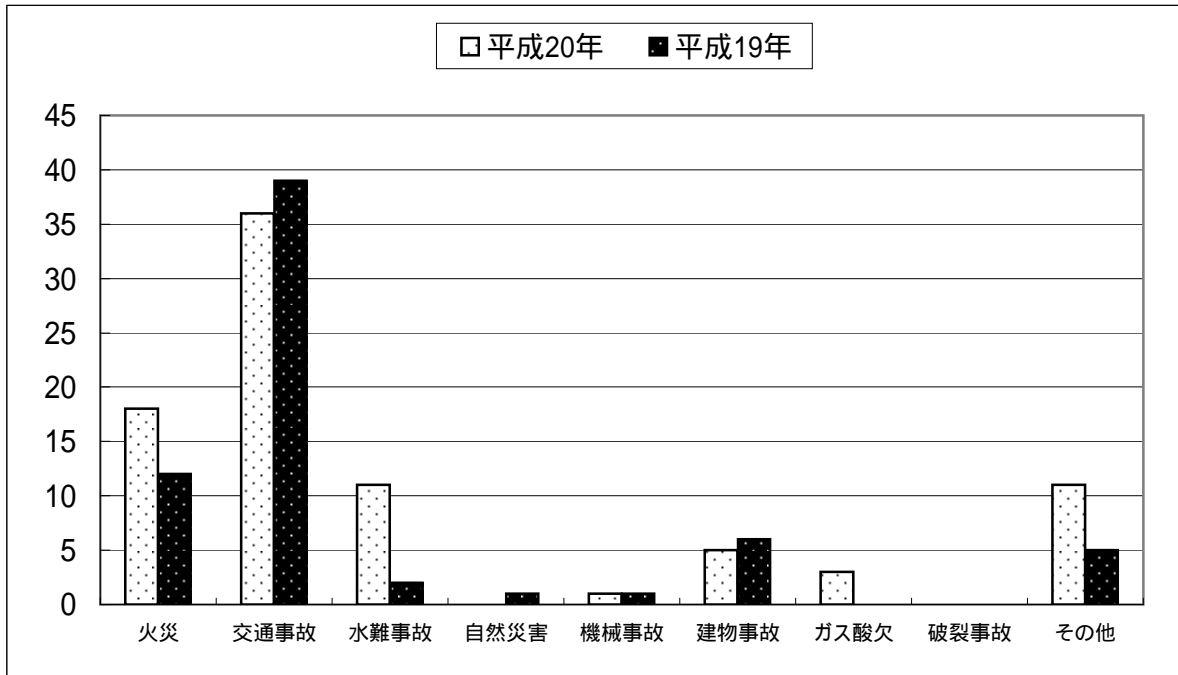
年別 及び 比較	出場件数 及び 救助人員	事故種別										合計
		火災	交通事故	水難事故	風自然水災害	機よる械事に故	建よる物る等に故	ガ酸ス欠及び事故	破裂事故	その他の事故		
平成20年	出場件数	63	63	16	0	2	11	5		33	193	
	救助人員	0	46	9	0	1	5	2		10	73	
平成19年	出場件数	43	60	5	1	7	6			29	151	
	救助人員	0	54	3	0	1	5			3	66	
前年との 比較	出場件数	20	3	11	1	5	5	5		4	42	
	救助人員	0	8	6	0	0	0	2		7	7	

3. 過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出場件数	224	173	166	151	193
救助人員	257	84	71	66	73



4. 事故種別活動件数(前年との比較)



	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	合計
平成20年	18	36	11	0	1	5	3	0	11	85
平成19年	12	39	2	1	1	6	0	0	5	66

福井市防火委員会



火災のない街をめざして

福井市防火委員会

1. 防火委員会とは

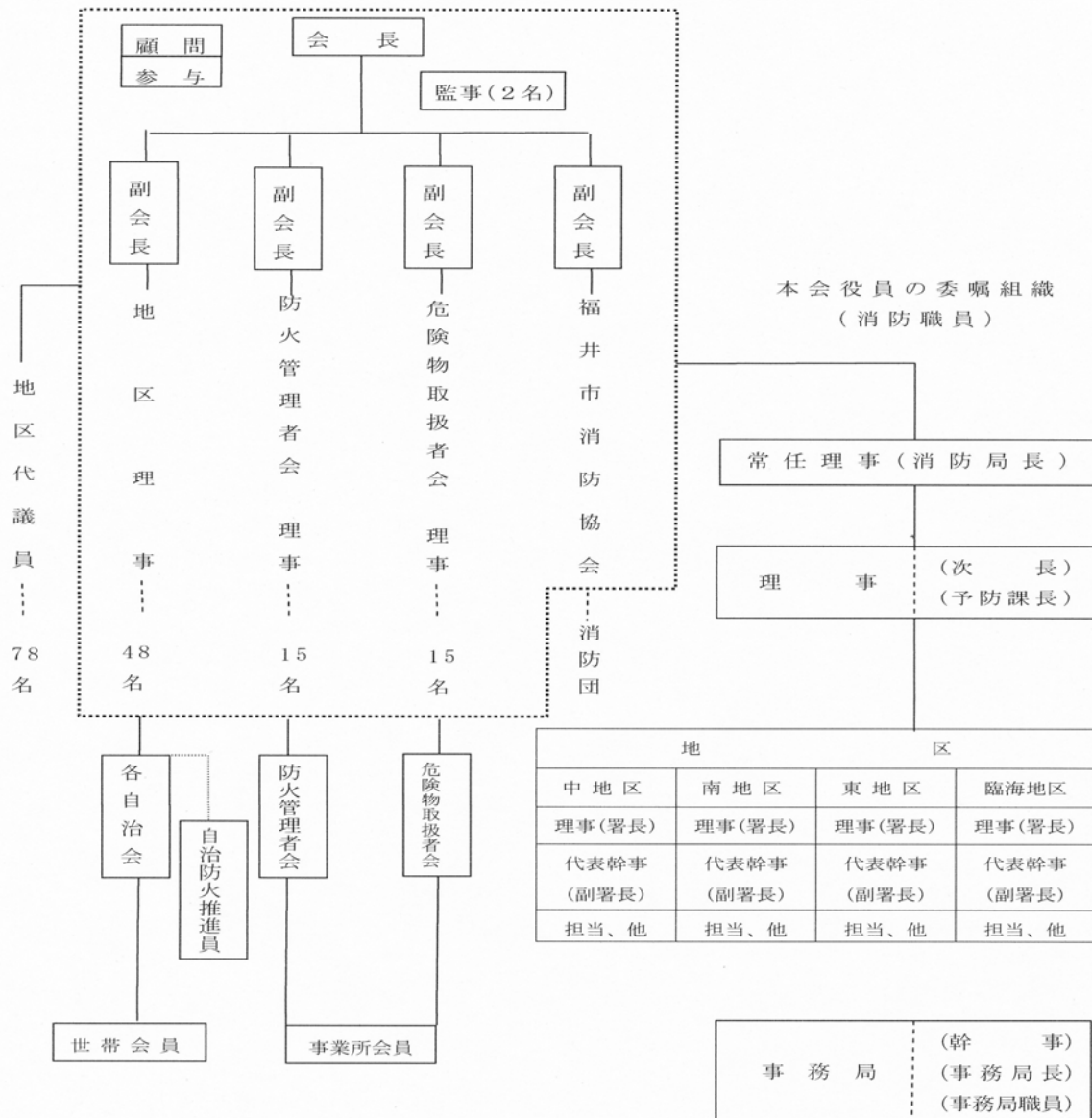
昭和26年に設立され、自治会の皆さんと事業所の方々に会員になっていただき、自主防火思想の普及と防火意識の高揚を推進して「災害に強い安心安全なまちづくり」を目指している防火団体です。

2. 事業資金は

自治会及び事業所の皆様からお振込みいただく「会費」と「補助金」などで事業を運営しております。

3. 組織は

福井市防火委員会組織図



4. 会 員 は

本会は次の会員より組織されている。

(1) 世帯会員

管内の世帯を会員としており自治会ごとに参加している。

(2) 防火管理者会会員

消防法第8条又は第8条の2に規定する「防火管理者」等を定めなければならない「防火対象物」を会員としている。

(3) 危険物取扱者会会員

消防法第13条に規定する「危険物取扱者」でなければ取り扱うことができない「危険物施設」を会員としている。

(4) 特別会員

本会の趣旨に賛同する個人又は団体を会員としている。

5. 主 な 事 業

防火広報事業

自主防火思想の普及啓発

初期消火技術の習得育成

応急救護の普及啓発

防火・防災管理の充実強化

危険物保安体制の指導

自衛消防隊の組織づくりとその育成

幼年・少年・女性防火クラブの育成

住宅用火災警報器の普及促進

地震時における出火防止と初期体制づくり

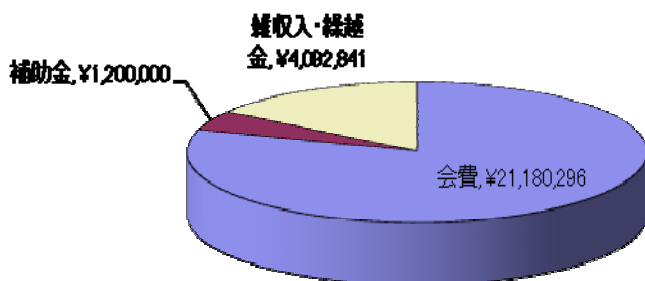
消火用資器材購入時の補助

表彰事業

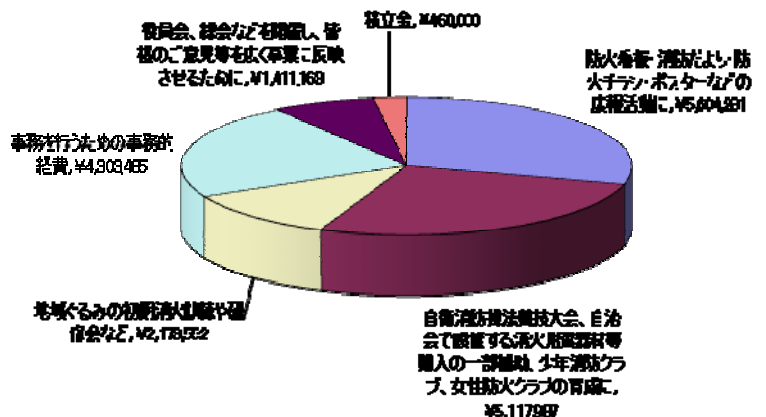
6. 平成20年度一般会計決算

収入合計 21,180,296 円、支出合計 19,070,468 円、差引残額 2,109,828 円は平成 21 年度に繰り越しとなります。

収 入



支 出



写真で見る福井の災害記録

写真で見る福井の災害記録



燃え上がる 福井市内

昭和23年6月28日 福井地震



焼け野原となった 福井市内



焼け野原となった 福井市内



焼けただけだ 路面電車

昭和25年9月3日 ジェーン台風



昭和20年代の水防活動



昭和38年2月 38豪雪



雪に埋もれた福井市内



雪の中で水利確保や訓練に励む消防職員



昭和43年5月18日 駅前大火



昭和47年12月25日 北陸トンネル列車火災



応援出場し負傷者を搬送する福井地区消防本部の職員



北陸トンネル列車火災に応援出勤し、負傷者を救出する福井消防の救急隊員(寺庄国鉄駅にて)



昭和56年1月 56豪雪



桜が満開となっても排雪が残る県庁のお濠

平成9年1月2日 ロシアタンカー 重油流出事故



重油で汚濁した海岸 写真：福井新聞社協力



重油を回収する人々

写真：福井新聞社協力

写真：福井新聞社協力



平成16年7月18日 福井豪雨



雨水が濁流となって民家を襲う
美山町蔵作（現 福井市蔵作町）
写真：福井新聞社 協力

決壊前の足羽川
（福井市春日1丁目）
写真：福井新聞社 協力



決壊直後の足羽川
（福井市春日1丁目）
写真：中日新聞社協力





流失したJR鉄橋
福井市安波賀町



積み土のう活動を行う
消防職団員（中央3丁目）



孤立した住民を救出する防災ヘリ
写真：福井新聞社 協力



濁流の中を避難する住民 写真：福井新聞社 協力



住民を救助する消防隊員



集結した緊急消防援助隊

平成18年7月19日 平成18年7月豪雨

